令和７年度大和市文化創造拠点等
指定管理者事業報告概要及び評価

令和７年度大和市文化創造拠点等指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：令和７年４月１日～令和８年３月３１日

施　設　名	大和市文化創造拠点等（大和市文化創造拠点、大和市立中央林間図書館、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、大和市つきみ野学習センター、大和市桜丘学習センター、大和市立渋谷学習センター及び大和市立渋谷図書館）
指定管理者	やまとみらい
指 定 期 間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

１．事業報告概要

【業務実施状況】

１．運営組織に関すること

（１）組織体制

大和市文化創造拠点を中心とする７つの施設について、各施設の設置目的・理念・コンセプトを十分に理解し、大和市総合計画で掲げる「みんながつながる健幸都市やまと」の発展にも貢献すべく、共同事業体構成企業それぞれが持つ高度な専門性と今までに培った実績を生かし、7 つの施設を「統一した理念に基づき融合したひとつの施設」として運営しました。

＊各施設の運営体制

施　設　名		共同事業体運営企業
大和市 文化創造拠点	やまと芸術文化ホール	サントリーパブリシティサービス株式会社
	大和市立図書館	株式会社図書館流通センター
	大和市生涯学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション
	大和市屋内こども広場	株式会社明日香 株式会社ボーネルンド
	維持管理 ※中央林間図書館・渋谷図書館・渋谷学習センター除く全施設	横浜ビルシステム株式会社
大和市立中央林間図書館		株式会社図書館流通センター
大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター		株式会社小学館集英社プロダクション
大和市つきみ野学習センター		株式会社小学館集英社プロダクション
※つきみ野学習センター図書室		株式会社図書館流通センター
大和市桜丘学習センター		株式会社小学館集英社プロダクション
※桜丘学習センター図書室		株式会社図書館流通センター

大和市立渋谷学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション
大和市立渋谷図書館	株式会社図書館流通センター

共同事業体全体に関わる連絡調整は統括責任者が中心となり、一体的に管理運営しました。統括業務を事務局化し 7 施設の管理運営を効率的に行いました。

「やまとみらい」の管理運営に関する意思決定機関は、統括責任者と各施設館長・所長による「館長会議」とし、主宰は「やまとみらい統括責任者」が務めました。日常からの情報共有の場を設け、緊密に連携しました。また、共同事業体本社と現場との運営状況共有の場として「やまとみらい JV 会議」を開催しました。

大和市との連絡調整機関としては、市の各所管課長とやまとみらい統括責任者、各館長・所長が出席する「文化創造拠点等連絡調整会議」を月 1 回開催するとともに、日頃から図書・学び交流課長とやまとみらい統括責任者の間で情報の交換・共有を行うことで、大和市とやまとみらいの意思疎通を図り、円滑な管理運営につなげました。

また、運営に関する具体的な検討を行うため、館長会議に 4 つの専門委員会を設置し、適切な管理運営とサービス向上を図りました。

＊専門委員会

委員会名	担当構成企業
安全向上委員会	横浜ビルシステム株式会社
セルフモニタリング委員会	株式会社小学館集英社プロダクション
広報・事業企画検討委員会	株式会社図書館流通センター サントリーパブリシティサービス株式会社
情報管理委員会	株式会社明日香

（2）基本的な考え方

人・地域・文化を育む
文化創造拠点シリウスを中心とする 7 つの施設全体が
「みんながつながる健幸都市やまと」の実現を目指します。

大和市総合計画では「市民のライフスタイルや価値観の多様化を踏まえ、健康に暮らし、幸せを感じられる「健幸」なまちづくりを進める」として、「みんながつながる、ウェルビーイングが実感できる大和市」を目指し歩みを進めています。

私どもやまとみらいは、大和市総合計画を推進するために文化施設が果たすべき役割を自覚し、文化創造拠点等の運営を通して選ばれるまちづくりに貢献するため、基本方針と 4 つの行動指針を定め、事業を展開しました。

やまとみらい基本方針	「人・地域・文化を育む」
行動指針①	「すべての人の居場所としての施設づくり」
行動指針②	「地域とのつながりの強化」
行動指針③	「『市民が主役』をサポートする」
行動指針④	「安全・安心・安定的な施設運営」

大和市文化創造拠点を中心とする７つの施設の一体的な管理運営がもたらす意義を形にするために、基本方針を共有し、全館横断的な組織体制・サービス提供体制を整えました。

中でも図書館は、市内全域における読書環境の充実を推し進めるため、中央図書館と各図書館・図書室の一体的運営に努めました。また、子育て支援や地域とのコミュニケーションツールの一環として、令和７年度も《絵本がつなぐ　地域のきずな》をスローガンに、「絵本」をテーマにした事業をやまとみらい全体で展開しました。

（３）職員の育成

①　基本方針

やまとみらいの全体研修は「施設別研修」と「共通研修」の２本柱で進めました。施設別研修では各施設の業務に即した専門知識を学び、共通研修では、やまとみらい各施設に配属された新人スタッフ向けの「受入研修」、配属されて数年を経たスタッフに向けた「ステップアップ研修」を実施しました。これらの研修を通し、やまとみらいに求められる知識や能力を習得し、さらにはお客様によりそう意識を醸成していくことで接遇満足度の向上に努めました。

②　育成内容

１）クレドについて

「やまとみらいのあるべき姿」を見える化した「クレド」の浸透策を推進し、やまとみらい全館で、クレドの理解浸透・啓蒙を図るための施策を実施しました。サービス提供における基盤として大切なマインドの醸成と意識統一を図るとともに、クレドの「お客様対応の指針（3つのモットー）」を体現できるようにステップアップ研修を実施しました。

項目	内容	対象
クレド浸透活動	クレドに掲げた、「４つのスタンダード」と「お客様対応の指針」の理解浸透を深めるため、各館独自の浸透策を企画し年間を通じて実行する。また各館の浸透活動状況は館長会議や、やまとみらい社内報“あおぼし”でも共有し、モチベーション向上につなげる。	全員

＜計画どおり実施＞ クレドの理解浸透を深め、サービス向上につなげるための意識を醸成するため、各館にて工夫し組織の環境や風土に合った浸透策を企画し推進した。各館の取組状況については、館内広報誌“あおぼし”の紙面「クレポ」にてやまとみらい内全スタッフに共有し、相互に良い刺激となりモチベーションの向上につながった。またクレドの精神を行動項目に落とし込んだ接遇チェックシートを新たに作成、全スタッフが一斉にセルフチェックを行い採点し、自身の行動を振り返る取組を２回実施した。１回目の結果を受けて各自がより改善を意識した行動を心掛けた結果、２回目のセルフチェックでは採点結果も向上し、やまとみらい全スタッフの接遇品質に対する意識向上につなげることができた。		
クレド体現研修（ステップアップ研修）	クレドの理解を深め、「お客様対応指針」の“よりそう”を体現できるようになるための研修を実施する。研修では「想像力を鍛えるワーク」や「お客様の真意を探るワーク」など、実際の場面を想定したトレーニングを多く取り入れ、実践力の強化につなげる。	全員
＜計画どおり実施＞ 受入研修受講済の新人スタッフを対象に計画的に実施。令和７年度は４回開催（６月、８月、12 月、２月）した。（詳細は　３）共通研修　にて報告）		

２）施設別研修

ア）芸術文化ホール

項目	内容
全体研修	ホールを取り巻く環境や現状課題を認識した上で、自社の活動方針とホールの年間活動方針を理解する。また重点活動項目を確認した上で、事業・運営・広報の各グループで具体的な施策と活動計画の立案につなげる。
＜計画どおり実施＞ 年度初めに館長から全体方針が示され、各グループが年間活動計画を策定した。研修によりグループ間の連携がさらに高まり、接遇品質など提供サービスの向上やチームワーク強化につなげた。	
受付研修	ホールの受付スタッフとしてのスキル・接遇品質を高める
＜計画どおり実施＞ 受付スタッフを対象とした集合研修を定期的に実施。日々の利用者対応での実践的なケースを題材に、主に課題に対する改善策をディスカッションしながら検討。業務の円滑な運用	

と受付スタッフ一人ひとりの接遇品質とスキル向上につなげた。	
他館研究	自社の運営する他ホールの接遇スキルや運営ノウハウの知見を得る
＜計画どおり実施＞ 貸館、広報、事業を担当する各メンバーが、自社が運営する全国９施設から集まる各担当者会議（オンライン開催含む年間カリキュラム）へ参加し、スキルを研鑽し、情報交換を通してノウハウや知見の習得に努めた。	

イ）図書館

項目	内容
新人研修	図書館で働く心構え、接遇マナー、レファレンスや著作権など、基礎について学ぶ
＜計画どおり実施＞社内で実施している新人研修を計画的に受講した。	
新任責任者研修	責任者としての役割や心構え、また労務管理や収支管理などについて学ぶ
＜計画どおり実施＞令和７年度の新規昇格スタッフの研修を実施した。	
テーマ別研修	レファレンスや選書、児童サービス、広報など幅広いテーマから選んで受講し、スキルの向上を目指す
＜計画どおり実施＞本社研修（ｅラーニング）として実施。図書館スタッフとしての専門知識の習得をはじめ、傾聴やビジネスマナー、アンガーマネジメントなど幅広いテーマから選択し、受講した。	
Ｐマーク研修	個人情報の取扱いに関する研修を全スタッフに実施する
＜計画どおり実施＞社内規定に基づき、全スタッフが受講。理解度確認のテストも行った。	
外部研修	県立図書館や日本図書館協会などが主催する、図書館および関連する業務の研修に積極的に参加することで、スタッフの技能や専門性を高める
＜計画どおり実施＞神奈川県図書館協会、県立図書館、国立国会図書館、日本図書館協会主催の諸研修に選抜スタッフが参加。その他、他自治体の図書館ならびにイベント見学、障害者サービス関連の研修等にも積極的に参加した。	

ウ)学習センター

項目	内容
新入社員研修	学習センターで働く上で必要な知識、接遇マナー、個人情報の取扱い等を学ぶ。本社での基本研修、生涯学習センターでの実務研修を経て各館に配属する
＜計画どおり実施＞施設に採用された新規スタッフ向けに、本社にて公共施設で働くことについて学び、各施設で OJT を実施した。	
応急手当訓練	AED の取扱い方を含む、組織としての応急手当の対応方法を学ぶ
＜計画どおり実施＞本社および行政で行う応急手当の訓練に参加した。	
安全担当者研修	施設毎に選定した安全担当者を集めて、課題の共有と目標の設定をし、組織の安全意識を高める
＜計画どおり実施＞本社で行う各施設の安全管理担当者を集めた研修に参加し、各施設での事例や非常時の対応について学んだ。	
≪その他≫ ・神奈川県生涯学習指導者研修（館長等、社会教育担当者コース、公民館担当者コース）へ参加 公民館における知識、最新情報の収集を行った。 ・全国公民館研究集会東京大会へ参加 地域をつなぐ公民館の役割について、全国の公民館の事例を学んだ。 ・中堅社員フォローアップ研修（本社研修）へ参加 社会教育の基礎知識と講座企画の立て方、SNS の活用について学んだ。 ・次世代リーダー向けマネジメント研修（本社研修）へ参加 心理的安全性を担保するコミュニケーション方法について学んだ。 ・全国施設責任者会議（本社研修）へ参加 チーム力を向上させる、ホスピタリティリーダーシップについて学んだ。 ・ゲートキーパー養成講座研修 心に不調を抱える方への寄り添い方等を学んだ。 ・不審者対応研修 警察より不審者への対応方法について学んだ。 ・不当要求行為など対応研修 不当要求に該当する事案や対応の基本について学んだ。 ・個人情報保護研修 個人情報の基本と情報漏洩が起きたときの対応について学んだ。	

・情報セキュリティー研修 　動画にて情報セキュリティーについて学んだ。 ・コンプライアンス研修 　動画にてコンプライアンスについて学んだ。 ・避難訓練シミュレーション研修 　利用者役、スタッフ役のロールプレイングを通し、避難訓練のシミュレーションを行った。 ・ホール業務研修（渋谷学習センター） 　ホール備品、音響、照明、利用団体の受付・打合せ手順など、ホール業務全般について学んだ。

エ)屋内こども広場

項目	内容
プレイリーダー研修	プレイリーダーとしての心得やプレイリード技術、また接遇品質を高めることを目的とした研修
＜計画どおり実施＞げんきっこ広場内に常駐するプレイリーダーの接遇品質向上を目的とした研修を実施。座学とげんきっこ広場内での実地研修、ボーネルンド直営店での実地研修を併用し、新たな価値観や接遇に対する意識醸成に取り組んだ。	
神奈川県子育て支援員研修	子育て支援に必要となる知識や技能等を修得する研修
＜計画どおり実施＞屋内こども広場に在籍する全てのスタッフを対象に、子育て支援への理解を深め業務に携われるよう、神奈川県主催の子育て支援員研修に参加した。	
保育スキルアップ研修	保育に特化した知識や技能のスキルアップを目的とした研修
＜計画どおり実施＞全スタッフ対象に、保育に特化した知識や技能のスキルアップを目的としたオンライン形式による研修を実施。多数の講義の中から、自身が身につけたい知識や技能を選択できる方式で実施した。また、保育士を対象に、「保育の質の向上について」を議題とした内部研修を隔月で実施した。	

オ)施設維持管理

項目	内容
清掃従事者研修	清掃に関する知識・技能を高める

＜計画どおり実施＞地区館を含め、新たに配属されたスタッフに実技研修を実施した。	
防災センター従事者研修	警察署・消防署による指導で安全安心の意識を高める
＜計画どおり実施＞消防署による避難経路点検指導や、講師を招き救命講習を実施した。	

3）共通研修

項目		内容	対象
受入研修	事前講習	「やまとみらい」を理解するための動画研修。接遇基礎や施設概要、コンプライアンスなど含む。受講後、確認テストを実施し知識理解を深める。	新人スタッフ
	＜計画どおり実施＞ やまとみらいの各施設で業務を遂行するにあたり、必要な接遇基礎、施設概要、コンプライアンスなどの知識を動画やテキストを使用して習得。受講後には確認テストを実施し知識の定着をはかった。		
	対面研修	接遇、クレドワーク、防災などの基礎スキル・知識を学ぶ。講師は館長が持ち回りで担当。	新人スタッフ 未受講者
	＜計画どおり実施＞ 接遇、クレドに関するワーク、防災などの基礎スキル・知識を学ぶ対面研修を実施。講師は館長が持ち回りで担当した。 【令和 7 年度実績】　　開催回数：計 3 回、受講者数：21 人		
ステップアップ研修		クレド「お客様対応の指針」を体現できるようになるための知識習得とトレーニングを実施。講師は副館長が持ち回りで担当。	受入研修受講済みのスタッフ
＜計画どおり実施＞ クレド「お客様対応の指針（3つのモットー)」における「よりそう」を体現できるようになるための、想像力と傾聴スキルの知識習得と実践形式のトレーニング研修を実施。講師は副館長が持ち回りで担当した。 【令和 7 年度実績】　　開催回数：計 4 回、受講者数：23 人			
緊急時対応研修		避難訓練、図上訓練、消防設備訓練、カスタマーハラスメント対応や不審者対応の研修等	各施設選抜

＜計画どおり実施＞ ・避難訓練、消防設備訓練 シリウスでは９月に火災想定の避難訓練を実施。合わせて消防設備研修も実施した。 また、３月にはメインホールで約 600 人の利用者を交えた避難訓練コンサートを実施した。 中央林間図書館では５月と 11 月に中央林間東急スクエアの消防訓練に参加。渋谷図書館、渋谷学習センターでは６月と 11 月に IKOZA の消防訓練に参加。ポラリス、つきみ野学習センター、桜丘学習センターでも消防訓練、避難訓練を実施した。 ・図上訓練 シリウスでは、大規模災害が夜間発生したと想定した図上訓練を４月、６月、８月、11 月の計４回実施。スタッフが少ないなかで、どのように避難誘導等進めていくか繰り返しシミュレーションした。図上訓練には地区館からの参加も募り、やまとみらい全館の防災意識の向上を図った。 ・不当要求行為等対応研修 大和市主催の研修会に参加し、不当要求行為に対して組織として毅然とした対応を図るための対処法を学んだ。		
救急救命講習	心肺蘇生（AED）の習得、応急手当等	全員
＜計画どおり実施＞１月にやまとみらい全館を対象とし、大和消防署から講師を招き AED 講習ならびに応急手当等を学ぶ救命講習会を実施した。		

（４）　個人情報の保護及び情報公開

①　個人情報の保護

１）基本方針

個人情報保護法 第 20 条に基づき日常業務に取り組みました。「個人情報保護法」を遵守するとともに、やまとみらいで平成 29 年度に作成しました「個人情報保護マニュアル」に基づき、適切に管理しました。

２）管理体制

個人情報管理体制は「情報管理委員会」を協議機関とし、総括責任者をやまとみらい統括責任者が、管理責任者を各館長及び所長が担い、四半期ごとに大和市へ状況報告を行いました。

３）理解度テストの実施

個人情報保護に関する理解浸透を目的に、全スタッフを対象とした理解度テストを年２

回実施しました。

6月に「個人情報の取扱いに関する理解度テスト」、1月に「セクシャルハラスメントの認識に関する理解度テスト」を全スタッフ対象に実施し、個人情報やセクシャルハラスメントに関する理解度の向上と意識の醸成を図りました。

② 情報公開について

大和市の公共施設として、市民の知る権利を尊重し、本施設の運営について市民に説明する責務を全うすることが重要であると理解しています。引き続き「大和市情報公開条例」の趣旨にのっとり、公正で開かれた施設の実現を図り、本施設に対する市民の理解を深めることで、市民と本施設との信頼関係を一層増進することを目指し業務に臨んでまいりました。

情報公開の趣旨を理解した上で、情報の公開と保護を適正に行いつつ、情報公開請求に対応してまいりました。令和7年度の情報公開請求件数は1件でした。

（5）セルフモニタリング

＜パフォーマンス指標＞　令和7年4月1日～令和8年3月31日

項　　目			目標値	実績	総　括
1．シリウス全館の取組					
	（1）年間来館者数		3,000,000人	3,028,431人	
	（2）駐車場	利用者数	62,000台	59,546台	
	（3）駐輪場	利用者数	112,000台	104,555台	
	（4）融合事業	実施回数	7回	7回	
	（5）全館業務を対象とした研修	実施項目	2種	2種	
	（6）危機管理対策研修	実施項目	2種	2種	
	（7）スタッフの接遇への満足度		84%	84%	

2．やまと芸術文化ホール					
	（1）年間来場者数		250,000人	243,731人	貸館事業の高稼働及び文化芸術事業の完売による来場者数増で前年を超える集客はできたが、減免団体等の利用取り消し等が響き、目標未達となった。
	（2）施設稼働率(日数)		87%	95%	高い稼働率を維持し、前年（94%）を超える稼働率を実現した。
	（3）文化芸術事業	実施回数	24回	25回	学校プログラムを予定の2校から3校に増やしたため、全25

					事業の開催となった。 ・芸術鑑賞事業 8 事業 ・創造活動支援事業 6 事業 ・人材育成・普及事業 6 事業 ・連携事業 5 事業
		来場者数	8,000 人	18,998 人	公演ターゲットにあわせた広報計画を立案・実行。これまで培ってきた経験を生かした広報に加え、地域媒体と関係性を構築してきたことで多くの情報が取り上げられ、集客につながった。芸術鑑賞事業では 6 本が完売となり、ギャラリーの 2 事業でも約 8,000 人の来場者、目標を超える来場につながった。
		満足度	90%	95%	様々な特性の公演を実施し、それぞれの客層に合わせたサービス体制を構築した結果、多くの方々からの高評価につながったと捉えている。
	（4）友の会会員数	会員数	15,000 人	14,294 人	入会促進のチラシ作成や配布、各公演チラシなどで友の会情報を掲載するなど、通年で告知を行ったことにより前年比では 1,543 人の増となった。
	（5）ステージガイド発行回数	実施回数	4 回	4 回	ホール季刊紙として、6 月、9 月、12 月、3 月の計 4 回、計画どおり発行した。 文化芸術事業情報の媒体認知経路として 2 位に入り、この 5 年間で認知度、市民の活用度が高まった。
	（6）研修回数		12 回	12 回	業務知識や接遇品質の向上を目的に、利用者からの問合せ内容や実例を取り上げた研修を実施した。また自主事業公演「手話フェス（7 月）」や「避難訓練コンサート（3 月）」前には、聴覚障がいのある方への対応や災害時の避難誘導対応など、テーマに沿った研修内容で

				マインド醸成や施設内連携を深めた。
	（７）舞台に関する安全講習実施回数		2 回	2 回	舞台の安全な運用と緊急対応についての安全講習を計 2 回、その他利用者の安全にかかわる救命講習も実施した。
	（８）舞台に関する事故件数		0 件	0 件	

３．大和市立図書館					
	（１）貸出資料数		720,000 冊	666,479 冊	引き続き、図書館利用方法の講座実施、わかりやすい書架表示や展示の工夫で改善に努める。
	（２）レファレンス受付件数		150 件	240 件	令和 6 年度に引き続き全スタッフが意識的に対応することで同水準を保つことができた。
	（３）蔵書数（全体新規購入数）		15,000 冊	20,399 冊	購入 16,759 冊、予約 2,226 冊、補充 1,365 冊、その他（縮刷版）49 冊。
	（４）郷土資料蔵書数		400 冊	381 冊	
	（５）予約・リクエスト数		300,000 件	313,683 件	
	（６）健康コーナーレファレンス受付件数		150 件	101 件	
	（７）健康イベント	実施回数	350 回	431 回	「ここから マナ☆スタ」分は数字に含まず。
		参加者数	5,500 人	7,530 人	
	（８）家読推進事業	実施回数	25 回	30 回	
		参加者数	800 人	1,220 人	
	（９）おはなし会	実施回数	120 回	137 回	
		参加者数	2,000 人	3,136 人	
	（１０）各種講座・イベント	実施回数	18 回	32 回	
		参加者数	600 人	1,455 人	
	（１１）展示コーナー	実施回数	115 回	154 回	
	（１２）学校対象事業	実施回数	24 回	71 回	
	（１３）ボランティア育成講座	実施回数	13 回	13 回	
	（１４）研修回数		30 回	31 回	外部研修にも積極的に参加し、延べ 197 人受講した。
４．大和市立中央林間図書館					
	（１）貸出資料数		325,000 冊	321,018 冊	目標未達となった。図書館の利用は一定水準を維持しているので、今後はニーズに応じた資料選定や展示の工夫により貸

				出促進を図る。
	（2）貸出利用者数		130,000 人	134,092 人	目標を上回り、多くの人に来館いただいた。引き続きサービスの充実に努め、利用者の維持拡大を図る。
	（3）利用者登録数		2,500 人	2,373 人	目標未達となった。今後は広報強化や来館促進により登録者増加を図る。
	（4）リクエスト受付件数		11,000 件	11,924 件	目標を上回った。引き続き迅速かつ的確な対応に努め、サービス向上を図る。
	（5）レファレンス受付件数		100 件	105 件	同上。
	（6）タブレット貸出数		2,700 件	2,738 件	同上。
	（7）研修回数		15 回	23 回	各スタッフの担当業務やレベルに応じたテーマ別研修を全員が受講するとともに、個人情報管理や危機管理の研修を実施した。
	（8）スタッフの接遇への満足度		85%	89%	日頃心掛けている親切・丁寧な接遇が評価され、目標を上回った。
	5．大和市立渋谷図書館				
	（1）貸出資料数		160,000 冊	141,371 冊	
	（2）貸出利用者数		55,000 人	48,596 人	
	（3）利用者登録数		700 人	647 人	
	（4）リクエスト受付件数		5,500 件	4,912 件	
	（5）レファレンス受付件数		60 件	95 件	親しみやすく気軽に質問できる雰囲気づくり、わかりやすい案内をするように努めた。
	（6）研修回数		15 回	24 回	オンライン研修の他、他館で開催される講座やイベントに参加することで、知識習得や相互理解の研修機会となった。
	（7）イベント回数	おはなし会	27 回	34 回	
		各種イベント	5 回	11 回	幅広い年代向けにイベントを実施し、多くの方にご参加いただけた。
	（8）展示コーナー実施回数		36 回	56 回	毎月のテーマ展示のほか、他の機関と連携した特別展示を行った。
	（9）スタッフの接遇への満足度		82%	82%	接遇研修の受講等により目標を達成することができた。

6．大和市生涯学習センター				
（1）年間来場者数		350,000 人	435,044 人	ぷらっと大和、市民交流ラウンジの利用が増えたため。
（2）施設稼働率		55%	55.8%	
（3）団体利用数		16,800 コマ	16,826 コマ	
（4）市民交流ラウンジ利用者数		48,000 人	55,252 人	
（5）職場体験等受入数		2 回	5 回	大学生の社会教育実習を受け入れたため。
（6）生涯各期事業 現代的課題	実施回数	27 事業/170 日	29 事業/165 日（168 回）	高齢期で多様な分野の講座を開催した。
	参加者数	2,700 人	3,894 人	
	満足度	90%	93.2%	
（7）専門的講座（やまとみらいカレッジ）	実施回数	3 事業 15/日	3 事業 15/日	前半の 2 事業は参加者数がやや少なかった一方で、「大和を知るコース」には多くの参加があった。
	参加者数	600 人	509 人	
	満足度	90%	90.7%	
（8）やまとこども市民大学	実施回数	2 事業/2 日	2 事業/2 日	
	参加者数	40 人	42 人	
	満足度	90%	96.5%	
（9）生涯学習関連事業	実施回数	2 事業/10 日	2 事業/5 日	2 事業共に、幅広い世代から多くの参加があった。
	参加者数	100 人	224 人	
	満足度	90%	97%	
(10) 生涯学習センターまつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	
	参加者数	2,000 人	2,298 人	
(11) 利用者懇談会等	実施回数	4 回	4 回	貸出倉庫調整会は調整不要のため開催せず。
	参加者数	80 人	41 人	
(12) 研修	実施回数	6 回	14 回	県公連研修にも参加したことで、多種多様な研修を実施することができた。

7．北部文化・スポーツ・子育てセンター				
（1）年間来館者数		550,000 人	464,129 人	
（2）駐輪場	利用台数	66,000 台	62,987 台	
（3）施設稼働率		55%	60.0%	新規登録団体も多く、稼働率が向上した。
（4）職場体験等受入数		2 回	7 回	
（5）団体利用数		13,000 コマ	10,340 コマ	目標は未達となったが、稼働率と同様に令和 6 年度(9,456 コマ)よりも大幅に増加した。

	（６）個人利用	登録数	1,500 人	1,228 人	個人利用開催回数の適正化（団体利用枠の増化）に伴う減少
		利用者数	9,600 人	5,630 人	
	（７）市民交流スペース利用者数		180,000 人	188,897 人	
	（８）生涯各期事業 現代的課題	実施回数	15 事業/408 日	12 事業/466 日	
		参加者数	13,850 人	20,167 人	
		満足度	85%	95%	
	（９）地域や利用者と密接に連携した講座	実施回数	3 事業/21 日	1 事業/1 日	実施講座の区分を整理したため。
		参加者数	160 人	62 人	
	（10）センターまつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	開催両日天候に恵まれず、来館に影響をもたらした。
		参加者数	2,000 人	1,628 人	
		満足度	85%	86%	
	（11）地域文化振興事業	実施回数	2 事業/3 日	2 事業/3 日	
		参加者数	160 人	349 人	
	（12）利用者懇談会等	実施回数	3 回	4 回	
		参加者数	30 人	29 人	
	（13）研修	実施回数	7 回	7 回	
	（14）スタッフの接遇への満足度		80%	82%	
８．大和市つきみ野学習センター					
	（１）年間来場者数		300,000 人	255,456 人	
	（２）施設稼働率		50%	46.8%	
	（３）団体利用数		7,490 コマ	7,013 コマ	
	（４）職場体験等受入数		2 回	2 回	
	（５）生涯各期事業 現代的課題	実施回数	20 事業/1,035 日	27 事業/1,332 日	実施時間を限定しない季節イベントなど、気軽に参加可能なイベントの開催回数を増やした。また体験や達成感を得やすい内容を増やしたことで満足度も上がった。
		参加者数	7,000 人	18,596 人	
		満足度	85%	97%	
	（６）地域や利用者と密接に連携した講座	実施回数	4 事業/63 日	5 事業/77 日	地域のボランティア団体の協力もあり、目標を上回った。
		参加者数	600 人	972 人	
	（７）専門的講座（やまとみらいカレッジ）	実施回数	1 事業/5 日	1 事業/5 日	
		参加者数	200 人	142 人	
		満足度	85%	89%	
	（８）つきみ野学習センター	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	
		参加者数	2,500 人	2,164 人	

	まつり	満足度	85%	91%	年々参加団体・参加者が減っている。対策を検討していく。
	（９）地域文化振興事業	実施回数	2 事業/2 日	2 事業/2 日	
		参加者数	350 人	225 人	
	（10）利用者懇談会等	実施回数	3 回	5 回	センターまつり実施日に、施設利用促進につながる説明会を実施した。
		参加者数	60 人	102 人	
	（11）研修	実施回数	7 回	15 回	
	（12）スタッフの接遇への満足度		80%	87%	

9．大和市桜丘学習センター					
	（１）年間来場者数		200,000 人	126,033 人	
	（２）施設稼働率		60%	61.2%	
	（３）団体利用数		5,890 コマ	6,514 コマ	他館登録団体の利用が増えた。
	（４）職場体験等受入数		2 回	3 回	
	（５）生涯各期事業現代的課題	実施回数	12 事業/753 日	14 事業/770 日	
		参加者数	1,800 人	2,381 人	
		満足度	85%	97%	
	（６）専門的講座（やまとみらいカレッジ）	実施回数	1 事業/5 日	1 事業/5 日	サテライト開催中止により参加者も伸び悩んだ
		参加者数	200 人	99 人	
		満足度	85%	95%	
	（７）地域や利用者と密接に連携した講座	実施回数	1 事業/10 日	2 事業/21 日	
		参加者数	200 人	276 人	
	（８）桜丘学習センターまつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	令和 6 年度と同水準の参加者数ではあるが、目標未達となった。周知方法の工夫等対策が必要。
		参加者数	1,500 人	1,193 人	
		満足度	85%	92%	
	（９）地域文化振興事業	実施回数	1 事業/1 回	1 事業/1 回	
		参加者数	50 人	54 人	
	（10）利用者懇談会等	実施回数	3 回	5 回	
		参加者数	60 人	88 人	
	（11）研修	実施回数	7 回	8 回	
	（12）スタッフの接遇への満足度		80%	86%	
10．大和市渋谷学習センター					

	（1）年間来場者数		260,000 人	300,046 人	ひと涼みスポットの PR 効果もあり、特に夏場の来館者増加。
	（2）施設稼働率		45%	37%	新規団体の設立数が少なく、後押しとなる施策の検討が必要
	（3）団体利用数		9,400 コマ	7,699 コマ	
	（4）職場体験等受入数		2 回	2 回	
	（5）生涯各期事業 現代的課題	実施回数	15 事業 /1,121 日	16 事業 /1,122 日	達成感の得やすい内容に工夫した結果、満足度増加につながったと考える。
		参加者数	7,000 人	11,381 人	
		満足度	85%	94%	
	（6）専門的講座（やまとみらい カレッジ）	実施回数	1 事業/5 日	1 事業/5 日	講座内容が専門的かつマイナーな分野だったため、集客に苦戦。
		参加者数	200 人	59 人	
		満足度	85%	96%	
	（7）地域や利用者と密接に連携した講座	実施回数	1 事業/36 日	4 事業/64 日	
		参加者数	180 人	745 人	
	（8）渋谷学習センター まつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	人数カウント方法をプログラム配布数に変更。
		参加者数	1,800 人	670 人	
		満足度	85%	91%	
	（9）地域文化振興事業	実施回数	3 事業/3 日	3 事業/3 日	
		参加者数	450 人	734 人	
	（10）利用者懇談会等	実施回数	3 回	3 回	内容・周知方法に工夫必要。
		参加者数	60 人	19 人	
	（11）研修	実施回数	7 回	8 回	
	（12）スタッフの接遇への満足度		80%	78%	

11. 大和市屋内こども広場				
	（1）年間来場者数	170,000 人	174,392 人	夏季の来場が多く、8 月のげんきっこ広場来場者数が令和 6 年度より 1,720 人の増加となった。
	（2）登録者数	20,000 人	21,270 人	SNS での施設情報や混雑状況の配信を開始したことや、他

					施設への出張イベントを行ったことにより、当施設への認知度が上がり、目標値より1,270人の増加となった。
	（3）屋内公園事業 （げんきっこ広場）	利用者数	80,000人	84,388人	ボールプール内で親子で行う「玉入れ」や、エアトラックに乗ったまま空気を抜く「ふわふわベッド」が好評でリクエストも多かった。 工作系のイベントでは「レインボースティック」が好評だったことにより、利用者の増加につながった。
		イベント実施数	550回	674回	
		イベント参加者数	9,000人	12,171人	
		満足度	90%	98%	
	（4）屋内公園事業 （ちびっこ広場）	イベント実施数	120回	117回	一時預かりのPRを兼ねたイベントや、ちびっこ広場の清掃回数を増やして声掛けを徹底することで、高い満足度を維持できた。
		イベント参加者数	2,300人	2,343人	
		満足度	90%	90%	
	（5）幼児預かり事業	利用者数	2,000人	1,985人	1月以降、月の受入件数が増加し、1月172人、2月187人、3月206人と進捗した。 月齢に合わせた育児サポート講座の「たんシリーズ」と、パパも参加できる「パパとママとあそぼう」が好評だった。
		イベント実施数	55回	52回	
		イベント参加者数	850人	939人	
		満足度	90%	95%	
	（6）育児相談事業	相談件数	1,000人	1,004人	相談件数：28件 身体測定：774人 育児イベント：202人 合計：1,004人
		満足度	90%	100%	
	（7）多目的室運営事業	利用団体数	3組	1組	登録団体：1組 大和おやこ劇場：年3回利用（7月・11月・2月）
		イベント実施数	150回	152回	やまとみらい間連携イベントとして、6月に生涯学習センターと「子育てオンライン講座」、8月にポラリスにて屋内こども広場の出張イベントを開催した。
		イベント参加者数	2,200人	2,356人	
		満足度	90%	96%	
	（8）ボランティア確保数		14人	9人	

	（9）研修回数	13 回	13 回	ボーネルンドによるプレイリーダ―の研修や、保育士の専門性を強化する研修、スタッフ全員を対象としたコンプライアンス研修、個人情報保護に関する研修を実施した。

２．利用者サービスに関すること

（1）ホール関連サービス（対象施設：やまと芸術文化ホール）

①　基本方針

令和 7 年度は指定管理者第二期の最終年度として、やまと芸術文化ホールの基本方針である「文化芸術の力で、健康で豊かな心を育て、地域・まちを活気づけます」にのっとり、運営をしました。市民の皆様が文化芸術に触れる・携わることができるように心がけました。

②　サービス提供に関する取組

1）柔軟なサービス提供

ア）利用者満足度の向上につながるサービスの体現

初めて来館する方や初めて利用する方にもご理解いただけるように、またこれまで利用した方にも再度利用したいと思っていただけるように、様々なツールを活用しながらわかりやすい説明を心掛けました。また利用者のニーズをくみ取り、真意を引き出せるように、相手に合わせた確認の問いかけを適切に行い、話し方や話すスピードにも配慮し、利用者に寄り添う対応を実現しました。

イ）スタッフの教育研修

利用者の満足度向上につなげるため、年間を通して受付・事務所スタッフを対象としたスキルアップ研修を行いました。窓口に寄せられる様々な問合せに迅速に対応できるように情報共有を密にはかり、チームワーク向上につなげました。6 月にはホール設備である「難聴者支援システム」のしくみや取り扱いについて学び、7 月の主催公演「手話フェス」のお客様対応に生かすことができました。3 月の主催公演「避難訓練コンサート」に向けては、ホール事務室の災害対応や避難誘導について確認や事前準備を重ね、防災センターや舞台スタッフとの模擬練習を実施し連携強化につなげました。本社主催の研修や情報共有の場にも参加し、ネットワークを広げ、新しい知識や情報の収集に積極的に努め、運営ノウハウを吸収しました。

2)利用･鑑賞に対する支援について

ア） 主催公演におけるサービスの向上

来場者が公演をより安心して楽しんでいただくための環境づくりとして、手厚いケアが必要だと思われる客層が見込まれる公演では、レセプショニストを通常よりも多く配置し、サービス介助士や手話通訳者などの有資格者もご案内要員として配置しました。

直近で予定されている事業企画の共有については、月１回実施している受付研修や、週１回配信している事業メールで券売状況の進捗報告や今後の広報計画などを共有し、全スタッフで公演内容・準備進捗状況を把握できるような取り組みを行い、情報及びサービスの統一化を実現しました。

③ 事業報告

１）事業方針及び事業内容

ア）貸館事業

貸館事業においては、利用者の利便性向上をはかり、施設の稼働率を維持し収益を得るために、様々な施策に取り組みました。実施に当たっては、他施設の情報を積極的に収集し、利用者の声に耳を傾けながら多方向から検討しました。

a）施設稼動率の向上

施設は市内団体等の活発な文化活動により高い稼働率を維持していますが、令和７年度は近隣施設の改修休館等による問合せや予約も見られるようになりました。また閑散期や利用取消等による空き区分の利用誘致を促進するためホームページ等に空き情報を掲載するなど、更なる利用促進に努めました。(稼働率／日数単位：年間平均 95%)

b）施設下見会・レクチャー会の実施

新規でホールを利用する方をターゲットとしたホール下見会を開催しました（6 月)。案内はツアー形式をとり、ホワイエ・楽屋・搬入口・客席・舞台をまわりながら説明し、舞台は、反響板仕様・幕舞台仕様・平土間仕様のグループに分かれて舞台技術スタッフも立ち会いました。具体的なレイアウト・照明演出方法・備品等の説明、舞台進行の段取りなど個別相談にも親身に対応し、イベント催事の円滑な運営をバックアップしました。

またギャラリー利用においても、ギャラリーの設備や備品の使い方を実物に触れながら伝えるギャラリーレクチャー会を開催し（12 月)、利用者の活動支援につなげました。

c）施設利用例の紹介

施設を利用するイメージをより具体的に持っていただけるように、利用日の１カ月前を目安に実施する利用者との舞台打合せなどにおいても施設利用例を紹介し、利用者のイベント催事の魅力を引き出すよう対応しました。また令和８年４月からの附属設備料値上げに伴い、予約を開始する令和７年４月から利用者へ向けた告知をホームページや口頭で開

始するとともに、ルールや料金改定を反映した施設利用のご案内チラシをわかりやすく改訂しました。３Ｄ施設見学の二次元コードをレイアウトするなど、利用者の利便性とアクセス向上につなげる工夫を行いました。

イ）文化芸術事業

文化芸術事業では仕様書にのっとり、4 種別・全 25 事業を実施しました。芸術鑑賞事業では全 8 公演のうち 6 公演が完売。またギャラリー展示での来場者が想定よりも大幅に増えたこともあり、令和 6 年度よりも 3,000 人以上多くの方が自主事業に来場しました。事業計画書提出時は 24 事業を計画していましたが、学校プログラムで 1 校追加して実施をしたため、25 事業を開催しました。（別紙芸文 1 参照）

○令和 7 年度　やまと芸術文化ホール　文化芸術事業

a）芸術鑑賞事業

市民の多様なニーズに応え、幅広い世代の市民が来場することを期待し、クラシックから伝統芸能、ディズニーコンテンツまで多様なジャンルを取り上げ、全 8 事業を実施しました。中でも大和市出身のアーティストにフォーカスした「新日本フィルハーモニー交響楽団 featuring YAMATO Players」では、3 名の大和市文化芸術顕彰受賞者をソリストに迎え、市内外に対し大和市の文化度をより強く発信することにつながりました。また、やまと芸術祭の期間中に開催したバレエ公演では、令和 6 年度に引き続き市との連携で来場者へポストカードを配布するなど、公演の盛り上げにつなげました。

芸術鑑賞事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
4/19（土）	メインホール	Disney World Beat 2025	総勢 21 名のビッグバンドが、映像アニメーションに合わせてディズニーの名曲を届けるコンサートを開催しました。 ジャズをはじめとし、ラテンやソウルなど多彩なアレンジに加え、歌や踊りもある豪華な演出も加わり、若い世代を中心に幅広い客層が市内外から来場され、施設の認知度向上にもつながりました。	885 名（完売）
5/16（金）	メインホール	神田伯山 独演会	講談師の中でも、日本屈指の実力と人気を誇る神田伯山の独宴会を開催	756 名（完売）

			しました。 今回の公演では講談を初めて聞く方が多く、演者側の色々な講談を聞いて欲しいとの想いから、当初の予定よりも１席多く４席を披露されました。来場者からは、伝統芸能の魅力や面白さの新たな一面を知ることができた。という声が多く寄せられ、市民の伝統芸能に対する理解の深さやニーズの高さを改めて知る機会となりました。	
6/29 （日）	メイン ホール	LEO×ワルター・アウアー デュオ・リサイタル	メディアでも活躍している若手箏アーティスト LEO と、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者ワルター・アウアーによる、異色のコラボレーションによるリサイタルを開催しました。西洋音楽と邦楽の音楽性や特性を理解し、尊重し合いながら、変幻自在に音楽を奏で、豊かな響きを誇るホールとの相性の良さを感じていただく機会となりました。	881 名
8/23 （土）	メイン ホール	Everly 夏休みファミリーコンサート	0 歳から入場可能な夏休みの親子向けのコンサートとして開催しました。クラシックやポップス音楽をアレンジしたエンターテイメント性あふれる演出に加え、ヴァイオリン、ピアノ、ギター、ドラム、ユーフォニアム、尺八と特殊な編成を生かした演奏で、小さい子どもから大人までを虜にしました。それに加えて観客を巻き込む巧みな演出により、終始大いに盛り上がり、初めての音楽体験として有意義な機会としていただけました。	814 名 （完売）
10/5 （日）	メイン ホール	キーウ・クラシック・バレエ	バレエ大国ウクライナの本格バレエ団による公演を開催しました。内容	882 名 （完売）

		チャイコフスキー 夢の３大バレエ 名場面集	は、チャイコフスキーの３大バレエ作品『くるみ割り人形』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』から名場面をハイライトにし、バレエ鑑賞が初めての方や小さな子どもを連れたご家族などもお楽しみいただくことができました。また、大和市を挙げて開催している「やまと芸術祭」の特別公演の位置づけとしてもアピールできたことで、市の取組を周知することにつながりました。	
12/27 （土）	メイン ホール	新日本フィルハーモニー交響楽団 feat. YAMATO Players	大和市ゆかりのクラシック奏者をソリストに起用した、新日本フィルハーモニー交響楽団による協奏曲プログラムを開催しました。地元特化型の企画だったことから、地元メディア３社（J:COM、YM やまと、タウンニュース）に協力を仰ぎ、市内への広報を力強く展開。大和市の文化普及と新規顧客の獲得の両面で大きな後押しとなりました。年末の最後に“大和独自”の企画で、文化力の高さを周知する機会となりました。	842 名
1/15 （木）	メイン ホール	フォレスタ 新春コンサート in 大和	主催公演としては初となる平日昼間の公演として、高齢者層から高い支持を受ける「フォレスタ」（混声合唱）の公演を開催しました。唱歌や日本歌曲、洋楽など幅広いジャンルの合唱曲に加え、お客様の心をくすぐるような、ほっこりした演出や、語りかける優しいトークなど、細かな点にまでこだわりを持った演出で、新春のひとときを鮮やか彩りました。	858 名 （完売）
3/15 （日）	メイン ホール	YAMATO String Quartet 31st ～classical &	神奈川県を拠点に活動する神奈川フィルのコンサートマスター、石田泰尚が所属する弦楽四重奏団によるコ	927 名 （完売）

		unlimited ∞	ンサートを開催しました。前後半でテーマを変え、コアなクラシックファンからライトなクラシックファンまで、どなたでも満足いただけるよう、プログラム内容を出演者と調整。素晴らしい演奏とも相まって、コンサートの最後にはスタンディングオベーションが起こるほどの熱狂に包まれました。ホールが誇る響きの良さを体感していただく機会となりました。	

ｂ）創造活動支援事業

「市民、ホール、文化」をつなげるため、市民が主体的に関わる機会創出につながる創造活動支援事業は、全 6 事業実施しました。

大和市在住のチョークアーティスト金城まみ（令和 4 年度大和市文化芸術顕彰受賞）を講師に迎えたしずるボードのワークショップと、その成果展示を実施しました。ワークショップには小学 4 年生から高校 3 年生の 19 名が参加し、それぞれの感性を光らせる作品を完成させました。また市民公募による「市民がつくるコンサートシリーズ」では、“コーラス”を初めて取り上げ、団体ごとの演奏のほか、合同合唱を行うなど、市民の交流を促進するための仕掛けを取り入れ、開催しました。

創造活動支援事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
4/26(土) ～ 5/6(火・祝)	ギャラリー	絵本作家 ひらぎみつえ あそべる絵本展	代表作に『お？かお！』『ころりん・ぱ！』などのしかけ絵本や、『もふもふちゃん』などの幼少期の子どもたちに人気の高い絵本を手掛ける、ひらぎみつえの絵本展を開催。「見て、読んで、さわって」をコンセプトに、絵本作品や、大型しかけ絵本のパネルなどを展示しました。図書館とも連携し、作家本人によるワークショップや司書による絵本の読み聞かせ	6,986 名

			など、絵本展にとどまらず、館内へ企画の拡がりを持たせることにより、更なる来館誘致につながりました。	
7/27 （日）	メイン ホール	みんなの音楽会シリーズ vol.7 手話フェス ～Song of Sign in YAMATO～	すべての人が文化芸術に触れる機会を創出する「みんなの音楽会シリーズ」の第 7 弾として、手話パフォーマーの HANDSIGN が総合プロデュースをする「手話フェス」を開催。鑑賞サポートとして、難聴者支援システム、舞台手話通訳者、Uni-Voice（視覚障がい者向け音声読み上げ機能）、点字プログラムなどを採用した上、安心してご来場いただけるよう、客席案内係にサービス介助士や手話通訳者を配置するなど環境整備にも配慮し、文化芸術が果たせる「共生社会の実現」を体現する企画となりました。	733 名
9/15 （月･祝）	メイン ホール	市民がつくるコンサートシリーズ vol.9 SiRiUS コーラス祭	大和市で演奏活動を行うコーラス団体を公募し、高校合唱部から、平均年齢 70 歳を超えるシニア合唱団まで 11 団体が出演しました。今回の新たな取組として、大和市音楽家協会会長・加藤大聖を指導者に迎え、参加団体からの選抜メンバーによる特別合唱団を編成。フィナーレに特別合唱として「時を超えて」を披露しました。またアンコールでは、会場全員で「翼をください」を合唱。出演者も観客も一体となり、会場はあたたかな空気に包まれました。	参加者 約 250 名 入場者 739 名
12/7（日）	メイン ホール	市民がつくるコンサートシリーズ vol. 10	大和市で活動する市民 DANCERS を公募し、小学生からシニア層までが所属する 8 団体	参加者 85 名

		SiRiUS DANCE STAGE	が出演。ヒップホップ、モダンダンス、フラダンス、ジャズダンスなど様々なジャンルのダンスを披露。今回は、初めて大きな本番に臨む子どもたちや、新たに結成したグループの出演、この本番に向け準備した新たなプログラムを披露するなど、それぞれの団体が思いおもいのパフォーマンスを披露しました。各団体の幕間では出演者へのインタビューなども行い、市民活動の告知をする機会につながりました。	入場者 739 名
12/26（金）	サブ ホール	＜関連イベント＞ YAMATO Players による スペシャルプレトーク	新日本フィルハーモニー交響楽団 feat. YAMATO Players に出演する大和市ゆかりのソリストと指揮者をパネラーに迎え、クラシック音楽ファシリテーター・飯田有抄による進行にて、翌日に控えた本番を深堀するプレ・イベントを実施しました。演奏者側が感じる本番への貴重な思いや、意気込みなど、普段あまり聞くことができない貴重な内容が語られました。	39 名
【ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ】 1/11 （日） 1/25（日） 2/1（日） 2/8（日） 2/22（日） 【展示】 2/27（金） ～3/1（日）	マルチス ペース ギャラリ ー	【ワークショップ】 金城まみ シズルボード ワークショップ 【展示】 「見て味わう、おいしいアート展」	大和市内にアトリエを構えるチョークアーティストの金城まみとの共同で、小学 4 年生～高校 3 年生対象に「シズルボード」ワークショップを開催しました。全 5 回のワークショップの中で、画材の扱い方や描きたい食べ物をより良く見せるためのレイアウト、シズルボードの特徴でもある文字の入れ方などを習いながら作品制作に向かいました。 展示発表では、参加者が自身の作品を説明した後、講師から講評と	ワークシ ョップ 参加者 19 名 展示 791 名

			ワークショップ修了証を授与しました。一人ひとりの本気と頑張りを認め、今後の芸術活動を後押しする機会となりました。	

c）人材育成・普及事業

一流のアーティストに直接指導を受けるバレエレッスンや楽器体験、地域のアーティストに協力を仰ぎ、学校へ赴き、授業を行う学校プログラムなどを実施しました。未就学児から中学生まで次代を担う若年層を中心に行い、文化芸術の「扉をひらく」「深く知る」ことに加え、文化芸術への興味を育む機会として全6事業を実施しました。

人材育成・普及事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
6/27 （金）	メイン ホール	憧れのアーティストによる夢のレッスン～ワルター・アウアーによるフルートレッスン	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者ワルター・アウアーによるクリニックを実施しました。中学生・高校生の吹奏楽部部員を対象とし、基礎的奏法の指導を頂きました。聴講生も多く参加し、講師の指導に耳を傾けていました。世界の第一線で活躍するフルート奏者との交流により、若い世代の文化芸術振興と育成につながりました。	【受講者】 中学校 7校・25名 高校 4校・8名 計33名 【聴講生】 中学校 183名 高校40名 計223名
7/11 （金）	下福田 小学校 音楽室	学校プログラム 「雅楽の調べ」	学校からの要望を受け、6年生3クラスを対象とする「雅楽」のアウトリーチ活動を実施しました。出演は大和市雅楽協会会長・松永耕作へ依頼し、笙、篳篥、龍笛のトリオの編成で、雅楽の代表曲や楽器説明などを行いました。会場が音楽室だったことから、楽器に触れたり、間近で雅楽の音楽を聞いたりする貴重な機会になりました。	100名 （教職員含む）

8/24 （日）	メイン ホール	子どものための楽器体験 ガムラン・トゥラン・ブーラン for KIDS	未就学児と小学生を対象に、バリ島の伝統音楽であるガムランを取り上げ、それぞれ1回ずつ実施しました。様々なガムラン楽器を一緒に演奏することで紡ぎだされる独特のうねりを間近で感じ、音楽に合わせて舞も体験。異文化に触れる面白さや楽しさを知るだけでなく、舞台上という特別な環境だからこそ感じる希少な機会を通じ、ホールや文化芸術に興味を持つきっかけを創出することにつながりました。	未就学児の回 20名 小学生の回 18名
10/5 （日）	メイン ホール	キーウ・クラシック・バレエ団による公開リハーサル・バーレッスン	大和市のバレエ教室を対象に、バーレッスンの共演とリハーサル公開を実施しました。バーレッスンには、小学生から中学生までの5名が参加し、出演者とともにステージ上で体験する特別な機会となりました。リハーサル公開では、本番に向けて調整や確認を行うプロの姿勢と、より良いパフォーマンスを追及し、話し合いなどを行いながら修正を加えていくリアルな様子を客席で鑑賞しました。この企画を通じて、子どもたちが本物を知る特別な時間となりました。	リハーサル公開 38名 バーレッスン 5名
12/16 （火）	西鶴間 小学校 体育館	学校プログラム やまと寄席～特別編～ 落語のいろは	学校からの要望を受け、6年生を対象に「落語」のアウトリーチを実施しました。出演は、大和市ゆかりの落語家・柳家あお馬と太神楽師・鏡味仙成の2名に依頼。落語の所作や小物の説明に加え、教科書に掲載されて	135名 （教職員含む）

			いる「寿限無」「初天神」など、指導要領にあわせた内容で構成しました。古典芸能を間近で鑑賞する特別な機会につながりました。	
1/19（月）	柳橋小学校 体育館	学校プログラム「雅楽の調べ」	学校からの要望を受け、6年生を対象とする「雅楽」のアウトリーチ活動を実施しました。出演は大和市雅楽協会会長・松永耕作へ依頼。笙、篳篥、龍笛のトリオの編成で、雅楽の代表曲を演奏し、楽器の説明などを行いました。また、体験用の楽器もご用意いただき、楽器に触れる特別な機会を設けました。楽器の面白さや難しさを知り、鑑賞だけでは得られない特別な機会となりました。	90名 （教職員含む）

d）連携事業

施設の特性を取り入れた本を題材とした事業、神奈川県高齢者福祉施設協議会との連携、地域メディアとの協働企画に加え、施設内のスターバックスコーヒーとの連携企画など、ホール内にとどまらず、様々な場所・人と連携を試み、事業を実施しました。

中でも開館以来“初”となる有観客での避難訓練コンサートでは、大和市をはじめ、大和市消防本部や横浜市消防音楽隊などとも連携を図り、防災への啓発、施設としての防災への取組を周知することができました。東日本大震災から15年という節目の年に、施設内スタッフ、利用者、共々防災への意識醸成が再びできたのではないかととらえております。

連携事業は、全5事業を実施しました。

連携事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
9/23（火-祝）	メインホール	伊藤花りんサンドアート・パフォーマンス・コンサート	「アート」と「音楽」を掛け合わせた、新たなスタイルのコンサートを開催しました。シリウスの施設特性にあわせ、「シンデレラ」「不思議の国のアリス」「かぐや姫」など、誰も	410名 ※1階席のみ

			が手にしたことのある図書に関連した作品を中心に取り上げ、生演奏にあわせて移り変わる幻想的なサンドアートの世界をお楽しみいただきました。	
10/24 （金）	みなみ風	みんなの音楽会 出張版 みるとの“オカリナ・コンサート”	令和７年度から大和ケアマネージャー連絡協議会に代わり、神奈川県高齢者福祉施設協議会との連携を開始し、訪問する大和市内福祉施設を決定しました。演奏は大和市ゆかりのオカリナ奏者・みるとに依頼をし、歌謡曲やスタンダードジャズ、唱歌などを中心に構成しました。入所者は、演奏に合わせて手拍子や歌ったりと約１時間のミニ・コンサートを鑑賞。アンコールが終了した際は、万雷の拍手がなり続け、音楽を通じて心に豊かさを届けることができました。	105 名
12/20 （土）	サブホール	カフェとおんがく ～ハンドフルートの音色とコーヒーの香り	毎年の恒例イベントとなったスターバックスコーヒーYAMATO 文化森店と連携したコンサートを開催しました。サブホール内を店舗に見立て、テーブルや椅子とクリスマス装飾や照明により、カフェ空間を創り出しました。スターバックスコーヒーのバリスタたちによるコーヒー・トークとともに、ハンドフルート奏者・高山大知による演奏で構成。文化芸術を気軽に楽しむ機会につながりました。	１回目 52 名 ２回目 30 名
3/11 （水）	メインホール	避難訓練コンサート	シリウス全館および大和市消防署、横浜市消防音楽隊との協力のもと、初となる有観客での避難訓練コンサートを開催しました。平日昼間の公演にもかかわらず、お客様参加型訓練として各所からも注目度が高く、	526 名 （予定枚数終了）

			チケットは早々に予定枚数終了となりました。 また今回の公演にあわせて、同日にサブホールで大和市消防署による啓発イベントを実施し、約 250 名の来場者がありました。日々の生活の中での備えや心構えを学び、施設の防災に対する取組をお知らせすることで、安心してご利用いただける施設であることを周知する機会となりました。	
3/20（金・祝）	イトーヨーカドー大和鶴間店 ２階催事スペース	FM やまと×やまと芸術文化ホール×J:COM presents 春のうららか”ちょこっと”コンサート	地元のメディアとの協働で「企画→広報→当日運営→事後広報」をともに展開したイベントを開催しました。「地域に根差した活動をし、大和市の魅力を発見する」というねらいを掲げ、地元アーティストに出演を依頼。一回目はオカリナ奏者・みると率いるデュオによるファミリー向けプログラム。二回目はシンガーソングライター宇雪による大人向けのプログラムで構成し、文化芸術を身近に感じてもらうとともに、地域と文化芸術をつなぐ機会を創出しました。	【1 回目】 150 名 【2 回目】 90 名

ウ）市民参加型事業

地域の文化施設を支える市民とのつながり築くため、次世代育成の取組に協力し、主催事業を支えるコアファンである友の会会員への継続的なサービスの提供に加え、主催事業へご来場された市民の生の声に耳を傾けるなど、一人ひとりのニーズに寄り添えるようなサービスを実現し、施設への愛着につながるような活動につなげました。

a）市内小中学校の受入れ

令和 7 年度は小学校からの希望が無かったため、学生を対象にした施設見学会の実施はありませんでした。中学校の職場体験では 2 校の受入れを行いました。ホールの様々な専門スタッフの仕事を体験してもらい、仕事の面白さや奥深さを知っていただく機会となりました。

b）アンケートの実施と分析

令和 7 年度も主催公演にて来場者に向けたアンケートを実施し回収しました。回収率は平均で 25%を超え、来場者の平均年齢が高い公演ほど、アンケートの回収率も高くなる傾向にありました。また、ウェブアンケートも同時に実施しており、若い世代の来場者が多いほど、回答割合が高くなることが結果として示されています。また、ウェブアンケートの回答率は全体の約 5%で、令和 6 年度とほぼ同率でした。その他、お住まいや公演満足度、認知経路なども令和 6 年度比で大きな変化はありませんでしたが、50 代の来場割合が減少し、80 代の来場割合が増加した点においては、高齢層をターゲットにした企画を誘致したことが大きな要因と考えられます。多くの方から様々な声が寄せられていることを踏まえ、令和 8 年度以降の自主事業の開催において、より良い企画、サービス展開につなげられるよう参考にしてまいります。

c）友の会会員獲得に向けた広報活動の実施

友の会会員の獲得への施策として、半期ごと作成する入会促進用のチラシとともに、自館で発行する媒体には、友の会特典の案内など広報活動を展開しました。会員特典の一つであるメールマガジンでは、自主事業の告知だけでなく、アーティストインタビューや実施後の公演レポートなど、ホールの取組を知るためのツールとして、定期的に発信を行いました。その結果、主催公演チケットを購入された約 60%の方が友の会会員という結果につながりました。

エ）情報発信事業

市民の方が情報を得られる機会を少しでも多くするため、市内公共施設への配架やポスター掲示、近隣施設への配架協力依頼、関係団体からの情報発信など、芸術文化ホールの活動周知のための取組を推進しました。

a）定期広報紙「ステージガイド」を使用した広報

イベント情報の告知だけでなく、読み物としての紙面価値を向上させるため、各号で注目のアーティストへのインタビュー記事を掲載しました。また裏面に掲載しているイベントレポートでは、文化振興を目的とした事業を多く取り上げ、公演事業だけでないホール事業の取組を伝える媒体としての役割も担いました。

b）ホームページと各広報媒体との連動

アーティストインタビューを行った事業では、全文をホームページに掲載し、一部抜粋したものを紙の広報媒体に掲載し、二次元コードで WEB へ誘導するなどを行いました。

また、ホームページ内のページを一部システム改修し、より分かりやすい構成になるように修正しました。YAMATOMIRAI ポータルサイトでは、情報制限のある事業以外、イベントレポートを掲載し、ホールの取組を広く周知しました。

ホームページへの流入経路については、紙媒体からの流入数は多くないものの、一定数あ

ることは確認されているため、どの媒体においても終着地はホームページであるように情報の統一を図りました。

c）ポスターボードやチラシラックを活用した情報発信

事業の認知経路の上位に位置するチラシやポスターによる情報発信だけでなく、チラシラック横に出演者のインタビュー動画を放映したり、図書館との協力で関連図書との連携をしたり、より効果を高めるための施策を行いました。これまでどおり、館内外のポスターボードやチラシ配架や設置などは、継続的に実施し、より多くの方の目に留まるように広く展開をしました。

d）各種媒体への情報掲載

事業ごとにプレスリリースを作成し、各種媒体へ定期的なリリースの配信を行いました。紙媒体だけではなく、地域情報を発信しているウェブサイトなどにも情報掲載を依頼し、多くのメディアで取り上げられました。

e）地元媒体との連携強化

地元アーティストを取り上げる事業では、地域メディア３社と広報協力体制を築き、テレビ・ラジオ・地域情報誌からの情報発信を行うだけでなく、出演者を稼働した取材の受入れや、担当者が番組に出演しての告知を行うなど、市内への情報発信を強化しました。

２）実施体制

芸術文化ホールには貸館事業を担う運営部門、文化芸術事業を担う事業部門を設置し、円滑なホール運営を行いました。さらに芸術文化ホールの広報部門がやまとみらい全体広報を担いました。舞台設備管理は株式会社シグマコミュニケーションズへ委託しました。

④ 舞台設備管理

舞台設備管理は、舞台運営の専門性を有する株式会社シグマコミュニケーションズに委託し、安全・安心な施設利用の実現に取り組みました。

管理にあたっては、接客対応力および技術的専門知識の向上に継続的に取り組むとともに、文化芸術への理解を深め、市民文化団体や一般利用者と連携しながら、「市民が主役」となる舞台環境の実現を推進しました。また、すべての利用者にとって安心・安全な環境の提供を最優先とし、安全管理体制の徹底と適切な運営により、信頼される施設運営に努めました。

１）設備機器の安全確保

舞台設備および備品について、日常点検と定期保守点検を計画的に実施し、安全性及び安定稼働の確保に努めました。これにより、設備不良の早期発見と迅速な対応を実現し、重大事故の未然防止につなげました。

ア）舞台技術スタッフによる日常点検･保守点検

技術スタッフは、作業開始前の目視確認に加え、作業中における異常音・振動・異臭の確認を徹底しました。不具合発生時には速やかに初期対応を行い、状況報告を作成のうえ専門業者と連携し、早期復旧に努めました。これにより、設備の健全性と継続的な運用を維持しました。

【主要な保守対応および修理履歴】

令和 7 年 5 月

音響: 仮設スピーカー低音ユニットに歪が発生。保守業者による持ち帰り修理を実施。

令和 7 年 6 月

舞台: 客席迫に異常が発生し、動作不良。保守業者を呼び、迅速に復帰対応を実施。

舞台: 舞台機構操作卓に不具合発生。保守業者を呼び、検証および復帰対応を実施。

令和 7 年 8 月

舞台: バトンから異音が発生。保守業者を呼び、対応後、部品交換を実施。

音響: 常設スピーカーの内部回路に不具合発生。保守業者と調整し、代替機と交換後、修理対応。

令和 7 年 11 月

照明: 調光卓に不具合発生。保守業者を呼び、調査後、代替機と入替え修理を実施。

令和 8 年 2 月

舞台: 袖幕のレールに異常発生。保守業者による調整を実施、年間保守計画に追加。

客席: 通路足元灯の外装破損。部品交換を実施。

イ）専門会社による保守点検

音響・照明・舞台・客席設備について、専門業者による定期保守点検を実施しました。専門的視点による点検により潜在的な不具合の早期発見と適切な修繕対応を行い、施設全体の安全性と信頼性の向上を図りました。

また、ピアノについても計画に基づき定期調律および総合点検を実施し、良好な演奏環境の維持に努めました。

■定期保守点検　年間実施状況（下記のとおり計画に沿って実施しました）

設備	施設	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
音響	メインホール				7-9					24.25			
	サブホール					25.26					28		
照明	メインホール						2-4						17-19
	サブホール						8.9						3.4
舞台	メインホール		12			4.5			4.5			16	
	サブホール		12			5			4			16	
客席	メインホール					5						16	
	サブホール			4							20		

※定期保守点検は、各設備の専門会社に再委託しました。

■ピアノ調律・点検　年間実施状況（下記のとおり計画に沿って実施しました）

ピアノ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フルコン1	8		3		18		6		2		17	
フルコン2	8		3		19		6		2		17	
グランド	8		3		14 15		6		8		17	

※ピアノの定期調律･総合点検は、専門会社に再委託しました。

2）設備機器の長寿命化

設備の長期的かつ安定的な運用を目的として、専門業者と連携し中長期的な修繕計画の検討および見直しを行いました。日常点検・定期点検で把握した不具合に対しては使用頻度の度合いを考慮して修理の優先順位を選定し、修理期間中もご利用者に不便をかけないよう配慮しつつ、必要に応じて代替え機との交換などの調整も行い、適切に対応しました。また、機器の耐用年数や劣化状況を踏まえた計画的な修繕を実施し、突発的な故障リスクの低減と設備の長寿命化を図りました。さらに、令和7年度は舞台機構操作卓クライアントPCの更新や三点吊マイク装置の滞っていた更新提案を進めるよう働きかけました。

3）事故の未然防止

事故防止対策として、全スタッフへの継続的な情報共有を実施しました。

令和7年度は、5月に他施設での事故事例を共有し、類似事故の再発防止に向けた注意喚起を行いました。7月には熱中症対策の周知および本社から各事業所への冷却材配布が実施され、夏季作業時の安全確保を図るとともに、墜落制止用器具の耐用年数確認および安全点検についても周知しました。

9月には救急車手配時の対応手順について共有し、緊急時対応力の向上を図りました。12月には職場の安全に関する情報サイトの紹介および労働災害事例の共有を行い、安全意識の向上を促進しました。2月には充電式蓄電池の危険性や関連事故事例、電源ドラムの安全な取り扱いについて周知し、日常業務におけるリスク低減に努めました。

さらに、必要に応じて安全運用ミーティングを実施し、5月および1月には全スタッフを対象に安全管理に関する情報共有と認識の統一を図りました。特に1月のミーティングでは、避難経路や誘導方法、担当エリアの確認を行い、災害時対応体制の強化につなげました。

これらの取組により、安全意識の向上と危険予知能力の強化を図り、事故の未然防止に努めました。

4）舞台安全マニュアルの活用

舞台安全マニュアルを活用し、日常業務における安全管理の徹底を図りました。また、現

場運用や安全情報を踏まえ、内容の見直しを適宜実施しました。

7 月に、墜落制止用器具の点検にあわせて高所作業に関する安全対策の再確認を行い、高所作業マニュアルの見直しを実施しました。これにより、現場実態に即した実効性の高い内容へと更新し、作業時のリスク低減と安全性の向上を図りました。

5）研修によるスタッフの育成

スタッフの専門性向上、安全意識の強化および接遇力の向上を目的として、各種研修を実施しました。

5 月 2 日から 4 日にかけて、他施設における技術研修に 2 名が参加し、舞台設備の運用技術や現場対応力の向上を図りました。5 月 14 日には全スタッフを対象とした舞台安全運用ミーティングを実施し、安全管理に関する共通認識の醸成を図りました。

9 月 22 日には普通救命講習（AED）に 2 名が参加し、緊急時の初期対応能力の向上を図りました。1 月 28 日には全スタッフを対象とした安全運用ミーティングを実施し、避難経路や誘導方法、担当エリアの確認を行いました。

さらに、2 月 16 日には接遇・対人スキル向上研修を実施し、利用者対応の質の向上に努めました。

これらの研修を通じて、技術力・安全対応力・接遇力の各側面におけるスタッフの能力向上を図り、質の高い施設運営体制の強化につなげました。

（２）図書館関連サービス
（対象施設：大和市立図書館、大和市立中央林間図書館、大和市立渋谷図書館、各地区学習センター図書室）

①基本方針

大和市は、新大和市総合計画において、将来都市像として「みんながつながる健幸都市やまと」の実現を目指しています。指定管理者やまとみらいは、これまで《絵本がつなぐ　地域のきずな》をスローガンに掲げ、施設内外において市民・利用者同士をつなげる取組を行ってきました。とくに図書館４階健康テラスでは、「健康＝文化」の考えのもと、毎日講座やイベントを開催し、多世代・多様な方々の交流の場および居場所としての役割を担ってきました。

令和７年度は、今期指定管理の最終年度にあたるため、この５年間を総括し、図書館が今まで以上に市民生活に根付くよう、誰にでもわかりやすく、親しみやすい施設づくり・サービス構築に努めました。

運営にあたっては次の５つの行動指針を掲げ、推進しました。

〇幅広い世代の人が読書に気軽に親しめる環境づくりを実現します

本や読書の魅力を広く発信し、本に親しみ、読書の喜びを感じることができる読書機会を創出します。

〇おひとりさまや高齢者の方にも居心地の良い、第３の居場所を提供します

いつでも快適に、だれでも気軽に立ち寄れる施設として、質の高いサービスの提供に努めます。

〇図書館の本質的機能である情報、資料の収集と提供の充実を目指します

社会の変化や市民の要求を的確に捉えた資料提供を行い、知る自由を保障します。

〇電子図書館をより有効に活用し、新しい読書環境を提供します

図書館に来館できない利用者や本を読むことが難しい方々に対し、電子図書館を活用して読書活動の場を提供します。

〇安心安全な管理運営を実現します

来館される利用者が、安心して、安全に過ごせる環境管理、危機管理に努めます。

②サービス提供に関する取組

公共図書館の役割を理解した上で、すべての利用者に平等で公平なサービスを提供しました。

1）日常的なサービス提供

カウンター対応は利用者にとってすべてのサービスの入り口であり、また利用したいと思っていただくためには、気持ちの良い接遇が必要です。スタッフの対応も居心地の良さにつながる要素であると心得え、研修などを通して接遇力の向上に取り組みました。

また、図書館では多くの個人情報を扱うため、適切な保管や処理を行い、取扱いには細心の注意を払いました。

2）民間のノウハウを生かしたサービス向上

仕様書に記載されている業務を確実に遂行するのは当然のことですが、さらに民間のノウハウを生かして、業務の効率化や改善に取り組みました。

カウンターやフロアワークにおいては、利用者とのコミュニケーションを大事にすることで、的確にニーズをくみ取りました。広いフロアを有する大和市立図書館においてはインカムを使用し、迅速でスムーズな対応につなげました。

レファレンスサービスにおいては、利用者の必要とする情報が何かを引き出し、適切な情報を提供するため、研修の受講や勉強会による研鑽を積み、さらにはMARCを用いた検索の徹底や調査事例の蓄積によるレファレンス情報の共有を通してスキルの平準化とレファレンス力の向上を図りました。

3）様々な利用者が利用しやすい環境づくり

図書館には様々な世代、背景をもった利用者が訪れるため、すべての利用者がストレスなく利用いただけることが大切です。そのために研修などを通して利用者の特性をよく理解し、状況に合った適切な対応を心がけました。

③ 事業報告

1）事業方針及び事業内容

事業は、読書への関心を喚起したり、図書館に親しみを持ったり、あるいは来館してみるきっかけにもなります。また、いろいろなことに興味を持って参加することで、生きがいや充実感も生まれます。多様な事業を実施することで、そういった機会や経験を提供すよう努めました。

ア）大和市立図書館

大和市総合計画で掲げる「健幸都市やまと」の実現や読書活動推進計画に基づく事業への貢献のため、健康意識を啓発する事業や、読書への関心を高める事業などに取り組みました。実施にあたっては、従前どおり市民講師を軸にしながら、外部との連携も積極的に行いました。

「こども読書よむ読むプラン」（第4次大和市子ども読書活動推進計画）に定められた計画の目標や方策をよく理解した上で、子どもの読書推進事業を実施しました。

a）各種事業

事業名	内容
読書をテーマにした事業	読書会など、読書を通して気付きが得られるような事業を企画実施した。
映画会	映画の上映と映画関連本の展示を行った。
バリアフリー映画会	障がいがある方にも一緒に映画を楽しんでいただく機会を提供。3/13 にサブホールで『52 ヘルツのクジラたち』を上映し、155 人来場。障がいをお持ちの方などの先行受付を行った。
ティーンズ世代向け事業	ティーンズ世代に読書や図書館に関心を持ってもらう機会となる事業を企画した。ペン入れやトーン貼りを駆使した「マンガプロ体験」講座を実施し、小中高生 7 名の参加につなげたほか、中高生メンバー参加のシリウス図書委員会を開催した。
座席不足対策	市民優先席、閲覧専用席などを試験的に導入し、座席不足解消の一助とした。主に健康テラス開放で実施。

b）展示コーナー等の運営

事業名	内容
テーマ展示	時事や時節などを意識したテーマで、本との出会いや、関心の喚起を演出できる展示を行った。本の中で最も感動した一文を理由とともに投稿してもらう神奈川新聞社の新規事業「読書検定」に大和市立図書館杯として参加し、集まった一文の展示も行った。
小説をよもう展示	新たな作家や物語を手に取るきっかけとなる展示を行った。
こども図書館展示	子どもの関心を喚起するような展示を行った。絵本のパネル展示なども実施した。
ティーンズ展示	ティーンズ世代ならではの話題をテーマに、読書への関心を喚起する展示を行った。シリウス図書委員会メンバーのおすすめ本など活動の PR につながる掲示も実施した。
健康コーナー展示	市民の健康への関心を喚起したり、健康テラス事業と連動した展示を行った。
行政との連動展示	市の各課と協力し市の施策や取組を PR する展示を行った。
音楽配信	音楽配信サービスを提供した。

c）児童サービス

事業名	内容
家読を推進する事業	家読への関心や読書を推進するための事業を企画した。 8 事業 30 回開催し、1,220 人が参加した。
ブックスタート事業	市の 4 か月健診で実施。合計 48 回実施し、1,625 組が参加した。令和 6 年度からお渡しする絵本が 1 冊となったため、配布冊数も同数。
おはなし会・ 出張おはなし会の実施	絵本、紙芝居などの読み聞かせや手遊びなどを行った。 137 回開催、3,136 人が参加。
ブックリストの作成･配布	子どもの年齢に合わせた本を紹介するブックリストを作成した。vol.9 のテーマは「つくる」。
こどもとしょかんだよりの作成・配布	本や読書に関心を持ち、こども図書館をより知っていただくために発行し、配布した。
調べる学習地域コンクール開催	調べる学習の成果を発表する場として、大和市での地域コンクールを開催。7,538 点の応募があり、このうち 36 点を全国コンクールに推薦した。
一日図書館員	図書館員の仕事を体験する機会を提供した。7 月に実施し、計 46 人が参加した。
団体向け児童書リサイクルフェア	図書館で不要とした児童書を団体に向けて提供した。6/9 に開催し 36 団体、65 人が参加した。
市民まつりへの出展	子ども読書活動推進会議との連携により実施した。5/10、11 に開催。森のとしょかんコーナーなどを設置し、普段とは違う環境で、来場した家族連れが本に親しむ機会を提供した。
読書フェスティバル への参加	令和 7 年度から「大和市子ども読書感想文コンクール」に名称変更となった。地域や学校とともに読書活動促進を図った。
子ども読書活動推進事業	読書活動を推進する事業を実施した。科学絵本「たくさんのふしぎ」(福音館書店) の編集長を招き、世界のふしぎについてや、絵本や雑誌の製作秘話などを講義。
アウトリーチサービス	保育園など館外で実施するおはなし会など、アウトリーチの取組を実施した。

d）ボランティアの育成・連携

事業名	内容
おはなし会の協働	市が選定したボランティア団体との協働によるおはなし会を開催した。「おひざでだっこのおはなし会」(第 1 火曜日)、「みんなでたのしむおはなし会」(第 2 水曜日)、「親子で楽しむおはな

	し会」(第 4 水曜日)、「英語絵本のおはなし会」(年 4 回)。
ボランティア育成	読み聞かせボランティアを育成する講座を実施した。入門編 2 回、乳幼児編 3 回、ブラッシュアップ編 3 回、ストーリーテリング 3 回の計 11 回で 192 人が参加した。
ボランティア交流	読み聞かせボランティアやブックスタートボランティア同士が情報交換を行える会を開催。2 回で 31 人が参加した。

e）団体・学校向けサービス

事業名	内容
団体貸出	地域の機関や団体へ向けて資料の貸出を行った。市立図書館以外の各館での対応を開始した。図書 52 件 5,922 冊、視聴覚 57 件 92 点、協力団体 25 件 750 冊の利用があった。
学校貸出	学校へ向けて資料の貸出を行い、授業を支援した。29 件 1,061 冊貸出。
施設見学対応	学校からの施設見学を受け入れ、図書館について知っていただく機会を提供した。19 件 1,272 人参加。
職場体験等対応	市内中学校の職場体験や、大学生の図書館実習、教職員の社会体験研修などの受入れを実施。24 件 111 人参加。

f）健康情報サービス

事業名	内容
健康コーナーの運営	分類にとらわれない幅広い資料を収集し、分かりやすい配架を行い、健康や医療に関する資料や情報を提供した。
疾病別ラベル・出版年ラベルの貼付	1 冊ごとに「疾病別ラベル」と「出版年ラベル」を貼付した。
健康・医療に関するレファレンス	健康コーナーの情報では解決できなかった場合や、さらに情報が必要な場合は、調査の支援を行った。健康レファレンス 101 件受付。
健康イベント	より幅広い層に興味を持ってもらえるような、健康や医療に関するイベントを企画した。431 回開催し、7,530 人参加。ラジオ体操など体を動かすものから、「てつがくカフェ」などの知的領域、DJ が選曲した音楽をヘッドホンで聞きながら読書するイベント「踊れる文学」など、幅広い形で実施し、市民交流にもつながった。
認知症に関するイベント	認知症について理解を深めるイベントを企画した。8 月に人生 100 年推進課との連携による「認知症世界の歩き方 for キッズ」

	を開催。
健康情報サービスの発信	健康に関する情報提供や健康情報サービスを知っていただくために広報誌を作成、配布した。
健康度見える化コーナー	健康度見える化コーナーを管理・運営した。

イ）大和市立中央林間図書館

令和 7 年度事業計画書においては、中央林間駅直結の好立地を生かし、どの利用者層にも満足いただける魅力的な取組を展開するとともに、地域連携活動も積極的に推進する計画を定めました。この事業計画に基づいて各種の事業を実施し、図書館の利用促進および利用者満足度の向上を図りました。

a）各種事業

ｉ）おはなし会

大和市市民交流拠点ポラリスと連携したおはなし会を月 1 回開催しました。おはなし会を通して子どもたちが絵本に触れ合う機会を提供し、読書への関心を高めるとともに、図書館を利用するきっかけを作ることに努めました。参加者数は前年と比べ微減(R6 年度:計 363 人 ⇒ R7 年度:計 357 人)でした。

実施日	参加人数			備考
	子ども	大人	計	
4/26	11 人	12 人	23 人	
5/31	6 人	7 人	13 人	
6/28	20 人	23 人	43 人	
7/26	22 人	18 人	40 人	
8/23	16 人	19 人	35 人	
9/27	13 人	15 人	28 人	
10/18	16 人	16 人	32 人	
11/22	14 人	15 人	29 人	
12/20	17 人	16 人	33 人	クリスマススペシャル
1/24	12 人	11 人	23 人	
2/28	15 人	15 人	30 人	
3/28	16 人	12 人	28 人	
計	178 人	179 人	357 人	

ⅱ）カフェとの連携事業

隣接する星乃珈琲店との連携事業として、『作家の机』『ブックレビュー』を継続実施しました。また、星乃珈琲店からお借りした「空想」を連想する絵画と図書館所蔵の「空想」をテーマとした図書を展示しました。

日付	会場	事業名	内容
通年	星乃珈琲店内	作家の机	星乃珈琲店の利用者にふさわしい作家/テーマの本を展示。年 4 回展示替え。
通年	館内/星乃珈琲店内	ブックレビュー	星乃珈琲店の閲覧用図書の中から選定した図書のレビューを図書館で作成。星乃珈琲店で印刷。年 4 回発行。
12/1-2/26	館内	星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品展示	星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品の中から「空想」を連想する作品を展示。同時に平台でも「空想」をテーマとした図書を集めて展示。

ⅲ）中央林間東急スクエアとの連携事業

商業施設内にある図書館という特色を生かし、令和 4 年度から開催している無印良品との連携イベントを継続して開催するとともに、夏休み特別企画として中央林間東急スクエアと共同でスタンプラリーを開催し、令和 7 年度も多くの子どもたちに参加していただきました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
6/22	中央林間東急スクエア 2 階	無印良品連携企画「カプセルトイでバスボムギフト作り！」	無印良品の店舗内で図書館スタッフによる読み聞かせを行った後、無印良品スタッフが講師となり手作りワークショップを開催。好評につき、1 日 2 回開催。	18 人
7/25	館内	キッズスタッフイベント「図書館員体験」	東急スクエア主催の小学生向けおしごと体験イベントに参加。館内見学のあと配架など図書館の仕事を体験。	2 人
7/19 - 8/31	館内	東急スクエアコラボ「中央林間図書館に行こう！わくわくスタンプラリー」	小学生以下を対象とした東急スクエアとの連携企画。期間中に 2 回来館して 2 種類のスタンプを集めると達成賞を進呈。またおすすめ本紹介カードも募集し、9 月に東急スクエア 1F に展示。小学生を対象としたこわいおはな	スタンプラリー達成：526 人。おすすめ本紹介カード応募：271 人

			し会を 8/8 に開催。	
12/14	中央林間東急スクエア 2F	無印良品連携企画「スクラッチアートでクリスマス飾り＆スペシャルおはなし会」	無印良品の店舗内で図書館スタッフによる読み聞かせを行った後、無印良品スタッフが講師となり手作りワークショップを開催。好評につき、1 日 2 回開催。	24 人
通年	館内	図書館緑化	中央林間東急スクエア 2 階の観葉植物専門店「VERY VERY」との連携を継続し、館内各所に観葉植物を設置。	-

ⅳ）つる舞の里歴史資料館との連携事業

つる舞の里歴史資料館で行われた古写真展に合わせ、中央林間駅付近の古写真を郷土資料コーナーに展示。またシリウスで開催されたつる舞の里歴史資料館の特別展示に合わせ、メインエントランス・平台には大和市の変遷や昭和の生活が分かる資料を展示しました。2 月には、つる舞の里歴史資料館の学芸員を講師に招き、「まちのなりたち 古代から現代まで」というテーマで大和市のルーツをたどる歴史講座を開催しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
5/23-7/13	郷土資料コーナー	古写真展示	つる舞の里歴史資料館の古写真展期間に合わせ、同資料館から提供いただいた中央林間駅付近の古写真を展示	-
9/1-9/30	メインエントランス・平台	昭和 100 年展示「くらべて発見、まちの歴史」(3 館合同企画)	シリウスで開催されたつる舞の里歴史資料館の特別展示に合わせ、昭和にちなんだ資料を展示。	-
2/21	学習室	つる舞の里歴史資料館 歴史講座「まちのなりたち 古代から現代まで」	つる舞の里歴史資料館学芸員を講師に招き、大和市のルーツをたどる歴史講座を開催。	10 人

ⅴ）健康関連講座

利用者にとって関心の高い健康関連のテーマを選定し、以下の講座を開催しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
8/5	学習室	認知症世界の歩き方 for キッズ＆ペットボトルランタンを作ろう！	大和市人生 100 年推進課から講師を迎え、小学生向けの認知症講座を開催。講座後、ペットボトルランタンを作るワークショップを開催。	4 人
11/5	ポラリス	終活講座「はじめての終活講座 2025」	大和市人生 100 年推進課の終活コンシェルジュを講師に迎えて終活講座を開催。	16 人
3/7	ポラリス	今日から始める！カラダが喜ぶおやつ習慣	食に関する講座。大和市健康づくり推進課の管理栄養士の方を講師としてお招きし、おやつの基本について学べる講座を開催。	17 人

ⅵ）手作りワークショップ

当館の館内装飾等を手掛けているスタッフが講師となって、年代を問わずに参加できる作りワークショップを開催し、関連資料の利用促進を図りました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
11/1	学習室	素材で楽しむはじめてのコラージュ講座	中央林間図書館スタッフが講師となり、初心者向けのコラージュ講座を開催。	8 人

ⅶ）地域のイベントとの連携

地域で行われるイベントに積極的に参加することで、普段図書館を利用しない方にも図書館の活動を広くアピールするとともに、地域の方々と交流し絆を深めました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
5/25	柿の木通り公園ステージ	中央林間手づくりマルシェ「中央林間図書館の読み聞かせ」	地域で年 2 回開催されるハンドメイド作品の販売と地元中学/高校が演奏する音楽ステージのイベントに参加。公園ステージに参加し大型絵本の読み聞かせを実施。	219 人
11/30				151 人
9/6	ポラリス	中央林間連合自治会秋祭りとの連携事業「オリジナル缶バッ	自治会との連携事業として、自治会秋祭り会場に隣接するポラリスで開催。図書館スタ	子ども 115 人

		チを作ろう！」	ッフがデザインしたイラストにぬり絵をするか自身で描いた絵をその場で缶バッチにしてプレゼント。	

viii）自治会等との連携

日付	会場	事業名	内容	参加者数
9/6	ポラリス	中央林間連合自治会秋祭りとの連携事業 「オリジナル缶バッチを作ろう！」	自治会との連携事業として、自治会秋祭り会場に隣接するポラリスで開催。図書館スタッフがデザインしたイラストにぬり絵をするか自身で描いた絵をその場で缶バッチにしてプレゼント。	子ども 115 人

b）展示コーナー等の運営

月ごとにテーマを決め、メインエントランスと平台を使ったテーマ展示を行いました。季節やトレンドを意識したテーマを選定し、利用者と本との出会いを演出するとともに、“図書館の顔”として来館者の目を引くような展示を心がけました。

また入口付近には 5themes と題したコーナーを設置し、タイムリーなテーマを 5 つ選定して短期間で展示を入れ替えることで、来館頻度の高い利用者にとっても常に新鮮な本と出会う機会を提供しました。

月	場所	展示テーマ
4 月	メインエントランス	中央林間図書館 1 年生！
	平台	「言の葉」の「葉」のとこ / 5themes
5 月	メインエントランス	図書館を巡ってなぞとき探検
	平台	Enjoy the outdoors!! / 5themes
6 月	メインエントランス	モノのつくり
	平台	読んで知って考える SDGs / 5themes
7 月	メインエントランス	生き物の進化
	平台	夏の本棚 / 5themes
8 月	メインエントランス	おうちで読もう！
	平台	夏の本棚 / 5themes
9 月	メインエントランス	くらべて発見　まちの歴史
	平台	写真で見る図書館の歴史 / 5themes

10 月	メインエントランス	おちつくじかん
	平台	中央林間図書館に行こう！みんなのおすすめ本紹介 / 5themes
11 月	メインエントランス	大和市立図書館公式 Instagram を見てほしい！！
	平台	中央林間図書館に行こう！みんなのおすすめ本紹介 / 5themes
12 月	メインエントランス	読みつがれてきた絵本たち
	平台	空想の本 / 5themes
1 月	メインエントランス	年はじめ、干支さがし
	平台	空想の本 / 5themes
2 月	メインエントランス	1 か月〇〇チャレンジ
	平台	カラダに優しいおやつを食べよう！ / 5themes
3 月	メインエントランス	知っておきたい暮らしあれこれ
	平台	カラダに優しいおやつを食べよう！ / 5themes

c）学校向けサービス

ｉ）施設見学・職場体験等対応

職場体験では、 実際に図書館の仕事を経験することで働くことの厳しさや喜びを味わい、また図書館に関心を持つきっかけになったと期待しています。今後も施設見学や職場体験をより効果的に進めていくため、地域の学校と緊密な連携を図っていきます。

日付	事業名	内容
7/29-30	県央地区インターンシップ受入れ	神奈川県立中央農業高等学校：2 人
11/17 11/21	施設見学受入れ インタビュー	大和市立中央林間小学校 2 年生： 95 人/64 人、引率教諭 6 人/3 人
11/25-26	職場体験受入れ	大和市立つきみ野中学校 2 年生：2 人
1/22-23	職場体験受入れ	大和市立南林間中学校 2 年生：2 人
1/29-30	職場体験受入れ	大和市立鶴間中学校 2 年生：2 人
2/9	職場インタビュー受入れ	大和市立鶴間中学校 1 年生：6 人
3/5	インターンシップ受入れ	青山学院大学 1 年生：1 人

d）その他 各種イベント

日付	会場	事業名	内容	参加者数
4/1-	館内	メモ帳配布	7 周年記念品として、障害福祉サービス事務所あるむが作成した「メモ帳」を配布。	配布数 1,000 冊
8/8	学習室	おはなしのひろば 中央林間図書館 ～こわいおはなし会～	小学生を対象としたこわいおはなし会を開催。紙芝居、絵本の読み聞かせと朗読を実施。	6 人
11/3	学習室	おはなしのひろば 中央林間図書館 ～オリジナル紙バッグを作ろう！～	やまとみらいまつり連携イベント。絵本の読み聞かせの後、スタンプを使ってオリジナルの紙バッグを制作。	8 人
12/20, 12/24-12/25	ポラリス館内	ホリデーカード配布	ポラリスで開催した「おはなしのひろば中央林間図書館」、12/24-25 に図書館に来館した子どもたちにホリデーカードを配布。	配布枚数 100 枚
1/2-1/6	館内	図書館おみくじ	ラッキーブックを掲載したおみくじが引ける「おみくじコーナー」を館内に設置。	300 枚

ウ）大和市立渋谷図書館

市南部地域に根差した様々な世代や背景を持つ利用者の読書活動拠点を目指し、各種事業を計画・実施しました。

a）各種事業

ｉ）おはなし会の開催

月 2 回（第 1 土曜日：乳幼児向け、第 3 土曜日：小学生向け）定例おはなし会を開催しました。9 月からは、渋谷学習センター主催の外国にルーツのある親子向けの日本語教室「みんなのにほんごのへや」での読み聞かせも定例化しました。工作や室内遊びなどを取り入れたスペシャル版おはなし会も季節ごとに開催し、読書活動や図書館をより身近なものと感じられるように努めました。

月	回数						備考
	定例	そのほか	計	子ども	大人	計	
4 月	2 回	－	2 回	5 人	5 人	10 人	
5 月	2 回	1 回	3 回	12 人	8 人	20 人	春のスペシャル

							おはなし会
6 月	2 回	1 回	3 回	14 人	12 人	26 人	
7 月	2 回	1 回	3 回	19 人	8 人	27 人	夏のスペシャルおはなし会
8 月	2 回	－	2 回	4 人	5 人	9 人	
9 月	3 回	－	3 回	17 人	12 人	29 人	
10 月	3 回	－	3 回	15 人	9 人	24 人	
11 月	3 回	1 回	4 回	27 人	26 人	53 人	秋のスペシャルおはなし会
12 月	2 回	－	2 回	6 人	5 人	11 人	
1 月	2 回	－	2 回	7 人	9 人	16 人	
2 月	3 回	1 回	4 回	20 人	18 人	38 人	冬のスペシャルおはなし会
3 月	3 回	－	3 回	21 人	18 人	39 人	
計	29 回	5 回	34 回	167 人	135 人	302 人	

ⅱ）ティーンズ世代向け事業の実施

中高生向けに、学校で学ぶ教科の問題や入試の過去問風の問題など、16 種類の問題を館内に掲示しました。イベント期間も長く、入口の目立つ場所での PR の効果もあり、立ち止まって問題や関連本を見ている様子の来館者も多く見られました。イベントでのアンケートをもとに翌月には「みんなの好きな本　おすすめの本」の連携展示も実施しました。

日付	会場	事業名	内容	参加人数
2/1-2/28	図書館内	異変をさがせおかしな試験問題	中高生向けに、英語や数学など学校で学ぶ教科の問題 16 種類を館内に掲示。正解がない問題（異変）を見つけた人に景品をプレゼントする企画。	用紙配布:22 人 景品引換:12 人

ⅲ）大人・シニア世代向けイベントの実施

大和市人生 100 年推進課から講師をお招きし、渋谷図書館では初めての終活講座を開催しました。事前申し込みで早々に満員となり、キャンセル待ちの問い合わせもあるなど、実施前から反響の大きさが伺え、当日も参加者皆様の熱心なご様子が伝わってきました。

はじめての手話講座は、聴覚障害について理解を深めながら手話の基本を学ぶ講座で、参加者が 2 人 1 組になって学んだ手話を披露しあう場面もあり、終始和やかな雰囲気で開催することができました。

新春かるた会は、参加者は 2 名と多くはなかったものの、百人一首の経験者や中央林間に詳しい方々だったこともあり、使用した『中央林間加留多』の読み札や解説に出てくる地名や人名もよくご存じで、大いに盛り上がりました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
6/11	渋谷学習センター 310 講習室	今すぐできる終活講座	人生 100 年推進課の職員による、初めての終活に関することやエンディングノートの書き方などの講義。	18 人
10/12	渋谷学習センター 304 講習室	はじめての手話講座	神奈川県聴覚障害者連盟から講師を招き、聴覚障害について理解を深めながら手話の基本を学ぶ講座。	22 人
1/14	渋谷学習センター 310 講習室	新春かるた会	地域資料として所蔵している『中央林間加留多』をはじめ、数種類のかるた遊びを通して、認知機能の維持・向上や参加者同士の交流を図った。	2 人

ⅳ）認知症に関するイベントの実施

小学生を対象とした「認知症世界の歩き方 for キッズ　レシート芯で 2WAY ミニわなげを作ろう！」では、大和市人生 100 年推進課職員による動画やワークを用いた講座の後に、レシート芯で 2WAY ミニわなげを作りました。楽しみながら認知症理解を深められる講座となりました。

また、令和 6 年度に引き続き、福田南地域包括支援センターとの共催で、認知症カフェ「話笑和の輪（わわわのわ）」を開催しました。令和 7 年度も「室内レクリエーション」を取り入れ、歓談だけでなく、体を動かしながらの交流も図れました。恒例となりつつある図書館 3 館の合同企画「ちいさなオレンジライトアップ」でも支援センターのボランティアが作成した装飾を展示し、認知症理解とともに支援センターとの連携も一層深めることができました。

日付	会場	事業名	内容	参加人数
8/6	渋谷学習センター310 講習室	認知症世界の歩き方 for キッズ レシート芯で 2WAY ミニわなげを作ろう！	認知症について動画やワークで学び、レシート芯で輪投げを作る。人生 100 年推進課との共催。	7 人
9/17	渋谷学習センター304・305	おれんじカフェ「話笑和の輪（わ	スタッフによる読み聞かせの他、頭と体を使ったレクリエーションな	10 人

	講習室	わわのわ)」	ども行う福田南地域包括支援センターと共催の認知症カフェ。	

ⅴ）外国にルーツのある住民向け事業の実施

令和７年度の試みとして、渋谷学習センター主催（運営は NPO 法人多文化共生ボランティア団体 KAM）の外国人ルーツの親子向け日本語教室「みんなでにほんごのへや」で日本語の読み聞かせ「にほんごでえほんのじかん」を９回行いました（9 月より定例化）。外国にルーツのある子どもたちに、えほんに触れる場をつくることができました。

ⅵ）情報発信の充実

大和市内 3 図書館 2 図書室合同アカウントでの Instagram も軌道にのり、9 月にフォロワーも 500 人を達成しました。

b）展示コーナー等の運営

ⅰ）本のテーマ展示

毎月季節や企画に合わせたテーマで展示を行いました。２月のティーンズ向け展示では、職場体験に参加した中学生が選んだ本を展示して、同世代が読書に興味が湧くような展示を行いました。また 11 月には、やまとみらいまつりで実施した POP ワークショップで参加者に作成いただいた POP の特別展示も行いました。令和 7 年度より新しい広報活動の一環として、月例の展示とは別に「ひとはこ図書館」という名称で図書館スタッフが考えたそれぞれのテーマで集めた本を展示するミニコーナーを設置しました。

月	場所	展示テーマ
4 月	一般	春と桜
	ティーンズ	部活のお話
	児童	家族
	ひとはこ	実写化に推しが出てました
5 月	一般	体を動かす
	ティーンズ	名作絵本
	児童	町を探検
	ひとはこ	私のとっておき本
6 月	一般	雨の日の本
	ティーンズ	名探偵集合！
	児童	読んで知って考える SDGs
	ひとはこ	魅力あふれる写真集

	特別	Facebook で紹介した本
7 月	一般	夏の本
	ティーンズ	お仕事
	児童	外国語の本
	ひとはこ	That's 旅
	特別	課題図書
8 月	一般	小泉八雲と怪談
	ティーンズ	怖い話
	児童	夏休み！宿題応援 2025
	ひとはこ	しろくてかわいい おなかのほん
	特別	課題図書
9 月	一般	相棒
	ティーンズ	ひとやすみ（自殺予防週間関連展示）
	児童	宇宙
	ひとはこ	怖いだけじゃない おすすめホラー小説
	特別	・アルツハイマー月間関連展示（ちいさなオレンジライトアップ／福田南地域包括支援センターたんぽぽの会） ・昭和と大和（つる舞の里歴史資料館関連展示）
10 月	一般	海外での旅や生活
	ティーンズ	気持ちの伝え方
	児童	麺類
	ひとはこ	おいしそうな本
	特別	やまとみらいカレッジ ヒトとイヌ・ネコの関係　～現在・過去・未来～
11 月	一般	音楽の秋
	ティーンズ	ジャケ借り
	児童	世界の昔話
	ひとはこ	いろいろ図鑑
	特別	やまとみらいまつり　ひとこと POP をつくろう！
12 月	一般	追悼
	ティーンズ	体について知る
	児童	ぬいぐるみのともだち
	ひとはこ	柴犬づくし！
1 月	一般	あたたかいもの
	ティーンズ	日本の伝統を楽しむ
	児童	うま年

	ひとはこ	こと始め
2 月	一般	大和のことをもっと知ろう
	ティーンズ	職場体験の中学生が選ぶ本
	児童	夜の本
	ひとはこ	手紙
3 月	一般	和
	ティーンズ	・「お金」について考える ・みんなの好きな本　おすすめの本（イベント連携展示）
	児童	おうち
	ひとはこ	サッカーを見たくなる本

ⅱ）郷土関連資料の展示

9 月 13 日から 23 日にかけてシリウスギャラリーで開催されたつる舞の里歴史資料館の企画展示「やまと激動の昭和史　交通の発達と戦争」に合わせ、資料館からいただいた過去の企画展のパンフレットを展示しました。資料館企画展の開催期間中はチラシを配架、ポスターを掲示しました。利用者の視界に入りやすい場所で展示していたこともあり、足を止めてポスターや資料をご覧になっている方も多くいました。郷土資料コーナー資料の認知や貸出にも繋がる展示として継続的に行っていきます。

c）学校向けサービス

ⅰ）施設見学・職場体験等対応

・地域の小学校の生徒たちに図書館を身近に感じてもらうために施設見学対応を行いました。また、中高生向けには職場体験やインターンシップを受け入れ、実際に図書館の仕事を経験してもらい、働くことへの理解や、職業選択の一助となることを期待しています。

日付	事業名	内容
6/2	施設見学受入れ	大和市立下福田小学校 2 年生： 3 クラス 96 人（引率教諭 6 人）
7/25	インターンシップ受入れ	神奈川県立大和東高等学校 2 年生：1 人
8/5	インターンシップ受入れ	神奈川県立大和東高等学校 2 年生：1 人
8/19	インターンシップ受入れ	神奈川県立厚木高等学校 2 年生：1 人
11/6	施設見学受入れ	大和市立渋谷小学校 2 年生： 3 クラス 109 人（引率教諭 12 人）
1/22-23	職場体験受入れ	大和市立上和田中学校 2 年生：2 人

2/6	施設見学受入れ	大和プレスクールにほんごひろば：2 人

d）その他 各種イベント

日付	会場	事業名	内容	参加者数
10/5	IKOZA ピロティ／ギャラリー	＜地域連携事業＞渋祭出展 スタンプラリー／お絵かきコーナー／フォトスポット／メッセージツリーを飾ろう	IKOZA 1 階ピロティにて、スタンプラリー受付と自由参加型のおえかきコーナー。同じく IKOZA 1 階ギャラリーにてフォトスポット・メッセージツリーをそれぞれ実施。多くの方に楽しんでいただき、大盛況だった。	・スタンプラリー：台紙配布 400 枚 景品配布 275 個 ・ギャラリー来館数：433 人 ・メッセージツリー：58 人 ・お絵かきコーナー：102 人
12/6	渋谷学習センター 310 講習室・図書館他	＜地域連携事業＞日本語教室親子体験＆クリスマス会	日本語教室親子体験の一環で、読み聞かせを実施するとともに、館内にお絵描き体験コーナーを設置。図書館を知ってもらうよい機会となった。	50 人
11/3	渋谷学習センターギャラリー	＜やまとみらいまつり連携事業＞ひとこと POP しおりをつくろう！ワークショップ 同時開催） ・図書館スタッフによるミニおはなし会 ・缶バッジワークショップ	好きな絵本や読み物を持ち寄って「ひとこと」で紹介する POP の作成。完成後の作品はしおりとして複製し、11 月いっぱい館内で展示及び配布。	28 人
2/6	図書館内	＜外国人居住者の施設見学＞大和市プレスクール図書館見学	子どもだけの参加だったため利用登録はできなかったが、館内案内や利用方法の説明、読み聞かせを実施。今後の継続した図書館利用への第一歩を手助けすることができた。	8 人

エ）大和市つきみ野学習センター図書室

a）各種事業

事業名	内容
「夏休みにボランティアをやってみたい中高生このゆびとまれっ！」図書ボランティア入門	中高生のボランティア活動の推進事業として「図書ボランティア入門」を開催。参加者は市内在学在住の 20 名。7/20 のオリエンテーションと 7/22-8/17 間に 3 回の書架整理や配架を手伝う活動に参加してもらい、活動終了日にボランティア活動証明書を授与した。
折り紙イベント	「ふれあいタイム」企画として、図書室内閲覧席で親子で楽しめるミニイベントを開催。 ・「おりがみでつくるお月見壁飾り」（9/21 の 3 回合計 13 名参加） ・「折り紙人形で紙芝居『さんびきのこぶた』」（12/14 の 2 回合計 12 名参加） ・「みんなでひなまつりを楽しもう！（紙芝居の読み聞かせとひなまつり工作本の紹介）」（2/22 の 2 回合計 9 名参加）
つきみ野学習センターまつり「本のお楽しみ袋」	学習センターまつりの連携事業として、新たな本との出会いを楽しめる「本のお楽しみ袋」イベントを開催。今回はテーマ別にセットされた絵本を楽しんでもらった。11/8-9 の 2 日間で 50 セットを貸出。

b）展示コーナー等の運営

事業名	内容
テーマ展示	時節や社会的な話題のテーマの本で読書に親しんでもらえるように一般・児童コーナーの展示を毎月行った。
リサイクル本コーナー設置	年 4 回（5/8/11/2 月）開催。図書室内に特別コーナーを設置し、地域での本の再利用に取り組んだ。
各種講座の関連書籍の紹介コーナー設置	つきみ野学習センターで開催される各種講座・企画に興味を持って参加できるように関連書籍を紹介。令和 7 年度は 10 講座で実施した。

オ）大和市桜丘学習センター図書室

a）各種事業

事業名	内容
子育て応援コーナーを拡大	赤ちゃんコーナーに絵本だけではなく育児関連本を配架。お子様が絵本を見ている近くで大人も本を選べるようにした。その結果、滞在する親子連れが増えた。
児童書コーナーを整理	小学生の利用者を増やすため児童書コーナーを整理。 来室した小学生に積極的に声がけをして小学生目線で書架を見直した。現在小学生の利用が増えつつあるが、今後も引き続き書架の見直しを行う。
地域情報を提供	近隣の公園の開花情報などを紹介、また地元の探検家が TV で取り上げられた際もすぐに紹介して地域密着の情報を提供。
窓のレイアウト	日よけのため紙を貼っていたが、外から見て魅力的な場所に見えるように　デザインを工夫した。 「図書室」の文字が傷んでいたが、それを生かしてアンティーク調にしたことで　利用者からお褒めの言葉をいただいた。

b）展示コーナー等の運営

事業名	内容
日替わり展示	テレビや雑誌に取り上げられた話題や近隣の情報など 展示のバリエーションを広げた。 また、桜丘図書室以外の資料を展示することで大和市内の各図書施設を積極的に紹介することに努めた。
シリウスのイベントの関連展示	シリウスでの映画会・トークイベント「本を贈る」の関連展示。 利用者に「あなたはどなたに贈りたいですか？」 と問いかけて紹介カードを募集。（5 名が参加）今年度も利用者参加型の展示を行った。

カ）図書館・図書室連携事業

事業名	内容
つる舞の里歴史資料館との連携	9/13-23 シリウスで行われたつる舞の里歴史資料館の特別展「昭和 100 年終戦 80 年　やまと激動の昭和史　交通の発達と戦争」にあわせ 3 館で関連展示を行った。各館で展示内容を工夫し、郷土の歴史を知る機会を提供した。
小田急線で行こう！図書館を巡ってなぞとき探検！ 子育て王国大和市	好評の地域連携企画を、令和 6 年度に続き 3 図書館・2 図書室合同で実施した。図書館での達成賞のお渡しは合計 138 人。1 日司書には 3 組が参加した。

2）実施体制

窓口担当や児童担当、シリウスにおいては健康担当や選書・レファレンス担当などの部門を設け、各部門が連携、協力して業務を行い、各図書館・図書室同士で日頃から密に連絡し合いました。

全国で多くの図書館運営を受託しているノウハウと、図書館同士のネットワークを生かし、事業運営に役立てました。また本社においても図書館現場をサポートする体制を整えました。

（3）学習センター関連サービス
（対象施設：大和市生涯学習センター、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、各地区学習センター）

① 基本方針

大和市生涯学習推進計画で掲げる「豊かな心を育む生涯学習のまちをめざして」の実現に向け、施設の運営にあたりました。学びを通して、人と地域の成長をサポートするために、次の行動指針にのっとり行動しました。

○市民一人ひとりの「居場所」を提供します
年齢や国籍、障がいなどに関わらず、すべての人にとって居心地の良い居場所を提供し、気軽に学習できる場を提供します。
○市民一人ひとりが「学ぶ」きっかけを提供します
すべての人に講座を通して学ぶきっかけを提供します。また、健康的に暮らすためのスポーツ活動や心豊かに暮らすための文化・芸術にふれあうきっかけを提供します。
○市民一人ひとりが「交流」する機会を提供します
共通の趣味や関心をもつ人と人のつながりを支援し、学習活動や成果発表を通して、地域コミュニティの発展をサポートします。
○大和市の生涯学習の「育ち」に貢献します
新しい生活様式に合わせた学習方法の提供や、成果発表の場を提供し、すべての人が学び、育つきっかけを提供し、豊かな心が育む新しい大和市の姿を目指します。
○「安全・安心」な施設運営、サービスの提供をします
すべての人が快適な環境で学習ができるように、社会情勢に応じた運営方法とサービス提供を常に模索し、柔軟に対応していきます。

② サービス提供に関する取組

公平・公正なサービスはもちろんのこと、以下の考えにのっとり、すべての利用者に学びの楽しさを提供できる施設を目指し運営しました。

1）すべての人に「分かりやすい」施設を目指します。

年齢や国籍、障がいに関わらず、全ての人に対して、様々な情報を広く平等に提供できるように、わかりやすい掲示と広報を心がけます。館内の掲示工夫だけではなく、広報の充実を行います。

2）すべての人に「利用しやすい」施設づくりを目指します。

利用者の声を積極的に取り入れ、予約方法、支払方法、講座・事業の内容等を検討し、すべての人が利用しやすい施設づくりに取り組みます。より利用者に使いやすく、利用者目線にたった施設運営を心がけます。また、シリウス内の他施設とも連携し、柔軟な運営を心がけます。

3）すべての人に「やさしい」ホスピタリティあふれる施設を目指します。

利用者を快く受け入れる姿勢をスタッフに徹底し、常にホスピタリティあふれる対応をします。また、利用者の有意義な活動を支援するために、施設に関わるスタッフ全員が“地域コンシェルジュ”となって、積極的に利用者の相談にのり、幅広い活動をサポートします。

③ 事業報告

1）事業方針及び事業内容

ア）貸館事業

利用者の利便性の向上に努め、公正、公平な手続を実施するため、大和市が管理する学習施設予約システムを活用し、利用条件・利用方法・支払方法に関しては、現状の大和市生涯学習センターの規則で運営しました。

また、令和 8 年度から変更となる予約システムの検証作業に協力し、利用者への説明も行いました。

a）各学習センター共通

ⅰ）施設の貸出手続業務

・施設の設置目的や条例、施行規則に従って公共性に配慮した受付を行いました。
・「受付マニュアル」、「会計マニュアル」にのっとりオペレーションの統一を図りました。
・全ての業務でダブルチェックまたはそれ以上の重複チェックを徹底しました。
・取得情報の適切な管理を徹底しました。

ⅱ）貸出手続の流れ

「利用の手引き」にのっとり、利用者が円滑に手続きできるようサポートしました。

《登録相談・利用登録》

相談者への説明は丁寧に行った上で相談者に寄り添い、親切な対応を心掛けました。登録にあたっては、規定の利用者登録区分に沿って申請書を受け付け、市の規則にのっとり迅速に利用者カードと団体パスワードを登録決定通知とともに送付しました。

登録にあたって、提出書類のフォーマットをホームページからダウンロードできるようにし、利用者の利便性を高めました。

令和７年度は「社会教育関係団体」「スタジオ個人」の更新作業を行いました。

《利用申込（仮予約)》

大和市が管理する学習施設予約システム内で照会・予約を行い、利用条件・利用方法・支払方法に関しては、従来からの規則で運営しました。市民端末を使って予約を行う方には、必要に応じて丁寧に説明を行い、予約が完了するまで立ち会いました。

《利用料金の支払》

支払方法は、窓口での現金支払のみとし、利用前までに料金を徴収し、申込みを完了させました。その際には、利用の変更・取消に伴う利用料金の還付は原則として行わないことを事前に説明し、減免利用の場合は規則にのっとり適正な金額を徴収しました。

《当日の利用》

利用にあたっては、申請どおりの活動が行えていない、規則に沿った利用を行えていない団体には面談を実施し、登録変更、正しい使い方がされるように促しました。

ⅲ）経理業務と金銭管理

弊社独自の会計システムで一括管理し、本部バックアップ体制のもと業務にあたりました。予算管理や使途の妥当性・明確化について本部と施設が一体となって管理し、「会計マニュアル」にのっとり適切な予算・契約・会計・決算事務を行いました。

ⅳ）印刷室の運営業務

・市民や団体が行う生涯学習活動の支援のために、印刷機、紙折り機、穴あけ機を設置しました。
・誰でも利用できるコピー機を設置し、利用方法についても丁寧に説明しました。
・定期的にスタッフが見回り、消耗品の補充等の対応を行いました。

ⅴ）職場体験等の対応業務

・市内の児童、生徒の職場体験の受入れに積極的に行いました。

（生涯学習センター）

・令和７年 11 月　大和東小学校　社会見学受入
・令和７年 11 月　つきみ野中学校　職場体験受入
・令和８年１月　南林間中学校　職場体験受入
・令和８年１月　鶴間中学校　職場体験受入

（北部文化・スポーツ・子育てセンター）

・令和７年６月　中央林間小学校　社会見学受入
・令和７年 10 月　林間小学校　社会見学受入

・令和７年 11 月　　緑野小学校　社会見学受入
・令和７年 11 月　つきみ野中学校　職場体験受入
・令和７年 12 月　　緑野小学校　社会見学受入
・令和８年１月　南林間中学校　職場体験受入
・令和８年１月　鶴間中学校　職場体験受入
（つきみ野学習センター）
・令和７年 11 月　つきみ野中学校　職場体験受入
・令和８年１月　鶴間中学校　職場体験受入
（桜丘学習センター）
・令和７年 10 月　桜丘小学校　職業インタビュー受入
・令和７年 11 月　桜丘小学校　職業インタビュー受入
・令和８年１月　上和田中学校　職場体験受入
・令和８年１月　渋谷中学校　職場体験学級閉鎖のため延期のち中止
（渋谷学習センター）
・令和７年 11 月 上和田小学校　社会見学受入
・令和８年１月　上和田中学校　職場体験受入
・令和８年１月　渋谷中学校　職場体験学級閉鎖のため延期のち中止
・大学生の社会教育実習の受け入れ依頼にも積極的に協力した。
（生涯学習センター）
・令和７年８－11 月　東海大学

b）生涯学習センター

ⅰ）市民交流ラウンジの運営業務

・自動入退室システムにより、利便性の向上、管理運営の円滑化を図りました。
・防犯対策として、事務所で防犯カメラの映像で利用状況を把握し、定期的にスタッフによる巡回を行いました。
・6 階事務室に市民交流ラウンジとつなぐインターホンを設置し、いつでも利用者の方からの問い合わせに対応しました。
・空席状況の目安として、ホームページ上で混雑状況の配信を行いました。
・利用者用の複写機の管理、消耗品の補充等の対応を行いました。

ⅱ）市民交流スペースの運営業務

・市民の一人ひとりの「居場所」として、利用者が快適に過ごせるように、定期的にスタッフが巡回し、安全管理やトラブルの防止に努めました。
・近隣の中学校の定期テストの期間は、中学校と連携してスタッフの巡回の他、先生にも見回りをお願いしました。

・混雑状況をホームページ上で配信しました。
・見やすい情報コーナーとして、大和市からの情報、生涯学習に関する様々な情報、生涯学習センターからの情報、講座情報などを、分野ごとに集約して配置し、利用者の活動や学びの支援に努めました。
・市民交流スペースの西側スペースの一部に、居場所づくりの一環として「まんがLiving」を設置し、まんがを通した共感体験の仕組みづくりに取り組みました。まんが Living の一部には様々な悩みを抱える若者のための相談コーナーを設置しました。

c）北部文化・スポーツ・子育てセンター

ⅰ）市民交流スペースの運営業務

・利用者が快適に過ごせる環境の維持のため、定期的にスタッフが巡回し、安全管理に努めました。
・エリア内に情報コーナーを設けて、県、市の情報を中心に団体サークル情報などの見やすい掲示・配架に努めました。

ⅱ）アリーナの運営業務

・利用状況を踏まえて、各競技利用者が互いに理解し合い快適に利用できるよう促しました。また、設備や備品について、利用者のニーズに柔軟に対応しています。
・個人利用については、「市民が幅広くスポーツを楽しむ場」として、家族や個人がスポーツを親しみ、健康増進を図ることができる場として運営しました。
また、課題となっていた申込方法を予約システムの導入により、定員管理の適正化を図りました。
・市民同士の交流をより深めてもらえるよう、アリーナや多目的室を活用したイベント講座の充実を図りました。

ⅲ）プレイルームおよび親子交流サロンの運営業務

・プレイルームでは、子育て世代の親子が快適かつ安全に交流ができるようスタッフの巡回を定期的に行いました。
・子育て世代が「安心」、「安全」に遊び交流できるように、室内のレイアウトを柔軟に変更しました。

d）渋谷学習センター

ⅰ）ホールの運営業務

自主事業の開催など音楽等、文化芸術を身近に観覧できる機会を提供しました。

ⅱ）キッズコーナーの運営業務

小学生以下の子どもが自由に利用することができる放課後の居場所を提供しました。また、ボードゲームをはじめとしたツールの貸出や新たな遊びに関する情報案内の更新もしました。

e）各地区学習センター

ｉ）ギャラリーの運営業務

団体の学習や活動の成果発表の場にとどまらず、様々なテーマによる作品募集を通して、個人の成果発表の場としても活用しました。

【つきみ野学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
5 月	6 日	つきみ野水彩画「四季」	春季作品展	450 人
10 月	5 日	ポルトガル刺繍	ポルトガル刺繍	204 人
11 月	2 日	ポルトガル刺繍	ポルトガル刺繍	101 人
	6 日	つきみ野水彩画「四季」	秋季作品展	433 人
	6 日	彩の会つきみ野	絵画展・体験コーナー	236 人
合計	25 日			1424 人

【桜丘学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4 月	6 日	桜彩会	絵画	227 人
5 月	5 日	裂画の会	絵画	160 人
	3 日	桜陶会	陶芸	92 人
	7 日	写団さくら会	写真	306 人
6 月	2 日	保健給食課	健診	80 人
	7 日	絵画クラブ画夢人	絵画	166 人
7 月	6 日	蕾の会	絵画	214 人
8 月	22 日	桜丘学習センター	紙芝居展示	693 人
9 月	6 日	ヤマトクロッキーの会	絵画	160 人
10 月	6 日	フォトクラブ写楽	写真	227 人
	6 日	写真同好会こぶし	写真	159 人

11 月	7 日	写団さくら会	写真	231 人
12 月	8 日	サポートハウス　ワン・ピース	その他	158 人
合計	91 日			2,873 人

【渋谷学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4	7	個人	アクリル画	98 人
	6	きりえサークル	切り絵	372 人
	7	小さな旅のスケッチクラブ	水彩画	366 人
	6	個人	油絵・水彩画	241 人
5	7	フォト渋谷クラブ	写真	301 人
	6	Y.P.A ひまわり	水彩画	195 人
6	7	さわわ会	絵画	403 人
7	7	個人	日本画	170 人
	7	高座渋谷手作り甲冑隊	甲冑	225 人
8	5	絵画教室つのもり	絵画	281 人
	6	きりえサークル	切り絵	381 人
9	7	絵画クラブ画夢人	水彩画	347 人
10	3	イベント観光課	渋祭イベント	433 人
	5	マルチエール（絵画）	水彩画、油絵	241 人
	2	新日本婦人の会 大和支部	絵画	143 人
	5	個人	絵画	104 人
11	6	B の会	水彩画	177 人
	5	千本桜切り絵同好会	切り絵	301 人
	7	個人	水彩画	480 人
	6	Y.P.A ひまわり	水彩画	223 人
12	7	個人	写真	158 人
	7	デジタルフォト長後	写真	256 人
	7	個人	写真	342 人
1	6	個人	アクリル画	38 人
2	7	湘南水彩スケッチ会	水彩画	365 人

3	7	さわわ会	絵画	375 人
合計	158 日			7,016 人

ⅱ）保育室の運営業務

乳幼児と保護者を対象として開放事業を行いました。安心、安全な環境を用意し、利用者の細かな要望に応えられるよう、常に改善策を検討し運営を図るとともに、定期的な読み聞かせなど、子育て支援に関する事業を実施しました。

【つきみ野学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	29	31	31	30	31	28	27	28	28	31	355 日
人数	408	422	455	503	456	521	545	374	354	493	554	529	5,614 人

【桜丘学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	26	28	31	355 日
人数	67	49	45	55	67	82	42	34	38	55	54	56	644 人

【渋谷学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	28	27	27	30	347 日
人数	398	394	461	615	434	397	379	310	326	348	325	485	4,872 人

イ）生涯学習事業

大和市生涯学習推進計画で掲げる「豊かな心を育む生涯学習のまちをめざして」の実現に向けて、市民一人ひとりが心身ともに健康で楽しく、豊かな人生を送るために、多様で自発的な学習の場所と機会を提供しました。

人生 100 年とも言われる長寿社会を迎えるなか、地域とのつながりや同居家族のいない方などの「おひとりさま」、小学生から高校生など、様々な年代の方々が安心・安全に過ごすことができるように、「居場所の提供」を行いました。

目まぐるしく変化していく社会の中で、充実した人生を送るために、様々な年代の方が、自ら興味を持ち、前向きに学ぶことができるように、生涯各期や現代的課題など様々な講座を実施し、すべての人に学習するきっかけを提供しました。

また、地域との連携や交流をより強固にするため、近隣自治会との事業を通じての相互交流を実施しました。

a）会議室開放事業

i）生涯学習センター

・土日や祝日を中心に、個人学習のために中学生以上の方々に、空き会議室を学習室として無料で開放しました。

・地域の中学校や高等学校と連携し、定期テストや入試の時期には平日の午後も、積極的に開放しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	4	11	8	13	12	9	10	11	6	7	8	7	106 日
人数	37	137	316	320	189	276	262	386	172	201	212	161	2,669 人

ii）北部文化・スポーツ・子育てセンター

・市民交流スペース内の学習室（Room4,5）を終日開放しました。

・近隣の学校と連携し、利用時のマナー向上を図るとともに、定期試験前など学生利用の増加が予想される場合、貸室利用がない会議室を個人学習の場所として無料で開放しました。

〈Room2〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	0	4	5	7	1	4	3	7	2	2	14	2	51 日
人数	0	44	66	89	17	108	72	251	23	35	281	79	1,065 人

〈Room4,5〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	30	24	31	30	31	30	28	28	21	31	345 日
人数	714	1,601	1,905	1,287	1,866	1,733	1,680	1,961	1,398	1,633	1,440	973	18,191 人

iii）つきみ野学習センター

・ギャラリーの利用予定がない日は、学習室として無料で開放しました。利用者多数で定員に達した際には、他の空き会議室も開放しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	29	31	31	30	31	27	27	28	28	31	354 日
人数	288	382	429	559	674	547	508	415	413	516	531	351	5,613 人

iv）桜丘学習センター

・空き会議室を利用した学習室開放事業を行います。個人学習のために学習室を積極的に開放し、誰もが気軽に利用できる学習の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	26	28	31	355 日
人数	13	55	54	39	66	76	66	61	39	36	58	35	598 人

ｖ）渋谷学習センター

・ユースコーナーAB・CD を個人学習のために無料で開放しました。大人の方々の席も確保し、年齢に関係なく利用できる学習の場としました。

〈学習室開放〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	28	27	27	30	347 日
人数	149	335	474	388	430	434	326	416	283	294	369	218	4,116 人

〈大人読書開放〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	28	27	27	30	347 日
人数	59	55	97	116	144	167	128	121	113	104	97	119	1,320 人

ｂ）スタジオ開放事業

渋谷学習センターのスタジオ 302、303 を、団体登録ができない、個人や家族など様々な方に利用いただくために定期的に開放しました。演奏場所の関係で活動に制限がある市民の方に音楽活動を行う機会を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	16 日
人数	20	22	16	26	15	16	22	14	10	31	14	25	231 人

ｃ）アリーナ個人利用

北部文化・スポーツ・子育てセンターのアリーナでは、週末を中心に個人利用日を設け、一般の方に幅広くスポーツを楽しむ場を提供しました。また、予約システムを導入し、定員管理の適正化を図ったことで、利便性を向上しました。

ｄ）生涯各期に合わせた講座、現代的課題に関する講座の開催

生涯各段階の特徴を理解し、それぞれの世代のニーズに応じた学習や市民の「生きる力」を養い、人生を豊かにするために学習する必要のある課題について学べる講座を提供しました。また、家庭教育支援として幅広い年代の子育て支援にも力を入れました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和７年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	４事業／12 日
青少年期	６事業／11 日(14 回)
成人期	６事業／12 日
高齢期	７事業／14 日
現代的課題	６事業／116 日

【乳幼児期】

事業名	日数	参加者数
子育て応援オンライン講座	６日	69 人
なつやすみ親子表現遊び	３日	64 人
「小１の壁」なんてこわくない！ 安心して迎える入学準備講座	２日	12 人
つくる・かなでる♪キッズおんがくタイム ～手づくり楽器と楽しむ ちいさなコンサート	１日	45 人

子育て応援オンライン講座

月	内容	参加者数
４月	自分時間をつくる時短家事のポイント	13 人
６月	みんなで話そう 我が子にぴったりな保育園・幼稚園との出会いかた	15 人
８月	背骨の発育とまんまる抱っこ	12 人
10 月	赤ちゃんからはじめる足育	13 人
12 月	はじめての抱っこでベビーダンス	６人
３月	赤ちゃんといっしょに防災じかん	10 人

【青少年期】

事業名	日数	参加者数
小学生なつやすみ体験講座 ①大きな紙でステゴサウルスを折ろう！ ②トールペイントでドアプレートづくり ③夏のおやつラボ！	４日 （５回） ④２回実施	76 人

④映像の技術を楽しもう！『ヴァーチャルスタジオ体験』		
栄養のプロに学ぶ！ジュニアアスリートの夏ごはん	2 日	28 人
繊細すぎる子と親の心が楽になる子育て講座	1 日	21 人
児童家庭教育講座 受援力のススメ～頼るスキル、頼られるスキル講座	1 日	17 人
子どもの未来のために親のための“性と生”学びなおし講座	1 日	15 人
ぷらっと大和　特別イベント ①夏休み特別イベント　天然石で万華鏡づくりをしよう！ ②春休み特別イベント　天然石でキーホルダーづくりをしよう！	2 日 （4 回）	40 人

【成人期】

事業名	日数	参加者数
歴食深訪　音楽家が愛した食卓	2 日	45 人
SNS 時代の『文章表現力講座』	3 日	59 人
センスが光る、夏のてみやげ	1 日	28 人
健康講座 スパイスの魅力	2 日	47 人
岡田先生と行く！ やまとの魅力再発見	2 日	34 人
ネット怪談にみる〈不穏さ〉と現代社会の民俗学	2 日	38 人 ｵﾝﾗｲﾝ 12 人

【高齢期】

事業名	日数	参加者数
いいね！かながわ第 3 弾 かながわの温泉～その特徴と成り立ち～	1 日	51 人
いいね！かながわ第 4 弾　鎌倉の魅力再発見	1 日	36 人
歌って！奏でて！健康音楽体操	3 日	56 人
元気な今こそ考える、シニアの暮らしと住まい計画	2 日	65 人
自分らしく歳を重ねる　華やぎカラー＆メイク講座	3 日	66 人
健康講座　めざそう若返り！血管年齢と健康	3 日	61 人
漢字といい感じ！	1 日	23 人

【現代的課題】

事業名	日数	参加者数
世界とつながろう 6 月　日本で送るムスリム生活 9 月　グアテマラと中国の文化を親子で体験 12 月　となりの外国人 3 月　日本の職場で働く外国人のリアル	4 日	75 人

「布えほん」作り講座	3 日	49 人
聞いて触って幸せさがし ～シリウス発！当事者と創るバリアフリーデザイン～	1 日	24 人
赤ちゃんといっしょに防災じかん　体験編	1 日	3 人
いわさきちひろ―戦後 80 年につなぐ平和への願い―	1 日	66 人
学習室開放事業	106 日	2,669 人

北部文化・スポーツ・子育てセンター

区分	令和 7 年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	2 事業／23 日
青少年期	1 事業／6 日
成人期	2 事業／21 日
高齢期	1 事業／1 日
現代的課題	6 事業／415 日

【乳幼児期】

事業名	日数	参加者数
おはなしのひろば「中央林間図書館」	12 日	357 人
おはなしのひろば「ポプラ」	11 日	166 人

【青少年期】

事業名	日数	参加者数
あそび塾 II	6 日	140 人

【成人期】

事業名	日数	参加者数
キャリアと地域を拓くソーシャルビジネス	1 日	42 人
ガーデンボランティア	20 日	82 人

【高齢期】

事業名	日数	参加者数
十人十色　ボランティアの始め方	1 日	6 人

【現代的課題】

事業名	日数	参加者数
身近な材料でつくる　大人の折り紙クラブ２ 夏を彩る”金魚””風鈴”	2 日	30 人
伝承折り紙”風船金魚”をつくろうのための指導者講習	1 日	1 人
だれでも編集者！新聞記事をつかってスクラップ新聞をつくろう～防災編～	1 日	中止
ポラリス放課後ルーム	8 日	63 人
やまとみらいまつり「みんなでつくる読書案内」	1 日	24 人
市民開放事業	51 日	1,065 人
学習室開放事業	352 日	18,191 人

つきみ野学習センター

区分	令和 7 年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	7 事業／423 日
青少年期	6 事業／301 日
成人期	2 事業／3 日
高齢期	2 事業／4 日
現代的課題	10 事業／601 日

【乳幼児期】

事業名	日数	参加者数
子育てサポートねっと　であいのへや	355 日	5,614 人
子育てサポートねっと　ほっと☆のびのび	38 日	593 人
子育てサポートネット　おはなしぼっこ	11 日	69 人
子育てサポートネット　絵本で♡はぴねす	11 日	106 人

吉田先生と遊ぼう！	1 日	6 人
おいでおいで♪ねんね・ハイハイ組/たっち組	6 日	149 人
就園前に知りたい子どものこと	1 日	10 人

【青少年期】

事業名	日数	参加者数
自由学習室	281 日	1,733 人
放課後　将棋講座〈初級編〉	12 日	92 人
夏の小学生イベント「トールペイント」を楽しもう！	1 日	17 人
夏休みつきみ野ボードゲームクラブ	4 日	93 人
夏休みはじめて囲碁をうってみよう！	2 日	25 人
冬休み光るおうちのクリスマスランタンを作ろう！	1 日	20 人

【成人期】

事業名	日数	参加者数
中世ヨーロッパの装飾写本～ロマネスク美術とケルト文様の魅力～	1 日	24 人
伝統的酒造り～日本酒のはなし～	2 日	32 人

【高齢期】

事業名	日数	参加者数
人生 100 年時代のための健幸講座ウォーキングセミナー	3 日	88 人
花で彩るお正月～季節の花を添えて～	1 日	20 人

【現代的課題】

事業名	日数	参加者数
国際理解学習交流・在日外国人への日本語教育支援	41 日	261 人
みんなで学ぶ防災トイレ～安全で衛生的なトイレを目指して～	1 日	15 人
本のお楽しみ袋	2 日	50 人
やまとみらいまつり「ブックマークに本の世界を描いてみよう！」	1 日	17 人
学習室開放事業	354 日	5,613 人
季節のイベント	180 日	3,320 人
たねダンゴ®で花いっぱい大作戦！	1 日	16 人
ぐるぐる回れ！花の旅	1 日	310 人

フラワーサポーター活動	18 日	198 人
朗読の会	2 日	105 人

桜丘学習センター

区分	令和 7 年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	3 事業／362 日
青少年期	2 事業／5 日
成人期	1 事業／1 日
高齢期	1 事業／1 日
現代的課題	7 事業／401 日

【乳幼児期】

事業名	日数	参加者数
すくすくひろば(保育室開放)	355 日	644 人
ちぇりるんのへや	6 日	88 人
お家の中の事故防止・体調変化時の対応	1 日	40 人

【青少年期】

事業名	日数	参加者数
わたしの☆ぼくの宝物～つくって楽しむ紙芝居	3 日	27 人
夏休み科学実験・工作教室	2 日	26 人

【成人期】

事業名	日数	参加者数
やわらかな癒しの音色につつまれて♪かんたんウクレレ講座	1 日	15 人

【高齢期】

事業名	日数	参加者数
シニアセミナー　笑って学ぼう！終活落語～成年後見制度とエンディングノート～	1 日	29 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
桜丘おもちゃ病院	11 日	105 人
防災講座　これからどうなる！？日本の気象災害と天気予報の進化	1 日	14 人
みんなあつまれ！ちぇりるんのおはなし会	12 日	77 人
やまとみらいまつり　おすすめ絵本の POP をつくろう！ワークショップ	1 日	5 人
やまとみらいまつり　オリジナル缶バッチのワークショップ	1 日	20 人
学習室開放	355 日	598 人
わたしの☆ぼくの紙芝居展示会	20 日	693 人

渋谷学習センター

区分	令和 7 年度 実施事業数／実施日数
乳幼児期	4 事業／392 日
青少年期	2 事業／11 日
成人期	1 事業／1 日
高齢期	1 事業／2 日
現代的課題	8 事業／716 日

【乳幼児期】

事業名	日数	参加者数
あゆびす～AYUBIS～（保育室開放）	347 日	4,872 人
英語で遊ぼう！　Story time　Join　us!	3 日	136 人
親子でおはなし会	21 日	138 人
ばぁばのおはなしの部屋	21 日	158 人

【青少年期】

事業名	日数	参加者数
令和 7 年度子ども科学講座 たいけんしよう♪ 科学っておもしろい！	2 日	29 人

チャレンジキッズ 将棋王	9 日	123 人

【成人期】

事業名	日数	参加者数
プロフェッショナルにまなぶ仕事術 Vol.3	1 日	30 人

【高齢期】

事業名	日数	参加者数
夏の短歌講座	2 日	35 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
学習室開放事業	347 回	4,116 人
読書推進学習交流「大人読書開放」	347 回	1,320 人
防災講座　－今すぐできる、地震の備え－	1 回	29 人
アイリッシュハープと絵本のコンサート～こころをケアする音と物語のクリスマス～	1 回	52 人
やまとみらいまつり　「ひとこと POP しおりをつくろう！」	1 回	10 人
やまとみらいまつり　オリジナル缶バッジのワークショップ＆ミニおはなし会	1 回	18 人
イースターエッグハント	2 回	70 人
スタジオで演奏してみませんか	16 回	245 人

ｅ）地域や利用者と密接に連携した講座の開催

地域への社会教育活動を行っている団体と協力して事業を実施しました。

区分	令和 7 年度 実施事業数／実施日数
北部文化・スポーツ・子育てセンター	1 事業／1 日
つきみ野学習センター	5 事業／77 日
桜丘学習センター	2 事業／21 日

渋谷学習センター	4 事業／64 日

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

事業名	日数	参加者数
影絵で楽しむロシア民話	1 日	62 人

【つきみ野学習センター】

事業名	日数	参加者数
子育てサポートネット　ほっと☆のびのび	38 日	593 人
子育てサポートネット　おはなしぼっこ	11 日	69 人
子育てサポートネット　絵本で♡はぴねす	11 日	106 人
子育てサポートネット　吉田先生と遊ぼう！	1 日	6 人
フラワーサポーター花壇活動	16 日	198 人

【桜丘学習センター】

事業名	日数	参加者数
はじめての手話入門講座	10 日	171 人
桜丘おもちゃ病院	11 日	105 人

【渋谷学習センター】

事業名	回数	参加者数
みんなのにほんごのへや・おとな	40 回	510 人
みんなのにほんごのへや・こども	20 回	118 人
みんなのにほんごのへや　夏休み子ども教室	3 回	67 人
日本語教室親子体験＆クリスマス会	1 回	50 人

ｆ）専門性のある講座の開催

学識経験者や有識者、専門家など優れた知見を有する方々を講師に迎え、市民の皆様がより専門的な知識を学ぶことができる場を提供しました（やまとみらいカレッジ）。生涯学習センターでは、「人間を知るコース」「現代を知るコース」「大和を知るコース」の各コースについて毎年それぞれテーマを決め、５回講座を１事業ずつ行い、各地区学習センターでは、それぞれのテーマを１講座ずつ実施しました。

実施講座は、地区館とも連携し、より多くの市民に参加いただけるように令和７年度もサテライト会場を設けて実施しました。

《実施報告》

【生涯学習センター】

区分	令和７年度 実施事業数／実施日数
専門性のある講座 （やまとみらいカレッジ）	３事業／15 日

事業名	日数	参加者数
観光の未来を考える～持続可能なあり方のヒント	５日	66 人 ｵﾝﾗｲﾝ 33 人
現代文学風土記・神奈川編 ～土地から読み解く、いま・ひと・こころ～	５日	98 人 ｻﾃﾗｲﾄ 18 人
昭和・平成期の大和周辺の歴史と地理	５日	294 人

【各地区学習センター】

区分	令和７年度 実施事業数／実施日数
専門性のある講座 （やまとみらいカレッジ）	３事業／15 日

学習センター	事業名	日数	参加者数
つきみ野学習センター	キーパーソンから見るジャポニスム ～西洋に影響を与えた日本	５日	86 人 ｻﾃﾗｲﾄ 56 人
桜丘学習センター	ニッポン！昭和のお笑い芸能史～昭和のお笑いは、時代を映す鏡だったのか～	５日	99 人
渋谷学習センター	ヒトとイヌ・ネコの関係 ～現在・過去・未来～	５日	59 人 ｻﾃﾗｲﾄ０人

ｇ）やまとこども市民大学の開催

子どもが自らの将来や職業選択への興味・関心をかきたてる事業を実施しました。子どもが普段学校では学べない一味違った内容、テーマを取り上げ、子どもの学ぶ力や生きる力の向上及び地域の教育力の向上を目指しました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和７年度 実施事業数／実施日数
やまとこども市民大学	２事業／２日

事業名	日数	参加者数
スポーツの仕事発見！コーチ＆チームグッズの世界	１日	11 人
絵本作家さんのおしごとたいけん	１日	31 人

ｈ）生涯学習関連事業の開催

大和市総合計画で掲げる「みんながつながる健幸都市やまと」の実現にむけ、生涯各期や現代的課題にとらわれない事業を実施しました。

《実施報告》

【生涯学習センター】

区分	令和７年度 実施事業数／実施日数
生涯学習関連事業	２事業／５日

事業名	日数	参加者数
シリウスみんなのごはん	３日	111 人
シリウスボードゲームクラブ	２日	113 人

ｉ）自主事業

「面白くてタメになる」をテーマに、市民が文化や芸術に触れ、深く学ぶことで、自らの人生をより豊かにする学習機会を提供することを目的に「Yamato Premium Seminar」を地区館含めて行いました。また、渋谷学習センター多目的ホールを使用した自主事業も行いました。

《実施報告》

① Yamato Premium Seminar

【生涯学習センター】

事業名	日数	参加者数
江戸楽アカデミー	11 日	421 人
美術館をめぐる旅	12 日	365 人
美術館をめぐる旅シリーズ 10 回開催感謝イベント レクチャーコンサート リュートの絵の調べ	１日	60 人
お国で巡るクラシック音楽	４日	172 人

飯田有抄のクラシック音楽アラカルト	1 日 ※1日中止	54 人
萩原健太が語る　ユーミンの荒井由実時代（1971-1976）	1 日	52 人
季節を描く水墨画	6 日	96 人
はじめてみましょう！素敵なスケッチイラスト ～あなたのアートライフを彩り豊かに～	6 日	123 人

【つきみ野学習センター】

事業名	日数	参加者数
岡田季樹ピアノリサイタル	1 日	139 人

【桜丘学習センター】

事業名	日数	参加者数
楽しい水墨画　季節の画題を「すみえ」で描く	6 日	88 人
感じたままに、自分らしく描いてみましょう！季節を彩るスケッチイラスト～新春、早春～	6 日	72 人

【渋谷学習センター】

事業名	日数	参加者数
江戸楽アカデミー　食の歳時記　春の章	1 日	27 人
江戸楽アカデミー　江戸百景　花のお江戸の名所案内 其の二　築地、芝、高輪、目黒	1 日	27 人
江戸楽アカデミー　第 16 弾　江戸時代の記録からたどる食	2 日	70 人
江戸楽アカデミー　第 17 弾　江戸城本丸御殿のインテリア～その復元と考証	1 日	31 人
季節を彩るスケッチイラスト～秋、そして Xmas～	6 日	88 人

② 自主事業

【渋谷学習センター】

事業名	回数	参加者数
JAXA 科学者講演会×上の宇宙クインテットコンサートシリーズ in 大和　Vol.1	1 回	105 人
ピアノとクラリネットによるデュオコンサート　ブラームスとプーランク～それぞれのエピローグ	1 回	128 人

ｊ）子どもたちの居場所作り

子どもたちが安心して安全に過ごせ、いろいろな人たちとのコミュニケーション能力を高めることができる、家庭でもない、学校でもない、子どもたちの第三の居場所作りを行いました。

施設名	事業名	内容
生涯学習センター	まんが Living	まんがを通した共感体験に着目した居場所作り。
北部文化・スポーツ・子育てセンター	放課後ルーム	地域の小学生が学校以外で過ごす場所として、遊びや工作などを通して、学校や学年を超えて交流できる事業。
つきみ野学習センター	自由学習室	会話を可とした会議室の開放。友達同士が相談しながら宿題をしたり、子どもたちの居場所と交流の場所。
つきみ野学習センター	放課後将棋講座	小学生対象の将棋講座。
渋谷学習センター	キッズルーム	カードゲーム・ボードゲームの貸出の他、お絵かきボードやローテーブルなど、遊びの種類が広がる備品を増やし、利用促進を図った。

ｋ）生涯学習情報等の提供

生涯学習情報等の提供に関しては、市内をはじめ、県内の様々な生涯学習情報を収集し、管理・提供することで、多くの方々に「学びのきっかけ」作りを提供しました。

学習相談についても、気軽に相談しやすい環境づくりを心がけ、様々な情報を活用し、利用者のニーズにあった情報を提供しました。

ｌ）やまと生涯学習ねっとわぁく制度の運用

「やまと生涯学習ねっとわぁく制度」については、講師の登録や利用申請の受付、制度利用者との連絡調整業務を行いました。また、制度の周知の活動を引き続き実施していくとともに、事業での登録講師の活用も積極的に行い、地元の人材活用と制度の活性化に取り組みました。

（講師を活用した講座）

【生涯学習センター】

講座名	実施日	講師名
小学生なつやすみ体験講座 ①大きな紙でステゴサウルスを折ろう！ ②トールペイントでドアプレートづくり ③夏のおやつラボ！ ④映像の技術を楽しもう！『ヴァーチャルスタジオ体験』	7/24,29,8/7,23	亦部 隆子 島田 加乃 安部　明美 坂本 健一

【つきみ野学習センター】

講座名	実施日	講師名
夏の小学生イベント「トールペイント」を楽しもう！	7/6	柳沢　晴美
夏休みはじめて囲碁をうってみよう！	7/26,8/2	中武　大貴
人生 100 年時代のための健幸講座ウォーキングセミナー	9/27,12/20	岡原　隆之介
花で彩るお正月～季節の花を添えて～	12/17	小山　阿希代

m）どこでも講座の調整業務

制度利用者と担当課との連絡調整を行いました。

n）生涯学習情報誌の発行業務

市と協力し、「分かりやすい」、「見やすい」内容の紙面を目指し、支援ガイドと団体サークル情報を一本化したガイドブックを発行しました。

ウ）地域活性化事業

地域の活性化を目的に、学習センターまつりの他、様々な事業を実施する他、自治会や地域の団体とも積極的に協力しました。また学習団体の発表の場の支援を目的とした「まなびの輪支援事業」も積極的に活用しました。

a）生涯学習センターまつりの開催

団体にとって、これまでの学習成果を発表する場である「学習センターまつり」を各学習センターで開催しました。開催にあたっては、施設を利用するサークル団体が組織する実行委員会に協力・支援し、学習センターまつりがより多くのサークル団体に参加いただき、発

展し、地域に定着するよう、広報活動にも力を入れました。

また、市民が参加しやすいように、各サークル団体の体験会やより良い展示や発表ができるよう運営面でもサポートをし、学習センターまつりが市民の相互交流や地域コミュニティが育まれる場となるように促しました。

ⅰ）生涯学習センター

・開催日：令和 8 年 2 月 14 日（土）、15 日（日）
・ところ：シリウス 1F サブホール、ギャラリー、6F 会議室等
・参加団体　30 団体（展示：17 団体、発表：13 団体）
・参加者数　2,298 人

ⅱ）北部文化・スポーツ・子育てセンター

・開催日：令和 7 年 10 月 25 日（土）、26 日（日）
・ところ：北部文化・スポーツ・子育てセンター全館
・参加団体　19 団体（展示：6 団体、発表：8 団体、イベント：6 団体
※1 団体重複）
・参加者数　1,628 人

ⅲ）つきみ野学習センター

・開催日：令和 7 年 11 月 8 日（土）、9 日（日）
・ところ：つきみ野学習センター全館
・参加団体　32 団体（展示：9 団体、発表：10 団体、イベント：6 団体、
運営：7 団体）
・参加者数　2,164 人

ⅳ）桜丘学習センター

・開催日：令和 7 年 11 月 15 日（土）、16 日（日）
・ところ：桜丘学習センター全館
・参加団体　23 団体（展示：7 団体、発表：12 団体、その他構成団体：4 団体）
・参加者数　1,193 人

ⅴ）渋谷学習センター

・開催日：令和 7 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）
・ところ：渋谷学習センター全館
・参加団体　26 団体（展示：8 団体、発表：18 団体）
・参加者数　670 人

ｂ）地域文化振興事業の開催

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

ｉ）やまと芝居小屋

・開催日：令和 8 年 3 月 8 日（日）
・ところ：渋谷学習センター多目的ホール
・参加団体：6 団体
・参加者数：240 人
・演劇上演の設備が充実している渋谷学習センター多目的ホールを利用して成果発表を行った。

ⅱ）あわてんぼうのクリスマス会

・開催日：令和 7 年 12 月 7 日（日）、14 日（日）
・ところ：北部文化・スポーツ・子育てセンター
・参加団体：2 団体（人形劇団クッキー、ベル・アデルコ）
・参加者人数：109 人
・地域で活動を行なう、サークル、団体に協力していただき、団体活動の発表場も提供した。

【つきみ野学習センター】

ｉ）アマチュア・クラッシックコンサート

・開催日：令和 7 年 10 月 26 日（日）
・ところ：つきみ野学習センター
・参加者人数：75 人
・大和市近在のアマチュア演奏家による手作りコンサート。実行委員会が主体的に運営を行い開催した。

ⅱ）つきみ野自治会ミニコンサート「MOONLIGHT LOVE concert 2025」

・開催日：令和 7 年 12 月 14 日（日）
・ところ：つきみ野学習センター
・参加者人数：150 人
・つきみ野自治会と協力しながら開催した。

【桜丘学習センター】

ｉ）さくらの音楽会 2025～ふわりと響く映画音楽～

・開催日：令和 7 年 10 月 18 日（土）
・ところ：桜丘学習センター　301 集会室
・出演者：ERIKA（ピアノ）

MARIE（ヴィオラ・ヴァイオリン）

・参加者数：54 人

・令和 7 年度は映画音楽をテーマに開催、運営にはボランティアとして高校生 2 名の参加もあった。

【渋谷学習センター】

ⅰ）渋谷素人演芸大会

・開催日：令和 8 年 3 月 1 日（日）

・ところ：渋谷学習センター　2 階多目的ホール

・実行委員：6 人

・出演者：117 人

・来場者：409 人

・公募により集まった実行委員と共に幅広い演目を観覧できる機会を提供し、来場者数が過去最高となった。

ⅱ）湘南軽音楽フェスタ

・開催日：令和 7 年 9 月 14 日（日）

・ところ：渋谷学習センター　2 階多目的ホール

・来場者：160 人

・高校生バンドも出演し、出演者、来場者いずれも幅広い年齢層が集まる機会となり、多世代交流が育まれた。

ⅲ）アマチュア・クラッシックコンサート

・開催日：令和 7 年 8 月 24 日（日）

・ところ：渋谷学習センター　2 階多目的ホール

・来場者：165 人

・大和市近在のアマチュア演奏家による手作りコンサート。毎年開催を楽しみにしているファンが今年度も多く来場した。

ｃ）利用者懇談会等の開催

施設のより良い管理運営に向けた意見交換の場として利用者懇談会を実施し、運営に反映するための利用者からの「生の声」を収集する場とした。

「生涯学習推進説明会」では、登録団体へのまなびの輪支援事業など様々な支援制度の説明や新規利用者への説明などを行った。

利用団体からの利用希望の多い貸出倉庫（団体用ロッカー）の利用者調整会は各館で必要に応じて実施した。

施設名	日付	参加者数	内容
生涯学習センター	5/24	11 団体 17 人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
	2/14 2/15	7 人	利用登録説明会
	3/7	実施せず	貸出倉庫調整会 ※調整不要のため実施せず
北部文化・スポーツ・子育てセンター	1/24	12 人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
	10/25 10/26	2 人 3 人	利用登録説明会
つきみ野学習センター	4/12	33 団体 37 人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
		25 団体 26 人	団体サークル倉庫会議
	11/8,9	2 人	利用登録説明会・施設見学会
桜丘学習センター	3/8	34 団体 34 人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
		13 団体 16 人	団体サークル倉庫会議
	3/21 3/22	2 人 2 人	利用登録説明会・施設見学会
渋谷学習センター	7/5	8 団体 8 人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
	1/24	3 人	利用登録説明会・施設見学会

d）生涯学習の推進に寄与する団体支援業務

学習センターの利用団体の活動支援を目的とした、「まなびの輪支援事業」の活用を積極的に促しました。

【生涯学習センター】

事業名	団体名	日数	参加者数
講演会「隣国中国と、どう向き合うか」	大和地区日中友好協会	1 日	53 人
やまと子どもミュージカル 体験ワークショップ	やまと子どもミュージカル	2 日	28 人
スコーレ家庭教育講座	公益社団法人スコーレ 家庭教育振興協会	1 日	30 人
春の詩吟体験会	大和吟好会 （シリウスの会）	3 日	28 人
秋の詩吟体験会	大和吟好会 （シリウスの会）	3 日	0 人
魂の行方 ～古代日本の生死観～	生涯教育研究会ＬＩＥ	6 日	64 人
発達障害自助会ボランチ	非営利活動法人ヴィーダ	2 日 (4 回)	34 人
談話会 「共に語ろう日本と中国」	大和地区日中友好協会	5 日	137 人
スコーレ家庭教育講座	公益社団法人スコーレ 家庭教育振興協会	3 日	13 人
木目込人形づくり 体験講習会	木目込サークル	4 日	4 人
第 7 回人物デッサン会	大和美術協会	1 日	18 人
太極拳体験会	楊名時太極拳大和教室	2 日	4 人
詩吟体験講習会	大和市詩吟連盟	1 日	18 人
巫女舞「豊栄舞」体験	大和市雅楽協会	1 日	0 人
声に出して読む漢詩・漢文「人虎伝と山月記の併読」	漢詩サークル「李太白」	2 日	26 人
木目込み人形づくり 体験講習会	木目込サークル	6 日	12 人
雅楽鑑賞入門	大和市雅楽協会	2 日	10 人

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

事業名	団体名	日数	参加者数
社交ダンス初心者講習会	レッツゴーダンス	1 日	60 人

詩吟の体験講習会	紫岳会大和	2 日	35 人
ポラリス健康体操の会 体験会	ポラリス健康体操の会	2 日	17 人
天智と天武～皇統の確立	生涯教育研究会・LIE	6 日	113 人
第 12 回　中央林間加留多大会	大和市商工会議所 中央林間地域会員 交流会	1 日	51 人
スクエアダンス体験講習会（無料）	MERRY PIONEERS	3 日	5 人
みんなで踊ろう フォークダンス	ラ・ヴィオレッタ	1 日	7 人

【つきみ野学習センター】

事業名	団体名	日数	参加者数
レクダンス体験講習会	レクダンス「小道」	1 日	12 人
「立体フクロウの木彫り」体験会	とりつくろう会	1 日	5 人
卓球を楽しむ会　スパロウズのみんなと一緒に汗をながしましょう	スパロウズ卓球クラブ	1 日	4 人
ストレッチ＆リズム体操　健康づくり体操	さくら草	1 日	3 人
ファミリーコンサート	生涯教育研究会・LIE	1 日	70 人
若葉の会　健康づくり体操体験講習会	若葉の会	1 日	2 人
のびのびストレッチ体験講習会	のびのびストレッチ	1 日	3 人
絵画展・絵画体験コーナー	彩の会つきみ野	5 日	14 人
のびのび倶楽部体験講習会	のびのび倶楽部	1 日	8 人
和楽器ひろば　クリスマスコンサート	さくら箏の会	1 日	10 人
水彩画講座	つきみ野水彩画「四季」	1 日	4 人
春のコンサート(レクチャー付)	女声合唱ルビー	2 日	97 人
中国語公開講座	ニイハオつきみ野	1 日	10 人
社交ダンスの集い	中央林間スポーツダンスクラブ	1 日	18 人

【桜丘学習センター】

事業名	団体名	日数	参加者数
社交ダンス無料講習会	アマポーラ	4 日	48 人
第 5 回桜ヶ丘落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1 日	92 人
第 20 回にほんごで話そう！ 日本語スピーチ大会	公益社団法人大和市国際化協会	1 日	130 人
第 8 回　油絵体験(みんなで描く一枚の絵)	蕾の会	1 日	34 人
社交ダンス　　初心者講習会	大和市ダンススポーツアマチュア選手会	4 日	11 人
さつき句会体験会	さつき句会	3 日	2 人
浴衣の着つけ体験	雅の会	1 日	3 人
スポーツ吹き矢　体験会	日本スポーツウェルネス吹矢協会　大和林間支部	2 日	2 人
ゆるっと若返り！ヨガ体験会	ゆるっと若返り！ヨガ	4 日	1 人
社交ダンス体験会 (パーティー形式)	さわやかダンスクラブ	1 日	53 人
ミシンを使って小物を作ろう	ぬうぬうくらぶ	1 日	4 人
社交ダンス初心者無料講習会	大和 SDC	4 日	8 人
心と体と呼吸が整う健やか気功無料体験会	桜ヶ丘気功の会	5 日	22 人
「コグニサイズ」体験会	桜ヶ丘コグニサイズサークル	2 日	17 人
体験入会(写真)	写団さくら会	3 日	1 人

【渋谷学習センター】

事業名	団体名	日数	参加者数
地域子育て連絡会 地域子育て講座「アイアイ」	社会福祉法人寿会 渋谷保育園	2 日	169 人
おやこ★クリスマス★コンサート	光中地区家庭・地域教育活性化会議	1 日	43 人
第 4 回渋谷落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1 日	90 人
広げよう！チャリティー歌声の"わ"　大地震に見舞われたミャンマーにエールを！！	音楽サークル「うたごえサロンやまと」	1 日	157 人
X マス＆忘年歌声の会	音楽クラブ	1 日	63 人
夏のしぶや寄席	やまと噺の会	1 日	145 人

～判じ絵で遊ぼう～			
新春しぶや寄席 ～落語のいろはを楽しむ会～	やまと噺の会	1 日	171 人
音楽 TOMODACHI フェス	グラン・ピー・アンド・エム	1 日	150 人
第 12 回 IKOZA 活動発表会	やまと生涯学習ねっとわぁくボランティア講師の会	4 日	350 人
太極拳無料体験講習会	渋谷太極拳クラブ	4 日	15 人
やまと国際オペラ協会 無料音楽文化講座	やまと国際オペラ協会	2 日	92 人
春のミニコンサート＆みんなで楽しく歌おう	生涯教育研究会 LIE	1 日	184 人
YSM チアダンス・ ヒップホップ交流会	NPO 法人やまとスポーツマネジメント	1 日	598 人
ヨガ体験講習会	チャクラの会	1 日	2 人
社交ダンス初心者講習会	渋谷ダンスサークル	3 日	10 人
健康と文化のつどい	神奈川北央医療生活協同組合大和支部	1 日	40 人

e）周年事業

北部文化・スポーツ・子育てセンターでは、8 月 1 日が開館記念日となるため、サマーイベントとして、乳幼児から高齢者までが参加できるイベントを開催しました。

事業名	日数	参加者数
屋内こども広場がやってくる	1 日	77 人
伝承折り紙”風船金魚”をつくろう	1 日	81 人
心躍る夏のコンサート	1 日	76 人
シルフィードとサッカーしよう in ポラリス	1 日	41 人

f）地域の団体との協力

地域の自治会や団体と連携し、様々なイベントの協力や地域の活性化に努めました。

【生涯学習センター】

・大和市国際化協会

・一般社団法人こども食堂@やまと

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】
・NPO 法人ワーカーズコレクティブ・チャイルドケア
・おはなしグループ「ポプラ」
・ベル・アコルデ
・中央林間連合自治会
・中央林間地区社会福祉協議会
・人形劇団「クッキー」
・影絵グループ夢
・大和シルフィード

【つきみ野学習センター】
・つきみ野自治会
・つきみ野自治会まちづくり委員会
・第２つきみ野会
・大和市健康普及員
・ほっと☆のびのび
・おはなしぼっこ
・絵本で♡はぴねす
・吉田先生と遊ぼう！

【桜丘学習センター】
・大和市手話サークル双和会
・トイドック　やまと
・やまと絵本の会ソレイユ

【渋谷学習センター】
・サークルしゃぼんだま
・よみよみの会
・Story Time（ストーリータイム）
・大和将棋の会

２）実施体制

館長以下、副館長、企画運営部門、総務施設利用部門で連携して運営にあたりました。本部でも万全のバックアップ体制を整えて現場の運営に協力するとともに、館長や企画責任者、安全担当者は定期的に本部で行われる研修に参加し、情報の共有やスキルの向上に努めました。

（４）屋内こども広場関連サービス
（対象施設：大和市屋内こども広場）

①　基本方針

大和市屋内こども広場(以下、こども広場という)は、妊娠・出産、育児まで切れ目のない支援を行うことで、安心してこどもを産み育てることができる環境、及び地域や行政担当機関とも連携し皆様に見守られながら健やかに育つ環境づくりを目指し運営にあたりました。大和市民を中心に、地域の中で愛されるこども広場となり、皆が豊かに育ちあうことのできる居場所を提供することができました。

〇すべてのこどもの生きる力を育む環境を提供します

こどもたちが成長に必要な知力や体力を養い、日々健康に過ごすために、思い切り遊ぶことのできる環境を提供することができました。

〇配慮を必要とするこども・家庭への支援を強化します

障がい、ひとり親、虐待など配慮が必要な家庭への支援を強化しました。また育児相談がしやすい環境、日本語を母国語としない方々も利用しやすい環境を整えました。

〇親育ち・地域の子育て力を育む環境を提供します

子育て世代の親とこどもが集うことで、親子の交流に加えて、親同士、こども同士の交流を促進できる機会を多く提供できました。

〇市民同士がつながれる、活躍できる場を提供します

子育てを通して他の家族とのつながる場を提供しました。また、市民講師によるイベントを開催し、市民自らが理想を求め実現する場を提供することができました。

〇安心・安全にご利用いただける事業運営を行います

利用者が安心してこども広場を利用し、こどもを預けられる環境を整えました。また、避難訓練・研修を通して、安心・安全に利用いただけるサービスの提供にも努めました。

②　サービス提供に関する取組

受付業務・プレイリーダー・保育士各部門においての連携を軸に、利用者一人ひとりに寄り添った行動を心がけ、「また来たい」「利用したい」と感じてもらえる施設を目指して接遇強化に取り組みました。

１）　利用者との日常のコミュニケーション

ア）親しみやすい雰囲気で

日常のあそび場であり、子育ての場であるこども広場は、気軽に立ち寄れて、繰り返し利用してもらえるよう、親しみやすい雰囲気づくりに努めました。またスタッフのホスピタリティあふれる親身な対応により、広場全体に笑顔あふれるコミュニティが形成されました。

イ）利用者に寄り添った親身な行動と声掛け

常にこどもたちや保護者に目を向け行動を観察することで、わずかな変化を敏感に察知するよう努めました。そうすることで、その場に相応しい親身な行動と声掛けを行うことができました。

ウ）コミュニケーションを活性化

親子やこども同士、また親同士の交流を促進するため、スタッフが積極的に声を掛け、一緒に活動できるあそびやイベントを提供しました。これにより、こども広場内のコミュニケーションが活性化され、計画どおりの成果をあげることができました。

エ）利用者への配慮（居心地の良い共生空間）

障がいをお持ちの方やひとり親、また日本語を母国語としない方々など、多様なライフスタイルをお持ちの方々に寄り添い、どなたでも安心して過ごせる居心地の良い環境を提供するとともに、サービスの質と利便性の向上を目指し、利用者個々のニーズに合わせた充実した生活が享受できるよう努めました。

2）利用者ニーズの把握及び実現策

ア）利用者アンケートの実施

利用者との対話やアンケート調査から得られる貴重な情報やご意見などを参考に、魅力的な企画の実施、サービスの向上に取り組みました。

3）情報の発信

こども広場のサービス案内やイベント情報、活動報告などを通じて、利用者に有益な情報を継続的かつ効果的に提供しました。認知度・知名度向上と特定のターゲット層に向けたアプローチを、オフライン・オンラインの伝達ツールを巧みに組み合わせて、わかりやすく魅力的なメッセージを発信しました。

ア）イベントカレンダーの作成

毎月、こども広場で開催されるイベントや講座の内容をわかりやすく整理したイベントカレンダーを作成し、シリウス内での掲示だけでなく、ホームページへの公開も行いました。どこでも手軽にイベント情報を確認できる環境を整え、こども広場の多彩なイベントや講座に簡単にアクセスできる仕組みを築きました。

イ）オフラインの強化（チラシの発行・配架）

こども広場のイベント・講座情報やサービス案内などをわかりやすく伝える手段として、各種情報誌への掲載やチラシの配架など、適切なタイミングかつ配架場所を精査しながら定期的に制作・発行しました。施設内での掲示はもちろん、市役所や親子が集まる市内の公共施設などでの配架も行い、情報を求める利用者に効果的に発信しました。

ウ）オンラインの強化（ホームページの充実・SNS との連携）

ホームページでは、こども広場のイベント情報や活動報告など、常に最新情報をお届けし、利用者にとってわかりやすく伝わりやすい情報を提供しました。また SNS との連携により、様々なユーザー層とつながりを持たせ、こども広場の情報を拡散し、新規顧客の開拓に努めました。

③ 事業報告

1）屋内公園事業

ちびっこ広場・げんきっこ広場は、こどもたちがのびのびとあそびながら成長できる「日常のあそび場」「子育ての場」として、あそびを通じてこどもの成長をサポートしました。また、地域全体が子育てと共に成長していくとともに、こども広場が地域社会において重要な存在となることを目指して様々なイベントを開催することで、地域コミュニティを結ぶ輪を拡大していくことができました。

ア）私たちが提案するあそび場

〇自由で充実したあそび環境を提供

季節や天候に左右されない屋内で、デザイン性に優れた多彩なあそび道具を活用し、こどもたちが自由に身体を動かし、創意工夫に富んだあそび環境を提供することで、利用者の満足度向上に取り組みました。

〇地域コミュニティの中心となる広場の提供

初対面のこどもたちがあそびを通じて友達になり、同時に親同士も交流し、自然な形で人と人とのつながりが広がるような環境を構築し、こども広場が地域の中心的な結びつきとなるよう努めました。

〇親同士のコミュニケーションや情報交換を通し子育て支援の場を提供

ちびっこ広場・げんきっこ広場では、定期的に様々な親子向けのイベントを開催し、親同士が気軽にコミュニケーションを取りながら、子育てに関する情報を交換できる場として、ちびっこ広場・げんきっこ広場を積極的に活用しました。

イ）あそび道具の選定基準

私たちが提案するのはこどもの成長に欠かすことのできない生活のための道具です。あそびの中でこどもが主体となり、工夫次第で様々なあそびへと発展するものこそふさわしいと考え、あそび道具を世界中から厳選し、ちびっこ広場・げんきっこ広場に導入しました。

大きく分けて以下の４種類の遊具を選定しました。

〇想像力や工夫する力などを育む遊具
〇全身を使ってあそべる遊具(体力づくりやバランス感覚の養成)
〇感覚を刺激し成長発達を促す遊具
〇創造力を養うとともに他の利用者との交流を通じ社会性を育む遊具

ウ）げんきっこ広場・ちびっこ広場のイベント

げんきっこ広場とちびっこ広場では、プレイリーダーや保育士が中心となって、地域コミュニティを結ぶ輪の拡大や、さらなるリピーター増加を目指し、こどもの発育や創造性を促すイベント、親子が一緒になって楽しめるイベントなど、様々な魅力あふれるイベントを開催しました。

げんきっこ広場とちびっこ広場でのイベントの一例

【企画イベント（季節・記念日・体験型・参加型など)】

事業名	内容
げんきっこ広場へおさんぽ （げんきっこ広場）	普段利用できない３歳未満のこどもも、げんきっこ広場でのあそびを体験できるイベント。
おたんじょうかい （げんきっこ広場）	その月に誕生日を迎えるこどもたちをみんなでお祝いをする記念日イベント。
サプライズイベント （げんきっこ/ちびっこ共通）	場内の雰囲気や利用者状況によって開催する普段とは違ったあそびを皆で楽しむイベント。

【地域連携事業：企画イベント（季節・記念日・体験型・参加型など)】

事業名	内容
ばんぱくとあんながやってくる （げんきっこ/ちびっこ広場共通）	音楽と絵本を融合した新感覚ライブで活躍中のアーティスト（絵本うたユニット）による、絵本の中に身を置くような独創的で、こどもの感受性をくすぐる新しいエンターテイメントショー。

【団体利用】

受入日	対象
平日：火～金曜日の第 1～5 クール	こども 10 名以上から利用できる団体プラン。保育

＊ただし繁忙期は除く	園や幼稚園など法人格を有した施設又は任意団体が対象。

＊イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

げんきっこ広場・ちびっこ広場　年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
げんきっこ広場へおさんぽ（げんきっこ広場）	22 回	525 人
げんきっこ広場であそぼう（げんきっこ広場）	7 回	130 人
おたんじょうかい（げんきっこ広場）	12 回	295 人
サプライズイベント（げんきっこ広場）	612 回	7,842 人
季節イベント（げんきっこ広場）	8 回	3,114 人
季節イベント（ちびっこ広場）	2 回	61 人
団体利用 Day（げんきっこ広場）	13 回	265 人
ほっこりタイム（ちびっこ広場）	115 回	2,282 人

2）保育施設事業

ア）幼児預かり事業(保育室)

満 1 歳以上の未就学児童の預かり保育を実施しました。保護者がシリウス館内を利用している間だけでなく、気持ちのリフレッシュや通院、自分磨きの時間作りやテレワークなど、館内以外での施設等を利用される間もお預かりし、子育て中の親たちが毎日イキイキとした生活を送りながら子育てできる環境を整えました。

〇こどもが「また来たい」と思える保育室を目指します

音楽や読み聞かせ、手作りおもちゃやシール貼りなど、こどもが楽しめるような雰囲気を作り出し、「また来たい」と感じてもらえる保育室を実現しました。

〇ホスピタリティあふれるコミュニケーション

お迎え時には保育中の出来事と保護者への子育て応援メッセージを添えてレポートをお渡しし、「また利用したい」と感じていただけるよう、細やかな対応を心掛けました。

【サービスの流れ】

事業計画にのっとり行いました。

イ）幼児預かり事業のイベント

こどもの成長を実感できるイベントや同世代のこどもを抱える親の交流を深めるイベントなど、多彩で魅力的なイベントを通じて、子育て中の親たちをサポートしました。

幼児預かり事業の講座の一例

【育児サポート】

事業名	内容
たんシリーズ講座 ・まめたん（生後 1～4 ヶ月） ・ころたん（生後 5～8 ヶ月） ・とこたん（生後 9～12 ヶ月）	成長著しい乳幼児に対して、月齢に合わせた手あそびやリトミックの他、保育士による日々の悩みや不安を取り除く相談窓口的な要素を盛り込んだ育児サポート講座。
親子で楽しむベビーマッサージ	父親の育児に対する興味や参加意欲をさらに増幅させることを狙いとした親子交流イベント。

＊イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

幼児預かり事業　年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
たんシリーズイベント	36 回	638 人
パパとママとあそぼう	6 回	129 人
からだをうごかしてあそぼう	6 回	118 人
子育てママの交流会	4 回	54 人

ウ）育児相談事業(相談室)

こども広場では、すべての子育て家庭を対象に、育児に関する不安や悩みの相談を受付けました。経験豊富な保育士(有資格者)や子育て支援員により、専門的なアドバイスができる体制を整えました。子育てに不安や悩みを抱える方々に、気軽に相談できる場を提供することで、一人で抱え込むことを防ぎ、疑問や不安を解消することにより、もっと子育てを楽しんでもらうことを目的としています。

また、大和市が定期的に行う保健師等による健康相談、管理栄養士等による栄養相談の業務支援を行い、日常的に保健所や児童相談所などの行政機関と連携できる関係を築きました。

育児相談事業の一例

【やまとみらい間での融合事業：育児サポート】

事業名	内容
出張版　大きくなったかな？	大和市立図書館主催イベント「おはなし会」終了後に、乳幼児を対象とした出張版の身体測定を実施。

育児相談事業　年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
出張版　大きくなったかな？	12 回	202 人

エ）多目的室運営事業(多目的室)

芸術文化ホール及び生涯学習センターを利用するイベントの主催者が、顧客サービスの一環として、託児付きのイベントを開催する際に、託児スペースとして部屋を貸し出し、子育て家庭が文化芸術や生涯学習活動に安心して取り組めるように支援しました。また、大和市が実施する子育て支援事業に協力するほか、主催者としてこどもの知育や創造性・好奇心を高めることを目的とした教室、また子育て世代の親子の交流や子育て中の親のリフレッシュを目的としたイベント・講座など企画・実施し、多彩なプログラムを通じて子育て支援を行いました。

多目的運営事業（多目的室）の講座の一例

【親子向け講座】

事業名	内容
親子でものづくり教室	楽しく手軽に作れるものをテーマに、身近な素材を使用して工作するものづくり教室を実施。

【育児サポート】

事業名	内容
子育てハッピー講座	子育て中の親を対象に、離乳食やお箸の使い方、トイレトレーニングなど、育児に関する様々な悩みを解消することを目的とした育児サポート講座を開催した。

【保護者向け講座】

事業名	内容
屋内こども広場のフィットネス	保護者のリフレッシュを目的に、フィットネス要素を取り入れたイベント。ヨガ系とダンス系の異なる２つのプログラムで、楽しみながら心身ともにリフレッシュできる人気のイベントとなった。

【やまとみらい間での融合事業】

事業名	内容
屋内こども広場がやってくる	8 月に市民交流拠点ポラリスにて「ポラリスサマーイベント　屋内こども広場がやってくる」を開催。普段シリウスまで足を運ぶのが難しい方や、屋内こども広場を知らない方にも知ってもらうことができ、地区館との絆もイベントを通して深めることができた。

【地域連携事業】

協力団体	内容
自治会や地域団体など	江崎グリコ株式会社から講師を招き、「かんたん・おいしい幼児食」や「季節のお悩みセミナー」など子育ての悩みを解消できる育児サポート講座を開催。講座などを通じて地域との結びつきを深め、子育て支援の観点から地域社会の活性化の貢献に努めた。

＊イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

多目的運営事業（多目的室）　年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
親子向け講座	74 回	1,395 人
育児サポート	8 回	95 人
保護者向け講座	58 回	390 人
やまとみらい間での融合事業	6 回	384 人
地域連携事業	6 回	92 人

3）実施体制

こども広場には、げんきっこ広場とちびっこ広場を管轄する屋内公園担当と、受付や経理など事務的機能を管轄する総務、保育室や育児相談などを管轄する保育・相談担当を設け、各担当が互いに協力し連携することで効率的な運営を行いました。また、弊社がこれまで培ってきた保育に関するノウハウを発揮し、利用者へより良いサービスを提供することができました。

（５）共通事項

①　連携事業の報告

令和 7 年度のやまとみらい連携事業は《絵本がつなぐ　地域のきずな》をスローガンに、大和市の文化創造のキー・ステーションとしての役割を担いながら、絵本をコミュニケーションツールとして活用した様々な融合事業を行いました。融合事業は各館から選出される広報・事業企画検討委員会が中心となり、大和市民まつりへの参画、やまとみらいまつり、シーズンプロモーションなどを実施、また JV 企業内２社・３者間での連携事業では、講座関連本の提供や展示、地区学習センターへの出張イベントの開催など、合わせて１８８事業を展開しました。

１）融合事業の実施

季節に合わせた館内装飾だけにとどまらず、各種テーマに合わせた複数施設での連携事業を実施しました。

また、渋谷図書館と渋谷学習センターでは地域のお祭り「渋祭」に出展、中央林間図書館は地元の手作りマルシェに参加、さらに北部文化・スポーツ・子育てセンターとともに連合自治会のお祭りにも出展するなど、引き続き地域との連携にも力を入れました。

２）「やまとみらいまつり」の実施

11 月 3 日（月・祝）に開催したやまとみらいまつりでは絵本をテーマとして、大人も子どもも楽しめるようイベント全体を企画しました。地区館はそれぞれの強みが生かせるオリジナルのイベントを企画・開催し、にぎわいを創出しました。近隣の企業や市民団体、ボランティアスタッフとも協力・連携して開催したイベントには、多くの市民が訪れ大盛況となりました。実施したイベント企画は下記のとおりです。

〈令和 7 年度 大和市文化芸術顕彰授賞式 & 佐藤和彦 with 新日本フィルハーモニー交響楽団金管五重奏ミニ・コンサート〉

前半は、シリウス開館から 9 年間のこれまでを振り返る動画の上映と、令和 7 年度大和市文化芸術顕彰受賞者の紹介と表彰を行いました。後半は、大和市出身のテューバ奏者・佐藤和彦と新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによるミニ・コンサートを実施。シニア世代を中心として多くの方が来場し、大和市ゆかりのアーティストを知っていただく機会を創出するとともに、プロのアーティストによる上質な音楽を体感いただく機会となりました。

〈サックス四重奏「アダム」 ファミリー・コンサート〉

親子向けコンサートを中心に全国で活躍するサックス四重奏「アダム」。馴染みのある曲目や手遊び歌、ダンスが登場し、アダムだけでなく屋内こども広場のプレイリーダーも出演しました。子どもたちも一緒に舞台上で歌って踊るなど、会場は大いに盛り上がりました。最後には、まつり 1 日の振り返りと 10 周年の紹介を動画で上映することで、10 周年への期待感を高めることができました。

〈大和市に関連した絵本の展示を開催！〉

大和市ゆかりの作家・森山京さんの絵本と、2023 年のやまとみらいまつりで市民の皆さんと制作した絵本「おでかけヤマトン どこいくの？」の原画を展示しました。森山さんの可愛らしい絵本や動画を流して会場の雰囲気づくりを行ったおかげで、図書館利用者が立ち寄る場面が見られました。

〈大和駅の駅員さんがシリウスにやってくる！〉

小田急電鉄・相模鉄道「大和駅」とコラボレーション。駅員の制服を着て写真撮影ができる撮影会や駅員さんが使う道具の展示、駅長さんによる“ここでしか聞けない話”を披露してもらう「駅長さんにお話を聞こう」などのイベントも開催し、会場は親子連れ、鉄道ファンなど多くの来場者で賑わいました。

〈ぬり絵でガッチャン！オリジナル缶バッジのワークショップ〉

専用の台紙に描いたぬり絵をその場で缶バッジにできるワークショップで、シリウス 6 階会議室のほか、渋谷学習センター、桜丘学習センターでも開催しました。図書館のオリジナルキャラクター「ぷろくん」やヤマトンのデザインの缶バッジが好評を博し、多くの親子連れの方々にお楽しみいただきました。

〈ラッキーさんの大道芸ショー☆／おかっぱミユキさんのバルーンアート★〉

市内で活躍する大道芸人ラッキーさんと、おかっぱミユキさんによる大道芸やバルーンアートパフォーマンスショーを開催。皿回しやバルーン作成を来場者に体験させる巻き込み型で、家族連れを中心に多くの来場者で賑わいました。

〈ねらえ！やまとみらいマップでポン！〉

やまとみらいが運営する市内 7 施設をマップにして、的当てゲームとして楽しみました。ゲームをしながら施設の場所を覚えることができ、さらには日常使いのできるトートバッグを景品としてプレゼント。年齢問わず多くの方に楽しんでいただきました。

〈店舗連携〉

シリウスが入る YAMATO 文化森内の店舗エプロントに協力いただき、まつり当日にお食事メニューをご注文いただいた方に「メープルスフレパンケーキ」を無料サービス（数量限定）していただきました。

《地区館開催イベント》

〈おはなしのひろば 中央林間図書館 ～オリジナル紙バッグをつくろう！～〉（中央林間図書館）

おはなし会の後に、スタンプを使ってオリジナルの紙バッグを作るワークショップ。参加募集が始まると即時満席になるなど注目度が高く、シールやスタンプでデコレーションした思い思いの紙バッグ制作を楽しんでいました。

〈みんなでつくる読書案内〉（市民交流拠点ポラリス）

色鉛筆や色紙などを使ってオリジナルの POP（読書案内）を作りました。ポラリス内にある「おはなしの森」（小さな読書コーナー）で絵本を選び、自分だけの POP を作成していました。

〈ブックマークに本の世界を描いてみよう！〉（つきみ野学習センター）

折り紙で土台をつくり、読み聞かせの内容にちなんだオリジナルのブックマーク（しおり）づくりを行いました。小学生だけでなく大人でも楽しめる内容でした。

〈おすすめ絵本の POP をつくろう！ ＆ レア図書展示会〉（桜丘学習センター）

著作権について学び、おすすめしたい絵本の POP を制作するワークショップ。制作した POP は図書室で展示しました。「レア図書展示会」では、ふだん図書室では見られない古い雑誌や大型絵本などを展示しました。

〈ひとこと POP しおりをつくろう！〉（渋谷学習センター＆渋谷図書館）

おすすめの本を「ひとこと」で紹介する POP を制作するワークショップ。完成した作品は複製し、しおりとして配布＆展示しました。図書スタッフによるミニおはなし会も開催し、子どもから大人まで楽しめる企画となりました。

〈各イベントの参加者数〉

イベント名	会場	参加者数
令和 7 年度 大和市文化芸術顕彰授賞式 ＆ 佐藤和彦 with 新日本フィルハーモニー交響楽団　金管五重奏ミニ・コンサート	シリウス 1 階メインホール	472 人
サックス四重奏「アダム」 ファミリー・コンサート	シリウス 1 階メインホール	523 人
大和市に関連した絵本の展示を開催！	シリウス 4 階健康テラス	108 人
大和駅の駅員さんがシリウスにやってくる！ ①制服を着て写真撮影 ②駅長さんにお話を聞こう	①シリウス 1 階ホワイエ ②シリウス 3 階マルチスペース	①229 人 ②123 人
ぬり絵でガッチャン！オリジナル缶バッジのワークショップ	①シリウス 6 階 601 講習室 ②渋谷学習センター ③桜丘学習センター	①293 人 ②28 人 ③20 人

①ラッキーさんの大道芸ショー☆ ②おかっぱミユキさんのバルーンアート★	シリウス正面入口付近	①80 人 ②270 人
ねらえ！やまとみらいマップでポン！	シリウス 1 階ホワイエ前	322 人
おはなしのひろば 中央林間図書館 ～オリジナル紙バッグをつくろう！～	中央林間図書館 学習室	8 人
みんなでつくる読書案内	市民交流拠点ポラリス Room2	24 人
ブックマークに本の世界を描いてみよう！	つきみ野学習センター 301・302 和室、304 講習室	17 人
おすすめ絵本の POP をつくろう！ ＆レア図書展示会	桜丘学習センター 202 講習室	5 人
ひとこと POP しおりをつくろう！	渋谷学習センター 1 階ギャラリー	10 人
		計　2,532 人

3）「大和市民まつり」への参画

5 月 10 日、11 日の 2 日間、引地台公園で開催された大和市民まつりに、やまとみらいとして団体出店しました。やまとみらいまつりでも実施した的当てゲーム「ねらえ！やまとみらい マップでポン！」を実施。市民ボランティア（やまとみらいパートナー）も、プレゼントのバルーンアート作成で参画しました。天候不良で 1 日のみの出店でしたが、盛況で行列が絶えず、計 867 名の方がご来場。やまとみらい全館の PR につながりました。

② 市民ボランティア制度

令和 5 年度から本格始動した新しい形のボランティア制度「やまとみらいパートナー」は、「誰もが楽しく参加できる」をテーマに、令和 7 年度も「やまとみらいまつり」を含む様々な活動を実施しました。

5 月大和市民まつり、11 月やまとみらいまつりなど当日の活動と、事前研修会や実施後の振り返りを通し、参加者同士の結びつきがより一層強まるようサポートしました。また、8 月に「み～んなの縁日」、3 月に「チャチャチャボッチャ」と、やまとみらいパートナーの自主企画を開催。8 月の「み～んなの縁日」ではバルーンアートのワークショップ、カードゲーム、輪投げコーナーなどを実施。延べ来場者数 354 名と大盛況のうちに終了しました。

③ 情報発信に関する取組

広報誌 YAMATOMIRAI の定期発行と、ポータルサイト「YAMATOMIRAI イベント情報サイト」ページで全館の広報に注力しました。二次元コードを裏面に記載した「七人の小人」のしおりを全館に設置し、各種イベントでも配布を行いました。また、「大和市民まつり」では出店テントにて PR チラシを配布し、「神奈川大和阿波おどり」では協賛広告として制作したうち

わの裏面に二次元コードを掲載しました。さらに、地域密着型の情報サイトにもバナー広告を出稿するなど、市民の目に触れやすい場所で積極的にポータルサイトのPRを行いました。

1）情報発信の展開

ア）「YAMATOMIRAIイベント情報サイト」

従来のイベント告知はもちろんのこと、イベント終了後の様子や参加者の声、スタッフの裏話等を終了報告として掲載する「イベントレポートページ」により、やまとみらいの活動を具体的かつ臨場感をもって見せることができ、7 館の活動を立体的に発信する手段として、広報・PRの強化に繋がりました。

イ）広報誌「YAMATOMIRAI」

7館合同広報誌として年5回発行し、全館の活動やイベントを広くPRしました。

全館融合イベントとして、4・5月号では、絵本をテーマにした特集記事を掲載。6・7月号では七夕など季節にちなんだ特集、8・9月号では夏休みに楽しめるイベントを多数掲載。10・11月号では、毎年恒例の「やまとみらいまつり」の様子を紹介。年度末の2・3月号では、防災意識が高まる時期に合わせ防災特集を組むなど、年間を通して全館の取組を効果的に発信しました。

ウ）館内広報誌「あおぼし」

やまとみらい全館のスタッフの活動報告やスタッフ紹介、各館のクレド浸透活動紹介、地域情報などを報告する館内広報誌「あおぼし」を年4回発行しました。「お互いの仕事、自分の働いている場所を知る」ことにより、やまとみらいの拠点同士、スタッフ同士のコミュニケーション円滑化やモチベーションアップに繋げ、チームワークの醸成やサービス品質の向上を図りました。

エ）地域密着型メディアとの連携

FMやまと、HIT、ハイタッチタウン、マグカルカレンダー、神奈川新聞など、地域密着型の媒体に定期的に情報を提供し、イベント情報を広く発信しました。Facebook、Instagramなどの SNSを継続的に更新し、イベントの裏側やスタッフの活動など、施設の魅力を日常的に発信しました。これらの広報活動を通じて、やまとみらいの認知拡大と地域・外部とのつながり強化を図りました。

オ）視察対応

自治体、企業からの視察や新聞・雑誌・テレビといった媒体各社からの取材を積極的に受けるとともに、シリウスへの注目度の高さを生かし、やまとみらいで管理運営する全7館のPRにつなげました。

④ 利用者の誘致・拡大に関する取組

1）館内ツアーの開催

利用者が普段立ち入ることのできない、シリウスの裏側をご案内する「館内ツアー」を継続して実施。参加者にシリウスの多様な表情をご覧いただくことで、施設の PR につなげシリウスファン層の拡大に努めました。8 月 3 日「シリウス夜の探検ツアー」では、19 組 54 名が 2 班に分かれてそれぞれの経路で探検しました。ホールではマイクのリバーブやピンルームで照明操作を体験。屋内こども広場では、照明を落として、ブラックライトで星を探しました。3 月 16 日「シリウス大人のための館内ツアー」は 10～80 代の幅広い年代の方 19 名が参加。大人だけでは入れない屋内こども広場に潜入、遊具を体験してもらったり、図書館の閉架書庫で貴重な『暮らしの手帖』の創刊号（1948 年）を実際に触ってもらったりと、普段は入ることのできないシリウスの裏側を堪能していただきました。応募方法や内容などに都度工夫を凝らし、参加者の満足度向上を図りました。

2）より多くの方に情報を届ける施策

広報誌「YAMATOMIRAI」と「YAMATOMIRAI イベント情報サイト」で広く情報周知を行いながら、地域の団体やメディアと連携し、年齢層、特性などを鑑みながらターゲットに合わせた広報・広告を実施しました。

⑤ 要望・苦情への対応

やまとみらい全館で設置しているご意見箱にいただいたご意見は、その都度、大和市の担当者と全施設の館長・所長で共有を行うとともに、月に一度開催されます「文化創造拠点等連絡調整会議」において情報交換を行いました。

さらに、ご意見箱やモニタリングアンケート自由記述欄で寄せられたご意見について、引き続き該当の施設で回答を作成し、ホームページで公開しています。

令和 7 年度は、シリウス開館より繰り返し寄せられる「座席不足」に関するご意見に対し以下の取組を実施しました。

【座席不足対策】

・土日祝日の読書室入替制（継続）
・土日祝日を中心に 6 階の空き会議室を学習室として無料開放（継続）
・平日午後の読書テラスを市民専用席（閲覧専用）として開放（新規）
・座席予約システム導入に向け具体的な検討を開始し、令和 8 年度中の導入が決定

地区館においても「絵本コーナーの設置」や「パーテーション設置状況の改善」を行うなど、いただいたご意見に対し真摯に取り組みました。

３．施設の維持管理に関すること
（対象施設：全構成施設）

（１）　基本的な考え方

① 基本方針

〇安全・安心を支え、快適を提供します。

〇施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します。

やまとみらいの基本方針　人・地域・文化を育む

施設の維持管理　基本方針

来館する市民一人ひとりの「居場所」を

安全と安心で支え、快適を提供します

多くの方々をリピーターとしてお迎えし、また、新たな方々に来館していただくためには、安全と安心を支え続け、快適を提供し続けることが極めて重要だと私たちは認識しています。施設の維持管理における基本方針は、維持管理を担う構成企業が安全安心を支え続ける、快適を提供し続ける、つまり持続的に継続し続けることが最も大切であると受け止めた上で、私たち「やまとみらい」の基本方針「人・地域・文化を育む」を反映させた「安全・安心・安定的な管理運営」を具体的に実現していくための基本方針としました。

行動指針

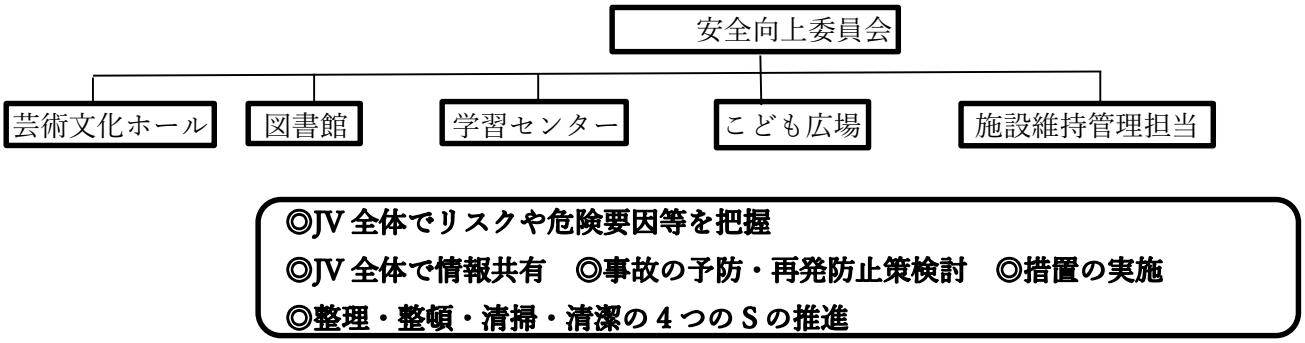
1.市民一人ひとりの居場所の「安全と安心」を支えます
（1）防災・防犯機器の予防保全による保守管理を行います
（2）全７館横断の安全向上委員会の活動を継続していきます
2.市民一人ひとりの居場所に「快適」を提供します
（1）清掃業務の自主モニタリングにより品質の向上を図ります
（2）予防保全で空調機器などを保守管理し安定稼働を提供します
（3）正面入口での立哨警備で不審者の侵入を予防し、巡回警備で抑止力を発揮します
3.施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します

② 文化創造拠点等全７館横断の「安全向上委員会」の活動

〇安全向上委員会は、全７施設をカバーし、事務局はシリウスの防災センターが務め、月次に開催しました。

〇「安全安心を阻害する要因の把握⇒リスク要因への予防措置の策定⇒予防措置の実施⇒効果の検証」の手順にのっとり、事故、トラブルが発生した際には、事案への対応を迅速に行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討および措置を実施しました。

〇委員会の活動を背景に防災センタースタッフ全員が「防犯防災」の腕章を装着し、見える化を意識して施設内を巡回し、抑止力を発揮しました。「施設の利用が不適当とみられる人物（図書館条例）」を見かけた場合、積極的に声かけをし、館長もしくはスタッフと連携して迷惑行為への早期対処に努めました。



③ 電子データによる設備機器管理

〇コストの削減と機器の長寿命化を目指し、設備機器についての電子データによる効率的な管理を行いました。

〇機器の現状、点検履歴、故障履歴、補修履歴等をデータとして記録していくことにより、過剰な精密検査や補修を避け、機器の状態に即した管理を行うことができました。管理コストの平準化を通じてコスト軽減に努めました。

④ 修繕計画

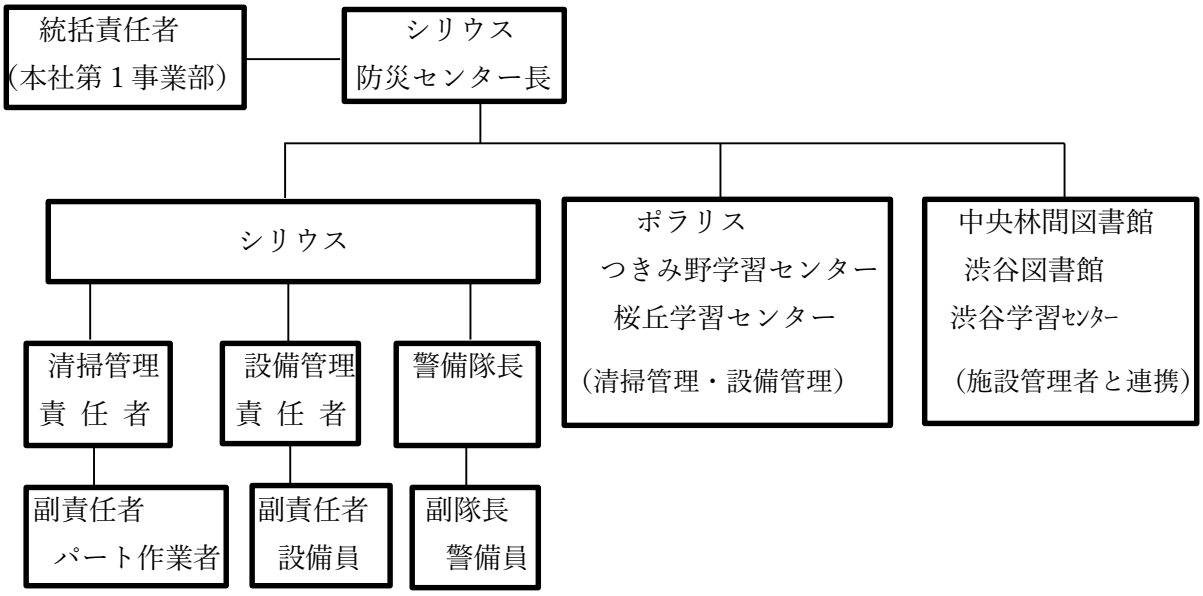
令和７年度には開館から９年を迎えることから、建物の維持管理として建物診断の実施を検討し（建物・空調・電気等）、10 年目を目安に、建物内部設備診断にて経年劣化に伴う修繕の必要性が高いと判断された箇所から、優先順位をつけ順次修繕の実施を検討しました。

（２）実施体制及び人員体制

〇シリウス防災センターを軸に全７館を一元管理しました。

〇警察署・消防署と連携しながら、安全安心な施設運営を実施しました。

① 実施体制



本社の第 1 事業部（顧客業務グループ）が統括責任者となり、シリウス防災センターを軸に 7 施設の維持管理業務を運営しバックアップする責任体制としました。
第 1 事業部が、大和市と指定管理者代表企業、構成企業等との渉外窓口並びに、防災センター業務全般と清掃管理、警備管理、設備管理を担当しました。
また、第 1 事業部は、全 7 施設に係るコンプライアンス遵守、安全管理、教育研修の企画・実行、物的人的資源の調達と配置など組織品質の維持と向上に係る指導とサポートにあたりました。
私たちは特に、極めて多くの市民がシリウスへ来館している実態を踏まえて、警察署や消防署と連携し、安全と安心を支えるための心構えを継続的に学ぶことに注力してきました。
また、各施設の設備関係点検はシリウス所属もしくは本社サポート所属の設備員が出向き、全体の状況をシリウス防災センターで一元管理することとし、設備管理の作業品質の向上に努めました。
なお、中央林間図書館と渋谷図書館、渋谷学習センターではそれぞれの施設管理者と連携をとり維持管理を進めました。

② 高品質清掃研修の実施

清掃品質の維持向上と他施設への横展開のため、各施設に配属する清掃員は必ずシリウスでの高品質清掃現場研修を経て配属しました。

（3）安全・安心の拠点に関すること

① 防災センターの位置づけ

○防災センター長は、清掃・設備・警備・駐車場・駐輪場の各業務を統括するとともに、指定管理者「やまとみらい」に横断的に組織される安全向上委員会の事務局を務め、文化創造拠点シリウス全域の安全の向上に向けて活動しました。

○あわせて、文化創造拠点シリウス等の 7 施設の維持管理を一元的に管轄するセンターとして機能しました。

○防災センターの業務を遂行するため、防災センター長(8:00～17:00)及び警備員(8:00～翌8:00 宿泊)、設備員(7:30～22:00)を配置しました。

② 個別業務

○防災センターにて火災等の監視と消防設備等の制御、非常放送、監視カメラでのモニター・記録、非常ベル発報の受信等を行い、常時最低 1 名以上が常駐して、緊急時に備えました。

○防災センターは設備機器の中央監視室として空調機器等の主要設備の監視と遠隔操作を行い館内の快適さの維持に努めました。

○防災センター所属のセンター長、警備員、設備員は、防災防犯の腕章を装着するとともに、抑止力を発揮すべく「迷惑行為などが発生していないか」などを意識しながら施設内の特に来館者が多くいるエリアを巡回しました。

○大和市図書館条例等に示されている「施設の利用が不適当と認められる人物」を見かけたら、館長やスタッフと連携して積極的に声掛けを実施し、迷惑行為などに早期に対応しました。

○館長やスタッフから出動要請がある場合は、警備員だけでなくセンター長、設備員も含めて「オール防災センター」で機動的かつ迅速に対応しました。

③ 緊急時の対応

○防災センターは、常時最低 1 名以上が災害や事故に備えて常駐しました。

○防災センター要員は、防犯のために館内を巡回し、防災・防犯のための機器を点検して回り、建物内で起きる緊急事態に直ちに対応できるよう備えました。

○防災センターは万一の場合は、消防や警察など公的機関の指揮所にもなりますので、日頃からセンター内にある各種機器も予防保全の観点で保守管理を行いました。

④ 設備業務内容

○設備機器、施設を熟知し「安全・安心を支える」ために、適切な点検を行い、その内容を記録しました。

○「快適を提供する」ために適切な点検と運転で諸々の機器を安定稼働させ、電子データ管理によって予防保全に努め、コスト軽減と機器の長寿命化の実現に努めました。

○防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切に対応できるよう準備しました。

○シリウス防災センター所属の設備技術者がポラリスなど各施設の点検に出向き、全体の状況を一元管理しました。

○機器の安全管理については、事業計画どおり年 2 回の点検と月 1 階の起動テストを実施

しました。

⑤ 警備配置人員

○責任者は、警備員指導教育責任者、施設警備業検定等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高いスタッフを配置しました。

○副隊長以下も責任者に準ずるスタッフを配置しました。

⑥ 警備業務内容

○多数の来館者の安全安心のためのエントランスでの立哨警備、不審者抑止と迅速対応のための館内の立哨・巡回警備、そして防災センターでの緊急事態への備えとして監視警備に常時従事しました。

○防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切　に対応できるよう施設全体の把握に努めました。

○ポラリスなど各施設は機械警備で安全を確保しますが、有事の際はシリウス防災センターが関係部署と連携して対処できるよう調整しました。

⑦ 清掃配置人員

○責任者は、清掃指導監督責任者、ビルクリーニング技能士等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高いスタッフを配置しました。

○副責任者以下も責任者に準ずるスタッフを配置しました。

○ポラリス、つきみ野学習センター、桜丘学習センターに配属するスタッフは、高い清掃作業品質を維持しているシリウスでの現場実習を経てから正式に配属しました。

⑧ 清掃業務内容

○清掃員は、7:00～22:00 の間、シリウスに常駐し営業時間帯をカバーしました。

○施設を熟知し「快適を提供する」ために、利用者の視点で適切な清掃を履行しました。

○施設の美観と清潔度のシンボルである「トイレ」清掃には細心の注意を払いました。

○緊急の清掃要請には迅速丁寧に対応します。そのためシリウスでは営業時間をカバーする時間帯で配置しました。

○地区館については、つきみ野学習センター 7:00～11:00　12:30～14:30
桜丘学習センター 7:30～10:30 ポラリス 7:00～10:00　13:00～16:00 の間、清掃員を配置し、緊急時にはシリウス設備担当者が対応できるようにしました。

⑨ 駐輪場配置人員

○シリウスには駐輪場が位置する地下 1 階から地上に向かう通路に自転車搬送コンベアがあるため、安全管理の観点から、利用頻度の高い 14:00～17:00 に毎日専属人員を配置し、安全管理を徹底しました。

⑩ 駐輪場業務内容

○自転車、小型バイク入庫時にスロープの安全確認を行い、出庫時の搬送コンベア　で事故が起きないよう安全補助作業をしました。

○混雑時に地下 1 階にある駐輪場内、出入りゲートで事故が起きないよう場内誘導　作業をしました。

○初めての利用者や利用料減免対象の利用者に対して、利用方法などを丁寧に説明しました。

⑪ 施設の営業時間の清掃・設備・警備に関すること

○これまでの経験を生かし、警備ではシリウス正面玄関での立哨・巡回警備、清掃　では夕方の巡回清掃の人員を増やし、更なる安全安心、快適な環境を提供しました。

具体的な人員配置イメージは以下のとおりです。

【シリウス　開館時間　8:15～22:30】

	業務	雇用形態	配置	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
防災センター	センター長	社員	週5日（休暇時は副所長）				統括業務														
	設備員	社員	催しなどに合わせて適正人数配置			設備点検業務・検針業務・設備監視業務・他施設巡回、対応															
	警備員	社員	常時1ポスト	24H勤務　開館中は防災センターにて監視業務																	
			常時1ポスト	24H勤務　開館中は施設内外巡回警備																	
			常時1ポスト	24H勤務　開館中は正面エントランス立哨警備																	
	機械警備			開館時間以外は機械警備で対応。ただし警備員は施設内で待機しています。																	
清掃	清掃責任者	社員	常時1ポスト			清掃責任者・品質管理・清掃員指導・他現場巡回															
	清掃員	パート	催しなどに合わせて適正人数配置				オープン前清掃及び共用部清掃														
	清掃員	パート	美観維持のために適正人数配置								巡回清掃										
	清掃員	パート	営業に合わせて適正人数配置												こども施設等閉館後清掃						
駐輪場	管理員	パート	常時1ポスト									駐輪場安全対策									
	管理員	パート	土日祝日他学生休み1ポスト							駐輪場安全対策											

【ポラリス　開館時間　9:00～21:30】

	業務	雇用形態	配置	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
設備	設備員	社員	週1回巡回（シリウスより）				日中巡回設備点検・検針業務													
警備	機械警備			開館時間以外は機械警備で対応																
清掃	清掃員	パート	適正人数配置		オープン前清掃及び共用部清掃															
	清掃員	パート	常時1ポスト							巡回清掃										

【桜丘学習センター　開館時間　9:00～21:30】

	業務	雇用形態	配置	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
設備	設備員	社員	週1回巡回（シリウスより）	日中巡回設備点検・検針業務																
警備	機械警備			開館時間以外は機械警備で対応																
清掃	清掃員	パート	適正人数配置	オープン前清掃及び共用部清掃																

【つきみ野学習センター　開館時間　9:00～21:30】

	業務	雇用形態	配置	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
設備	設備員	社員	週1回巡回（シリウスより）	日中巡回設備点検・検針業務																
警備	機械警備			開館時間以外は機械警備で対応																
清掃	清掃員	パート	適正人数配置	オープン前清掃及び共用部清掃																

（４）安全管理及び緊急時の対応に関すること

① 安全マニュアルの更新

〇いままでの経験を生かし来館者の安全と安心を支える観点から、改めてリスク要因を洗い出し、これまで予期しなかった新たなリスクも織り込んで、「事故・トラブルの未然防止」の観点から安全マニュアルの発展的な見直しを実施しました。
またポラリスなど他施設の安全マニュアルも合わせて見直しました。
建物内外の動線・床面・立面・諸設備等を常に「危険ではないだろうか？」という視点で見直し、改めてリスク対応を行う PDCA のプロセスを継続しました。

〇安全対策にはユニバーサルデザインの考え方を重視しました。当施設は、初めて来館する方、お子様や年配の方、障がいのある方など様々な方が利用します。私たちは、それぞれの方の視点、動きから施設内での危険要因を把握し、移動の安全性を確保し、また、掲示物の分かりやすさにも工夫をこらすなど安全対策を講じました。

〇新型ウイルス対応の経験を生かし引き続き感染症対策にも力を入れてきました。

② 安全向上委員会の活動

〇構成企業各社が参加する安全向上委員会を毎月開催しました。各社の経験に加え、他施設の情報や事例も加えて、事故等の未然防止に努めました。

〇万一、災害や事故やトラブルが発生した際には、訓練で得た知識を生かし事案への対処を直ちに行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討、再発防止措置を講ずる拠点となるよう努めました。

〇行政の関係各課と協議を重ね、震度 5 の地震が発生した際に建物使用の可否を応急的に判断するための「建物危険度簡易判定シート」を新たに作成しました。

〇整理・整頓・清掃・清潔の 4S の推進役として、各施設スタッフの意識向上に努めました。

４．管理に係る経費に関すること

（１）経費縮減の取組

① 省エネルギー及び事務経費等省コスト化の推進

光熱費高騰の折、スタッフ全員が省エネルギーの推進意識を持ち、気候に即した空調の温度調整、消し忘れ防止等に努め、省エネルギー化を推進し、経費縮減に一定の成果(対前年比 94.4%)を収めました。

事務作業ではペーパーレス化を推進し、環境に配慮するとともに印刷費用や通信費を縮減しました。小さな積み重ねを全スタッフで取り組むことで大きな成果につなげるよう取り組んできました。

具体的な取組は以下のとおりです。

照明	空調	事務室環境	紙資源
点灯時間の短縮	温度・運転時間の調整	待機電力の削減	消費量削減
・未利用空間、自動化されていないトイレの頻繁な消灯 ・開館前後の節約消灯 ・必要スペースのみの点灯 ・照明器具、管球清掃	・事務室の冷暖房節約 ・定期的な換気(感染症対策) ・冷暖房温度の設定 ・未利用空間の冷暖房の停止 ・夏季ボイラーの停止	・業務用パソコン未使用時のモニター画面消灯 ・コピー機の省エネモード導入 ・モニター照度の節約設定	・Web ツールを用いた情報共有 ・Web システム上での勤怠管理推進 ・共同事業体会議等のペーパーレス化

（２）収支報告書

別紙「令和７年度　収支決算書」のとおり

【業務実施状況に関する補足説明】

特になし。

令和7年度　収支決算書

1.収入

項目		内容	令和7年度年額
指定管理料			1,070,403,739
利用料金収入			139,769,206
	芸術文化ホール	ホール賃貸料、付属施設利用料	58,137,604
	図書館		0
	生涯学習センター	会議室賃貸料、備品利用料、有料ラウンジ利用料	28,694,242
	屋内こども広場	げんきっこ広場利用料、保育室利用料、多目的室賃貸料	28,229,600
	中央林間図書館		0
	渋谷図書館		0
	北部文化・スポーツ・子育てセンター	貸室利用料、アリーナ個人利用料、備品利用料	12,451,693
	つきみ野学習センター	貸室利用料	2,853,462
	桜丘学習センター	貸室利用料	3,215,740
	渋谷学習センター	貸室利用料	6,186,865
事業収入			46,057,741
	芸術文化ホール	主催公演チケット代等	41,245,251
	図書館	複写代等	227,810
	生涯学習センター	講座イベント参加費等	2,518,400
	屋内こども広場	イベント参加費、イベント保育料	496,050
	中央林間図書館	複写代等	36,070
	渋谷図書館	複写代等	22,260
	北部文化・スポーツ・子育てセンター	講座イベント参加費	0
	つきみ野学習センター	講座イベント参加費	250,900
	桜丘学習センター	講座イベント参加費	422,900
	渋谷学習センター	講座イベント参加費	838,100
協賛金・補助金等収入			5,559,650
	芸術文化ホール	預かりチケット販売手数料、主催公演物販販売手数料	685,650
	図書館		0
	生涯学習センター		0
	屋内こども広場	補助金	4,817,000
	中央林間図書館		0
	渋谷図書館		0
	北部文化・スポーツ・子育てセンター		0
	つきみ野学習センター		0
	桜丘学習センター		0
	渋谷学習センター		57,000
その他収入			29,274,445
		駐車場利用料	29,268,100
		主催公演チケットプレイガイド未発券分手数料	6,345
収入合計　(A)			1,291,064,781

2.支出

項目	内容	令和7年度年額
人件費		949,841,765
芸術文化ホール		159,962,400
給料・賃金・手当等		135,967,440
福利厚生費		23,994,960
図書館		192,527,335
給料・賃金・手当等		192,522,825
福利厚生費		4,510
生涯学習センター		55,590,530
給料・賃金・手当等		48,363,761
福利厚生費		7,226,769
屋内こども広場		93,785,395
給料・賃金・手当等		81,801,391
福利厚生費		11,984,004
防災センター		164,320,066
給料・賃金・手当等		164,320,066
中央林間図書館		68,787,090
給料・賃金・手当等		68,755,905
福利厚生費		31,185
渋谷図書館		56,649,749
給料・賃金・手当等		56,649,749
福利厚生費		0
北部文化・スポーツ・子育てセンター		47,038,140
給料・賃金・手当等		40,923,182
福利厚生費		6,114,958
つきみ野学習センター		38,485,752
給料・賃金・手当等		33,482,604
福利厚生費		5,003,148
桜丘学習センター		32,071,460
給料・賃金・手当等		27,902,170
福利厚生費		4,169,290
渋谷学習センター		40,623,848
給料・賃金・手当等		35,342,748
福利厚生費		5,281,100
事業費		137,600,750
芸術文化ホール	主催公演事業制作費、友の会運営費、広告費等	69,992,849
図書館	図書費、ICタグ費等	46,227,248
生涯学習センター	講座イベント事業費、学習教材制作費、入退室システムリース費	4,584,487
屋内こども広場	イベント事業費、遊具リース、メンテナンス費、入退室システムリース費	9,991,284
中央林間図書館	事業運営費等	406,610
渋谷図書館	事業運営費等	443,938
北部文化・スポーツ・子育てセンター	講座イベント事業費、学習教材費	395,897
つきみ野学習センター	講座イベント事業費、学習教材費	758,220
桜丘学習センター	講座イベント事業費、学習教材費	850,198
渋谷学習センター	講座イベント事業費、学習教材費	3,950,019

事務費		75,118,222
芸術文化ホール	事務用品、通信費、機器リース等、簡易修繕費	20,126,605
図書館	事務用品、通信費等	9,313,766
生涯学習センター	事務用品、通信費、機器リース等	8,329,071
屋内こども広場	事務用品、通信費等	1,386,397
中央林間図書館	事務用品、通信費等	4,678,628
渋谷図書館	事務用品、通信費等	1,063,045
北部文化・スポーツ・子育てセンター	事務用品、通信費、機器リース等	5,586,082
つきみ野学習センター	事務用品、通信費、機器リース、光熱水費等	9,261,916
桜丘学習センター	事務用品、通信費、機器リース、光熱水費等	12,762,749
渋谷学習センター	事務用品、通信費、機器リース等	2,609,963
維持管理費		98,000,299
文化創造拠点		49,903,664
芸術文化ホール	音響、照明、舞台機構、客席等維持管理費	26,333,160
図書館		0
生涯学習センター		0
屋内こども広場		0
中央林間図書館		3,811,528
渋谷図書館		0
北部文化・スポーツ・子育てセンター		9,262,703
つきみ野学習センター		4,847,480
桜丘学習センター		3,841,764
渋谷学習センター		0
修繕費		10,650,196
文化創造拠点		7,483,738
芸術文化ホール		0
図書館		499,209
生涯学習センター		0
屋内こども広場		0
中央林間図書館		0
渋谷図書館		0
北部文化・スポーツ・子育てセンター		905,841
つきみ野学習センター		527,208
桜丘学習センター		1,000,560
渋谷学習センター		233,640
その他		19,341,777
全館広報費		19,341,777
支出合計 (B)		1,290,553,009

収入−支出(A-B)	511,772

３．管理運営に対する評価など

指定管理者の管理運営に対する評価は、次のとおりです。

なお、評価に当たっては、指定管理者選定時の審査項目をもとに行い、令和８年８月２０日に大和市文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

＜評価の視点１～４に基づく評価結果＞

評価の視点１：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。 【利用者サービスに関すること】 ＜ホール関連サービス＞ ・様々な利用者に情報が届くよう、ホームページの構成を見直すとともに、チラシ・ポスターに加え、チラシラック横にモニターを設置し出演者インタビュー動画を放映するなど、積極的な広報活動に取り組んでいた点を高く評価する。 ・幼児からシニア、障がいのある方など、誰もが安心して文化芸術に触れられる機会の創出に向け、包摂的な企画運営及び環境整備が行われている点を高く評価する。 ＜図書館関連サービス＞ ・大和市立図書館が担う公共図書館の役割として求められる基本的サービスのひとつは、誰にでも居心地の良い環境づくりや安心して過ごせる居場所の提供を図ることであり、そのためには、図書館利用者の特性をよく理解し、状況に応じたきめ細かな対応をすることが求められる。そうした中で、「大和市こもりびと支援条例」にもとづき、大和市福祉総務課が推進する「こもりびと支援策」と連携し、こもりびとへ図書館業務に従事する環境を提供していることは、他者との関わりや交流関係を持ちづらいこもりびとの社会参加への一助となる一例として効果的な取組であるとともに、図書館にとっても様々な背景や課題を抱える利用者の特性を理解することにつながる好事例になっているものと高く評価する。 ＜学習センター関連サービス＞ ・ポラリスアリーナの個人利用について、予約システムの導入により利用者の利便性が向上したこと。また、指定管理者が、アリーナを使用する登録団体と密接にコミュニケーションを取り、ニーズを捉えた上で運営方法を修正したことは、ともに利用者の満足度向上に繋がる取組であり、高く評価する。 ＜屋内こども広場関連サービス＞ ・チケットの完売状況や広場の混雑状況を SNS で気軽に確認できるようになり、利用者の利便性の向上や混雑状況の問合せに対応するスタッフの負担軽減につながり評価する。また、イベント情報を広く発信することで、利

用者の満足度向上につなげるなど、SNS の特性を生かした取組は高く評価する。

評価の視点２：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。

【利用者サービスに関すること】

＜ホール関連サービス＞

・指定管理者の記述の他にも、公演中の災害発生を想定した来場者参加型の「避難訓練コンサート」を実施し、防災意識の向上と災害時における施設スタッフのスキル向上を図った。コンサート形式により市民が参加しやすい事業とした点に創意工夫が認められ、利用者の安全・安心および施設の信頼性向上に寄与した点を高く評価する。

＜図書館関連サービス＞

・新たに横浜 F・マリノスと連携した健康イベントや社会福祉協議会との連携事業など、本や読書への関心を高めることや、新たな利用者層の開拓として図書館への来館のきっかけになるような様々な事業を、こどもから大人までの幅広い世代へ向けて精力的に展開することによって、図書館の更なる利用促進につなげていた点を高く評価する。また、本館だけでなく、各図書館が互いの特色を生かしながら地域の各種団体との連携事業を行うことによって、地域全体の魅力や価値を高め合うなど、地域における拠点施設としての機能を十分に果たしていたことも評価する。

＜学習センター関連サービス＞

・「シリウスみんなのごはん」や「シリウスボードゲーム」などは、地域の団体や人材と協力して、高齢者等の居場所づくりや世代間交流など、地域の課題に対応する良い事業であり、今後もこうした事業が拡充されることを期待する。

＜屋内こども広場関連サービス＞

・保育士等専門職を適切に配置するなど、安全性に配慮するとともにスタッフの経験や能力を生かした効果的な事業の実施体制がとられている点を評価する。

＜共通事項＞

・大和市の文化を育む拠点として、やまとみらいまつり、やまと市民まつりなど各種連携事業を実施し、概ね事業計画書どおりの水準と評価する。中でも、やまとみらいまつりでは、１２イベントで 2,532 名（令和６年度は８イベントで 1,781 名）と非常に多くの参加者があり、まさに文化の日を彩る一大イベントとなった。管理運営では、市民ボランティアのやまとみらいパートナーを参画させるなど、市民が関わる仕組みを定着させていることも評価する。さらに、文化創造拠点内での連携・融合に留まらず、「渋祭」や「中央林間手作りマルシェ」、「連合自治会の秋祭り」への参加など地域との連携を積極的に展開している点を高く評価する。

評価の視点３：施設の適切な維持及び管理が図られたか
当該項目については、事業計画書どおりの水準で業務が行われていることが確認できた。 【施設の維持管理に関すること】 ・指定管理者として、大規模災害時の備えのため、スタッフ研修や図上訓練に加え、火災想定の避難訓練、消防設備研修も定期的に行い、災害対応のシュミレーションに積極的に対応している中で、新たに震度５の大規模地震発生時における建物使用可否を応急的に判断するための「危険度簡易判定シート」を作成し、今後の対策として活用を図ることを高く評価する。
評価の視点４：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。 【運営組織に関すること】 ・職員の育成において、業務に必要な専門知識を取得するとともに、ステップアップ研修では、「想像力を鍛えるワーク」や「お客様の真意を探るワーク」など、実際の接遇場面を想定したトレーニングを行うことで、実践力の強化につなげている点は、来館者からの声として好意的な意見が寄せられることにつながっていると捉えている。さらに、令和７年度は新たに、接遇セルフチェックシートを導入し、スタッフ各自が業務改善に向けたセルフチェックに容易に取り組める仕組みとしたことによって、組織全体の底上げにつながる効果を生み出している点や、施設間あるいは、本館と地区館間での競争意識を生み出し研鑽を積む仕掛けにしている点などを高く評価する。 【経費に関すること】 ・国際情勢の不安定化により、光熱費の高騰が継続している中、省エネルギー化への取組として、ボイラーをこまめに停止するという着想が非常に画期的であり、結果的にシリウスのガス使用量が前年度より 17.8%もの縮減を果たしている点を高く評価する。また、様々な事業を積極的に展開し、増収につながる取組を実施している点を評価する。